

平成 22 年度

登米市男女共同参画に関する市民アンケート調査結果報告書

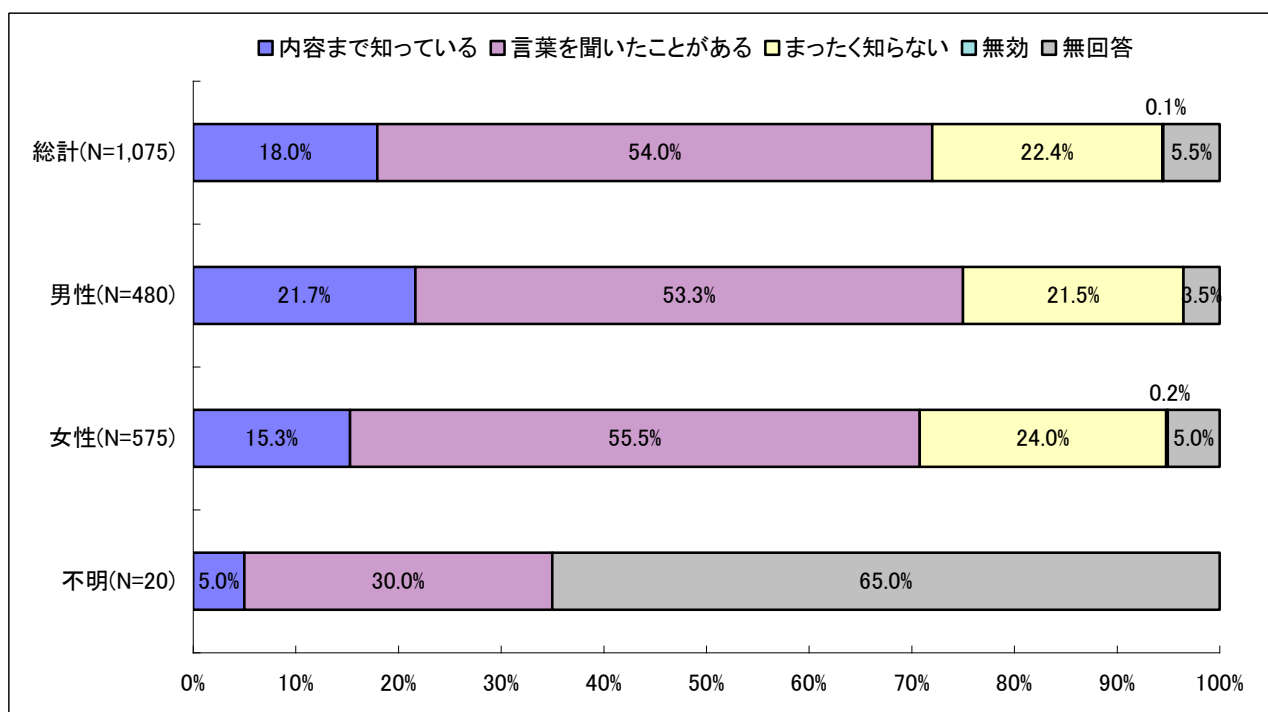
アンケート結果の概要

1.男女平等意識について

【問 10】 「男女共同参画社会」とは、男女が対等な立場で、あらゆる分野に参画し、共に責任を担う社会をいいますが、あなたはこのことを知っていますか。

全体でみると、「言葉を聞いたことがある」という回答が 54.0%で、以下「内容まで知っている」という回答が 18.0%、「まったく知らない」という回答が 22.4%という順になりました。

性別でみると、「言葉を聞いたことがある」という回答では男性 53.3%、女性 55.5%で、大きな差はありませんでした。「内容まで知っている」という回答では男性 21.7%、女性 15.3%となっており、男性が 6.4 ポイント高くなりました。「まったく知らない」という回答では男性が 21.5%、女性 24.0%となっており、大きな差はありませんでした。



【問 11】 あなたは、次のような面で男女の地位は平等になっていると思いますか。①～⑧についてそれぞれ 1 つだけ選んで○をつけてください。

- ①家庭の中で
- ②職場の中で
- ③地域の中で
- ④しきたりや慣習で
- ⑤法律や制度の上で
- ⑥政治の場で
- ⑦教育の場で
- ⑧社会全体として

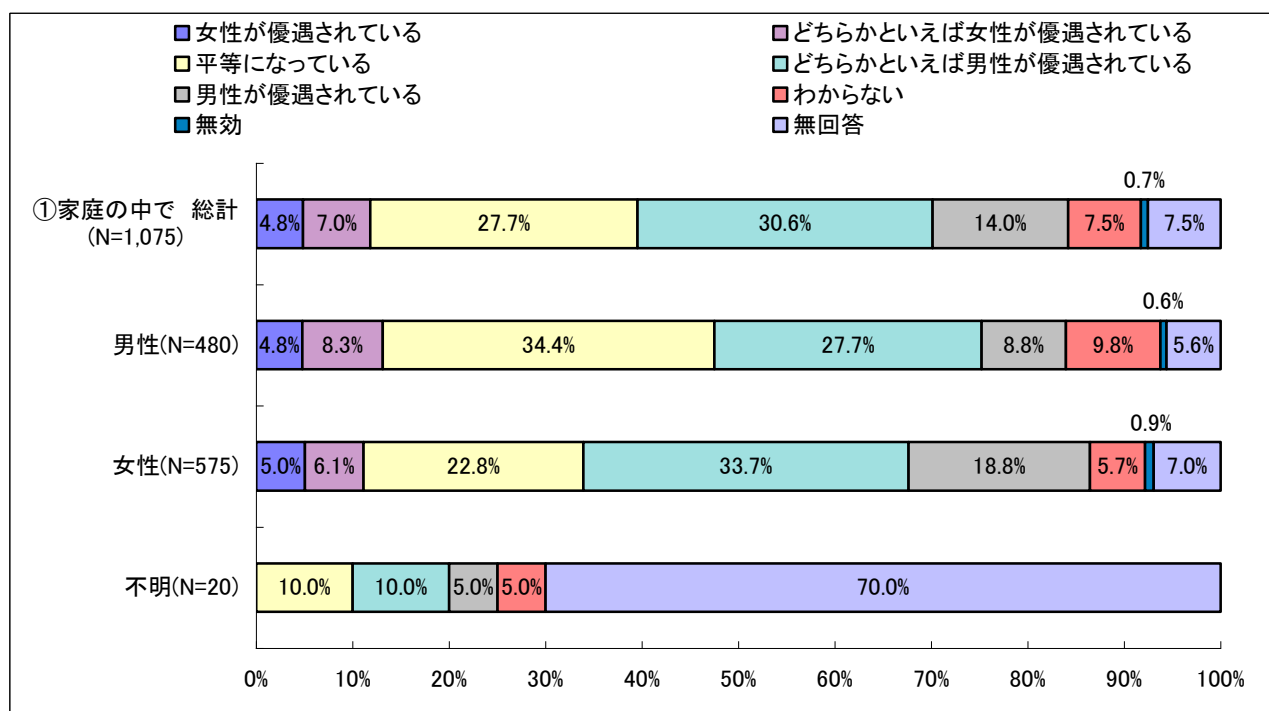
各分野において、男女の地位が最も「平等になっている」と回答された分野は、「教育の場で」(48.7%)でした。以下、「法律や制度の上で」(31.9%)、「家庭の中で」(27.7%)、「職場の中で」(21.1%)、「政治の場で」(20.2%)、「地域の中で」(19.4%)、「社会全体として」(17.0%)、「しきたりや慣習で」(11.8%)という順になりました。

性別でみると、男女共に「教育の場で」(男性 54.4%、女性 45.2%)、「法律や制度の上で」(男性 41.0%、女性 25.2%)、「家庭の中で」(男性 34.4%、女性 22.8%)の順で「平等になっている」の割合が多くなっています。

①家庭の中で

「どちらかといえば男性が優遇されている」と「男性が優遇されている」を合わせた「男性が優遇されている」(以下、「男性が優遇されている」)が全体の 44.6%を占めたのに対し、「平等になっている」という回答は 27.7%でした。

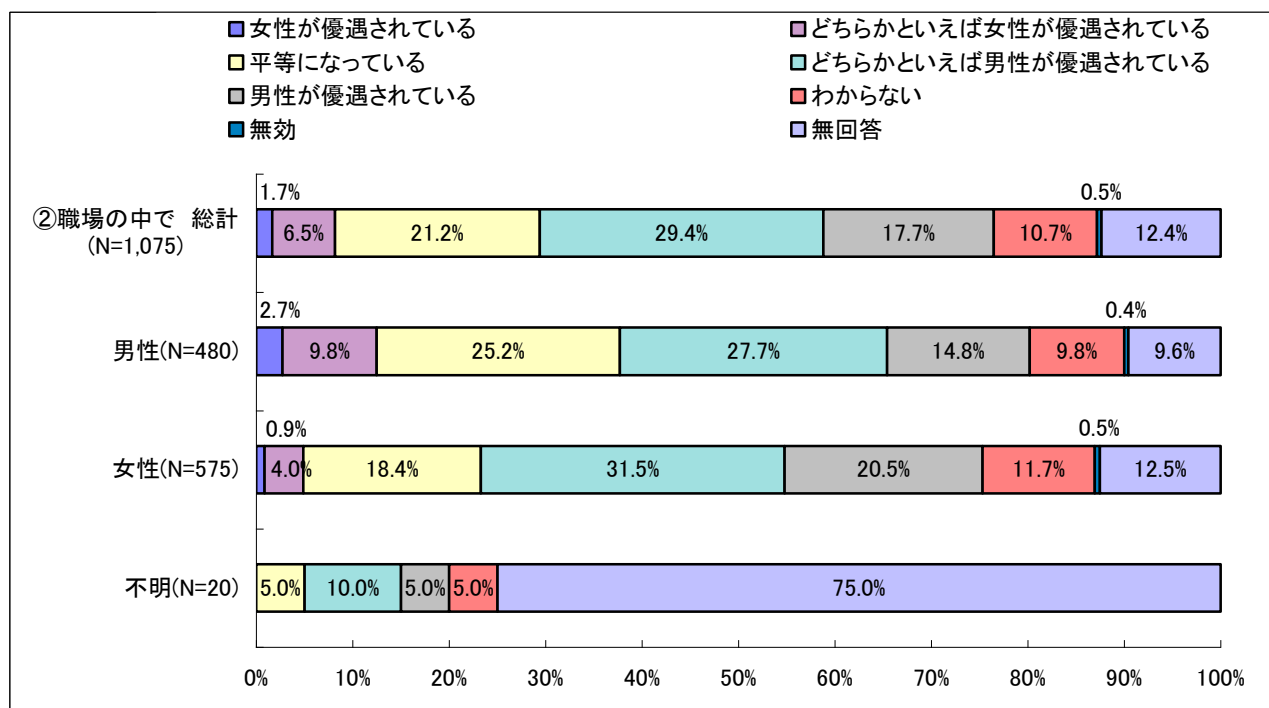
性別でみると、「男性が優遇されている」という回答では、男性が 36.5%で女性より 16.0 ポイント低く、「平等になっている」という回答では、男性が 34.4%で女性より 11.6 ポイント高くなっています。



②職場の中で

全体でみると、「男性が優遇されている」という回答が 47.1%を占めたのに対し、「平等になっている」という回答は 21.2%でした。

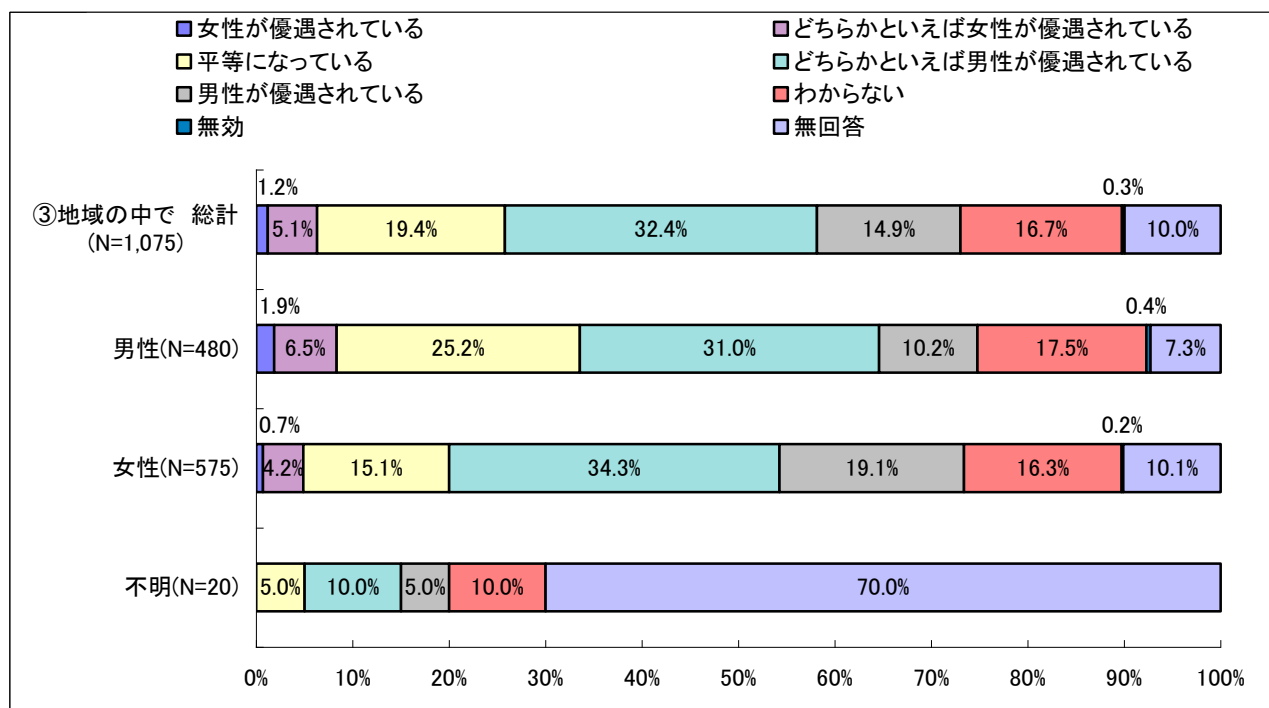
性別でみると、「男性が優遇されている」という回答では、男性が 42.5%で女性より 9.5 ポイント低く、「平等になっている」という回答では、男性が 25.2%で女性より 6.8 ポイント高くなっています。



③地域の中で

「男性が優遇されている」という回答が全体の 47.3%を占めたのに対し、「平等になっている」という回答は 19.4%でした。

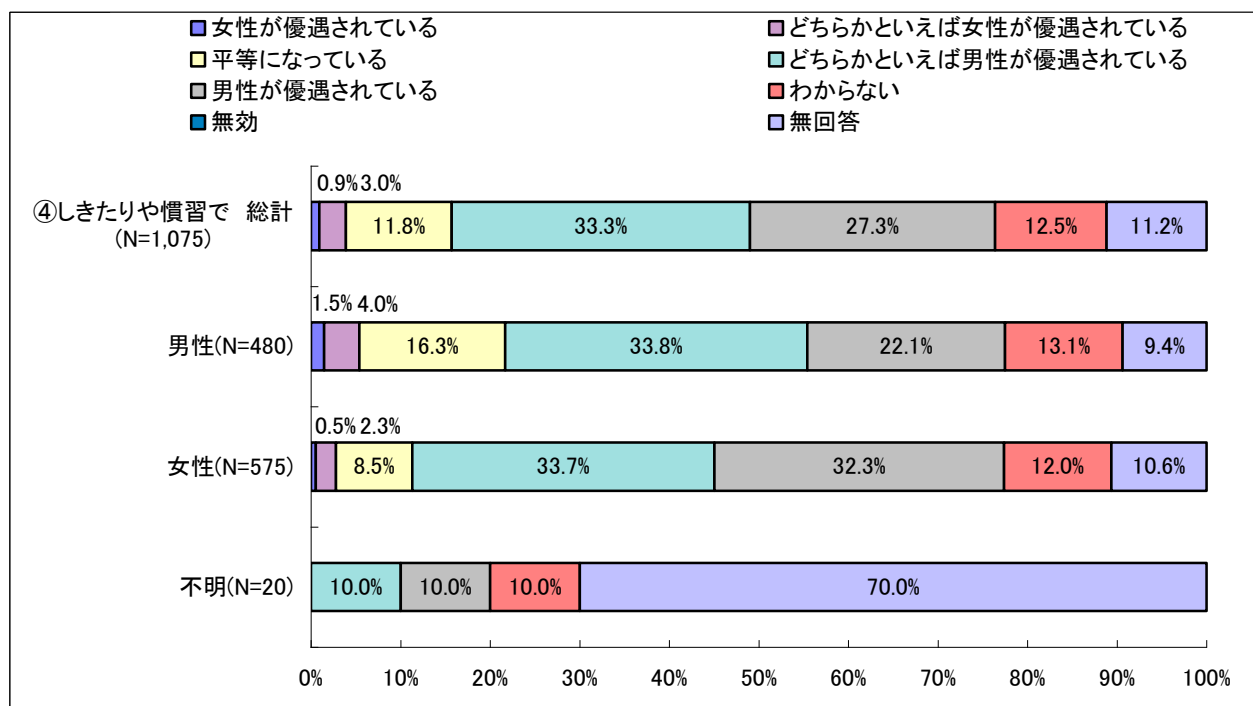
性別でみると、「男性が優遇されている」という回答では、男性が 41.2%で女性より 12.2 ポイント低く、「平等になっている」という回答では、男性が 25.2%で女性より 10.1 ポイント高くなっています。



④しきたりや慣習で

全体でみると、「男性が優遇されている」という回答が 60.6%を占めたのに対し、「平等になっている」という回答は 11.8%でした。

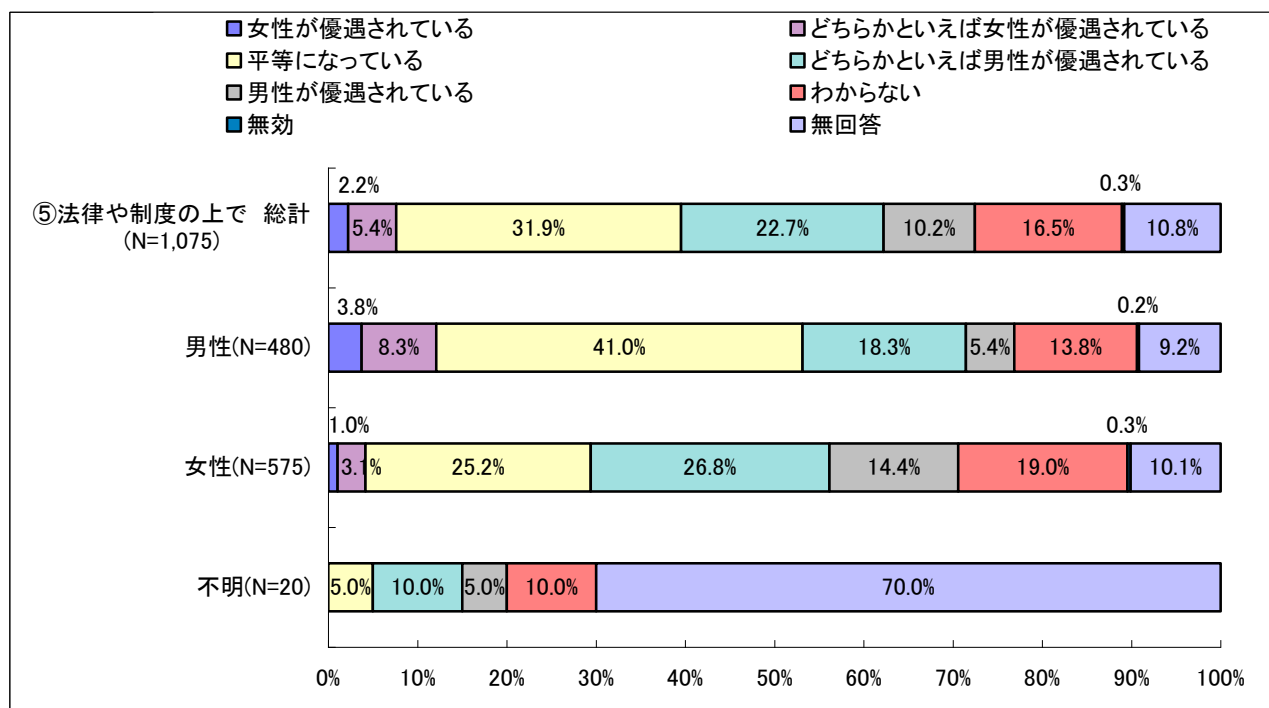
性別でみると、「男性が優遇されている」という回答では、男性が 55.9%で女性より 10.1 ポイント低く、「平等になっている」という回答では、男性が 16.3%で女性より 7.8 ポイント高くなっています。



⑤法律や制度の上で

全体でみると「男性が優遇されている」という回答は 32.9%、「平等になっている」という回答は 31.9%で、ふたつの回答の間に大きな差はありませんでした。

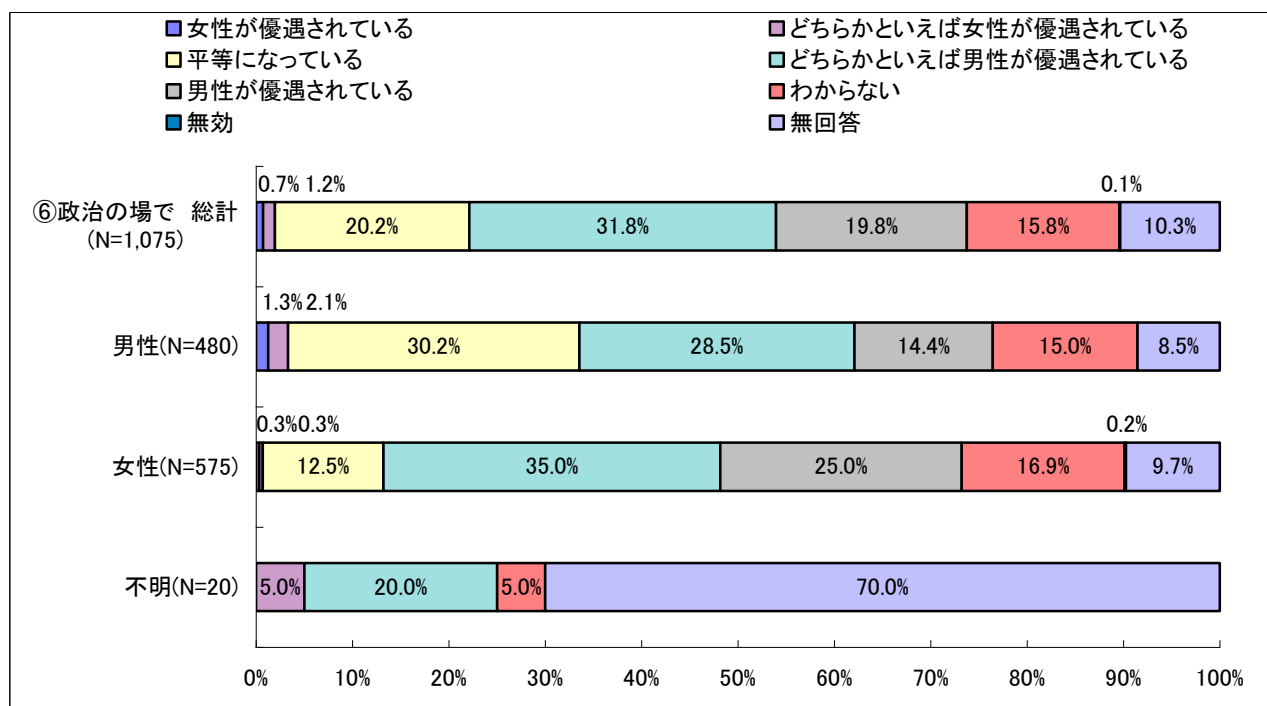
性別でみると、「男性が優遇されている」という回答では、男性が 23.7%で女性より 17.5 ポイント低く、「平等になっている」という回答では、男性が 41.0%で女性より 15.8 ポイント高くなりました。



⑥政治の場で

「男性が優遇されている」という回答が全体の 51.6%を占めたのに対し、「平等になっている」という回答は 20.2%でした。

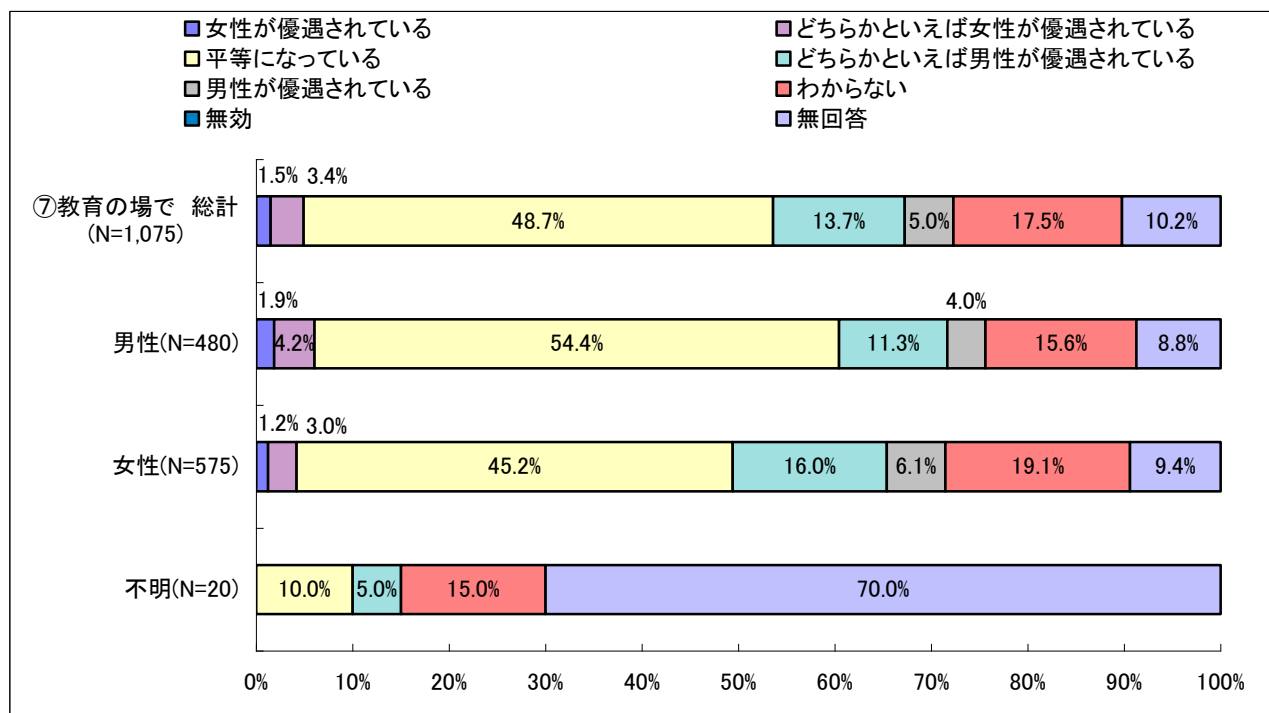
性別でみると、「男性が優遇されている」という回答では、男性が 42.9%で女性より 18.0 ポイント低く、「平等になっている」という回答では、男性が 30.2%で女性より 17.7 ポイント高くなりました。



⑦教育の場で

「平等になっている」という回答が全体の 48.7%を占めました。「どちらかといえば女性が優遇されている」と「女性が優遇されている」を合わせた「女性が優遇されている」(以下、「女性が優遇されている」と、「男性が優遇されている」を比較したところ、「女性が優遇されている」が 4.9%で「男性が優遇されている」よりも 13.8 ポイント低くなっています。

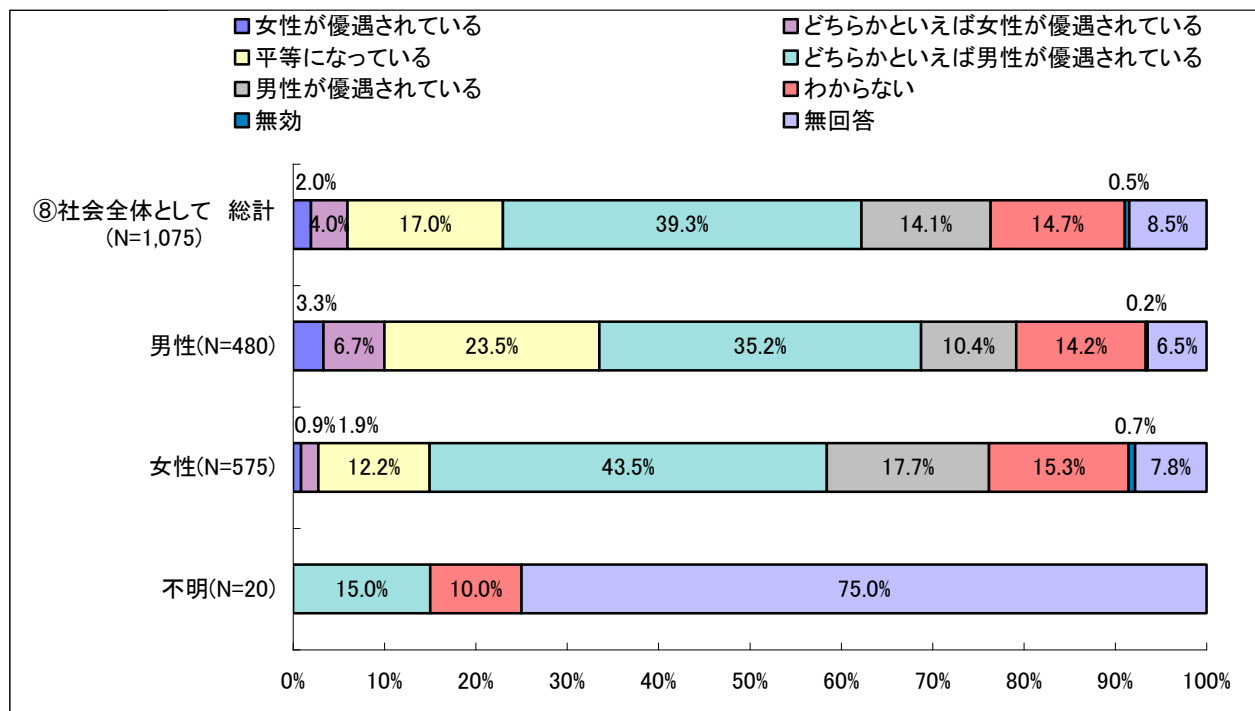
性別でみると「平等になっている」という回答では男性 54.4%、女性 45.2%となっており、男性が女性より 9.2 ポイント高くなりました。



⑧社会全体として

「男性が優遇されている」という回答が全体の 53.4%を占めており、「平等になっている」という回答は 17.0%でした。

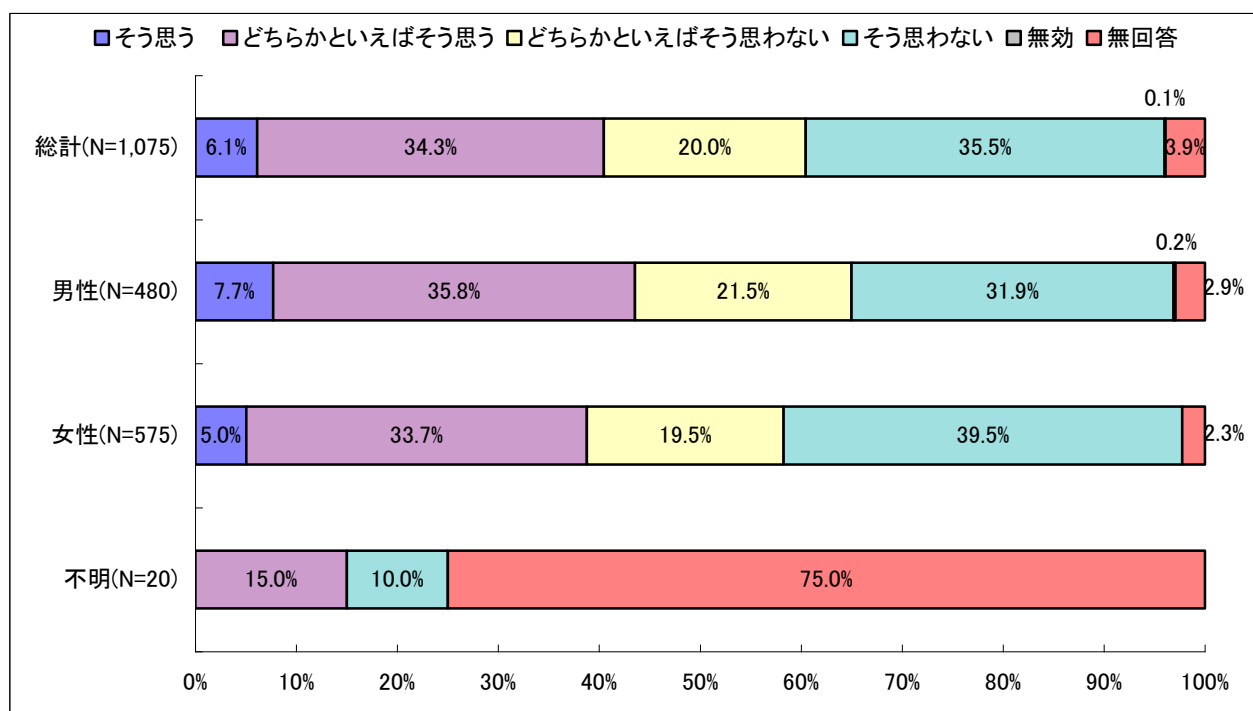
性別でみると、「男性が優遇されている」という回答では、男性が 45.6%で女性より 14.6 ポイント低く、「平等になっている」という回答では、男性が 23.5%で女性より 11.3 ポイント高くなりました。



【問 12】 「男は仕事、女は家庭」という考え方についてどう思いますか。

「そう思わない」と「どちらかといえばそう思わない」を合わせた「そう思わない」(以下、「そう思わない」)の回答は 55.5%、「そう思う」と「どちらかといえばそう思う」を合わせた「そう思う」(以下、「そう思う」)の回答は 40.4%でした。「そう思わない」は「そう思う」より 15.1 ポイント高くなりました。

性別でみると、「そう思わない」という回答では男性が 53.4%で女性より 5.6 ポイント低くなりましたが、大きな差はありません。「そう思う」という回答では男性が 43.5%で女性より 4.8 ポイント高くなりましたが、こちらも大きな差はありませんでした。

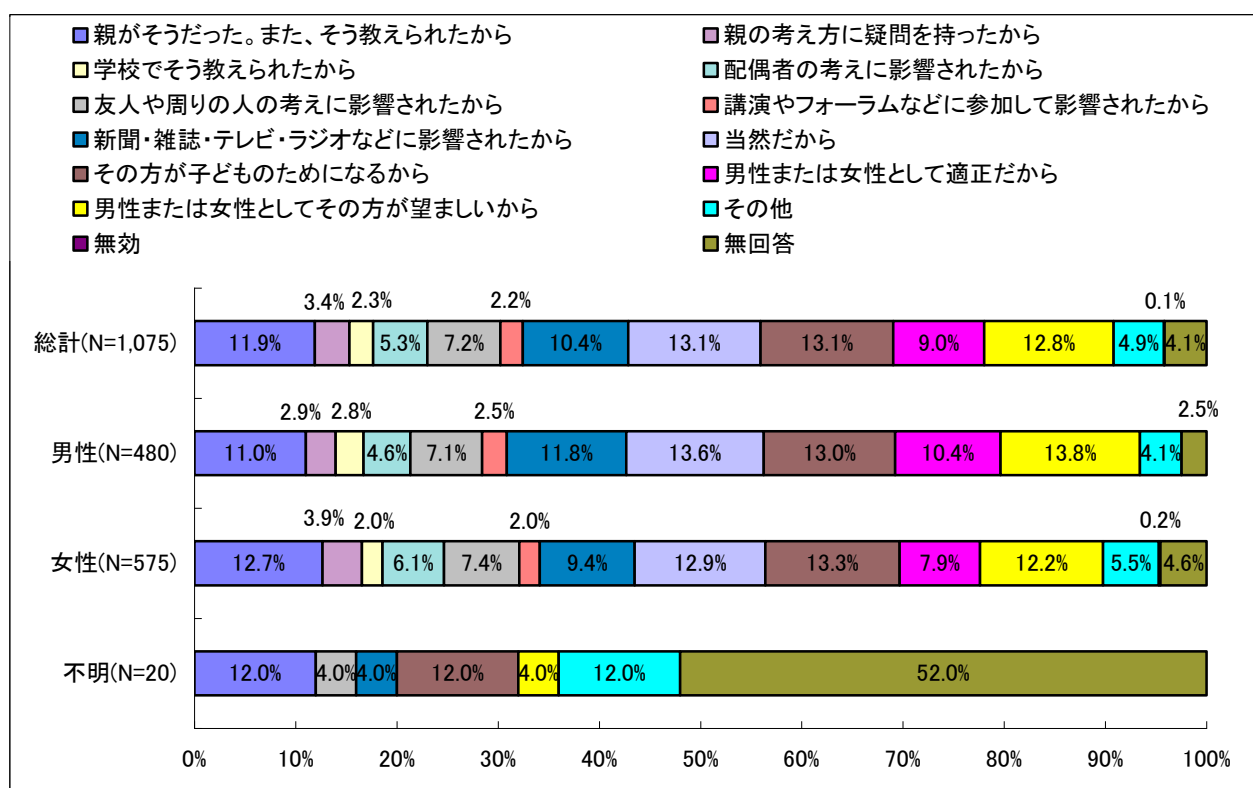


【問 13】 問 12 の回答のように考えるようになった理由を、次の中から 3 つまで選んで○をつけてください。

「当然だから」と「その方が子どものためになるから」という回答が共に 13.1%、以下「男性または女性としてその方が望ましいから」という回答が 12.8%という順になりました。

性別でみると、「当然だから」という回答では男性が 13.6%で女性より 0.7 ポイント高くなりました。「その方が子どものためになるから」という回答では男性が 13.0%で女性より 0.3 ポイント低くなりました。「男性または女性としてその方が望ましいから」という回答では男性が 13.8%で女性より 1.6 ポイント高くなりました。それぞれの回答に大きな差はありませんでした。

男女共に「学校でそう教えられたから」(男性 2.8%、女性 2.0%)や「講演やフォーラムなどに参加して影響されたから」(男性 2.5%、女性 2.0%)という回答は他の回答よりも低くなりました。



【問 14】 あなたの家事、育児、介護にかかわる時間は1日当たり、どのくらいですか。
①～③についてそれぞれ1つ選んで○をつけてください。

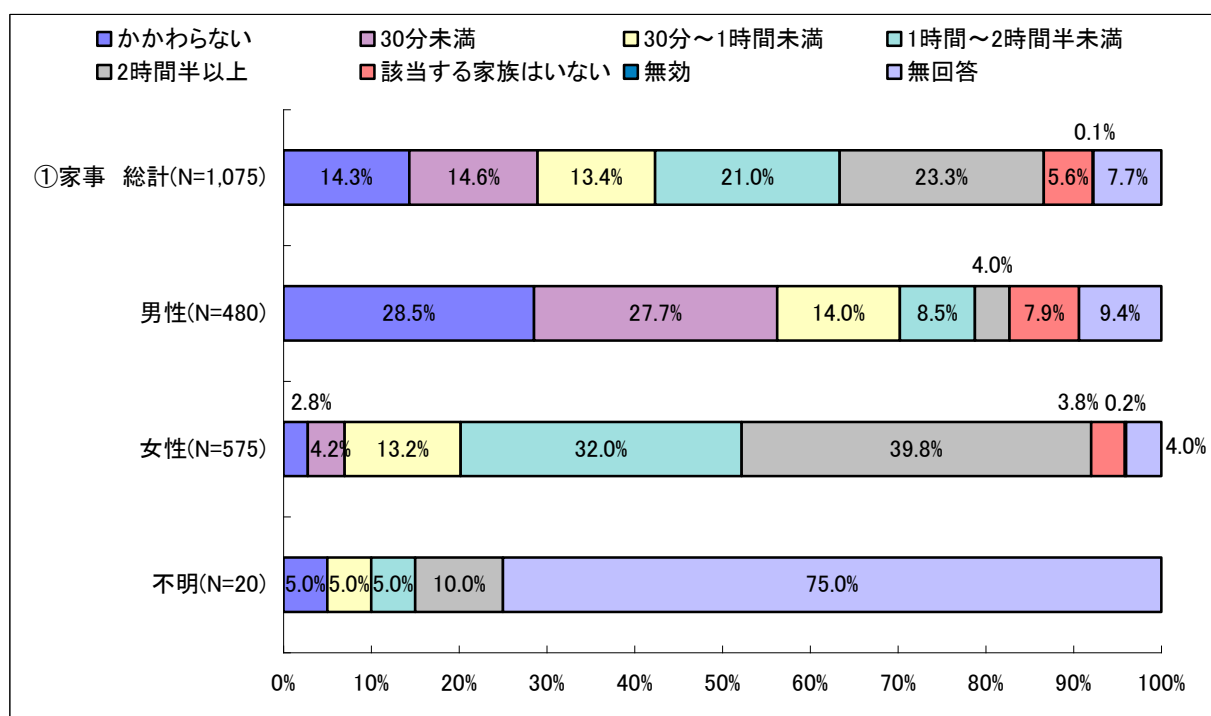
男性はどの分野においても「30分未満」しかかわりを持たない人が多いようです。

また、男女共に育児・介護の場面において「かわらない」という回答が、他の回答の割合よりも高くなることもありました。

①家事

「30 分未満」、「30 分以上～1 時間未満」、「1 時間～2 時間半未満」、「2 時間半以上」を合わせた「かかわる」(以下、「かかわる」)という回答は全体で 72.3%を占め、「かかわらない」という回答(14.3%)より 58.0 ポイント高くなりました。

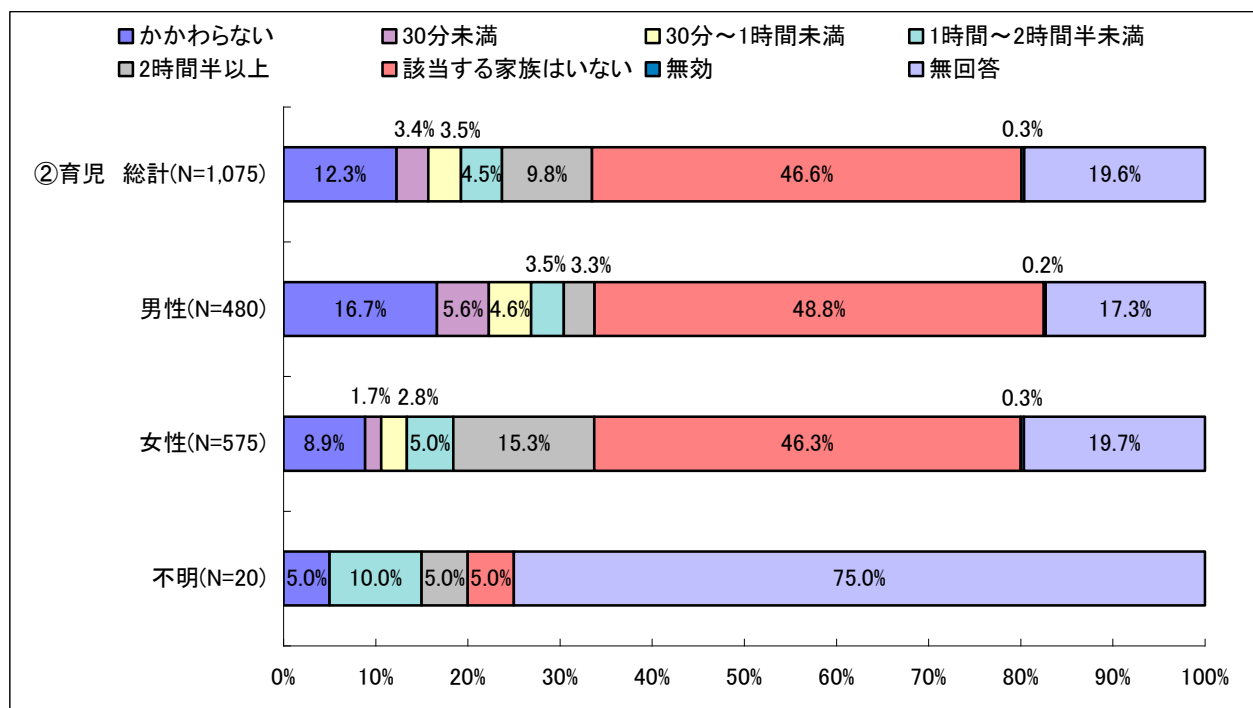
性別で見ると、「かかわる」という回答では男性が 54.2%で女性より 35.0 ポイント低くなりました。「かかわらない」という回答を除くと、男性では「30 分未満」(27.7%)という回答が最も多く、女性では「2 時間半以上」(39.8%)という回答が最も多くなりました。



②育児

全体でみると、「かかわる」という回答が 21.2%で、「かかわらない」という回答が 12.3%でした。

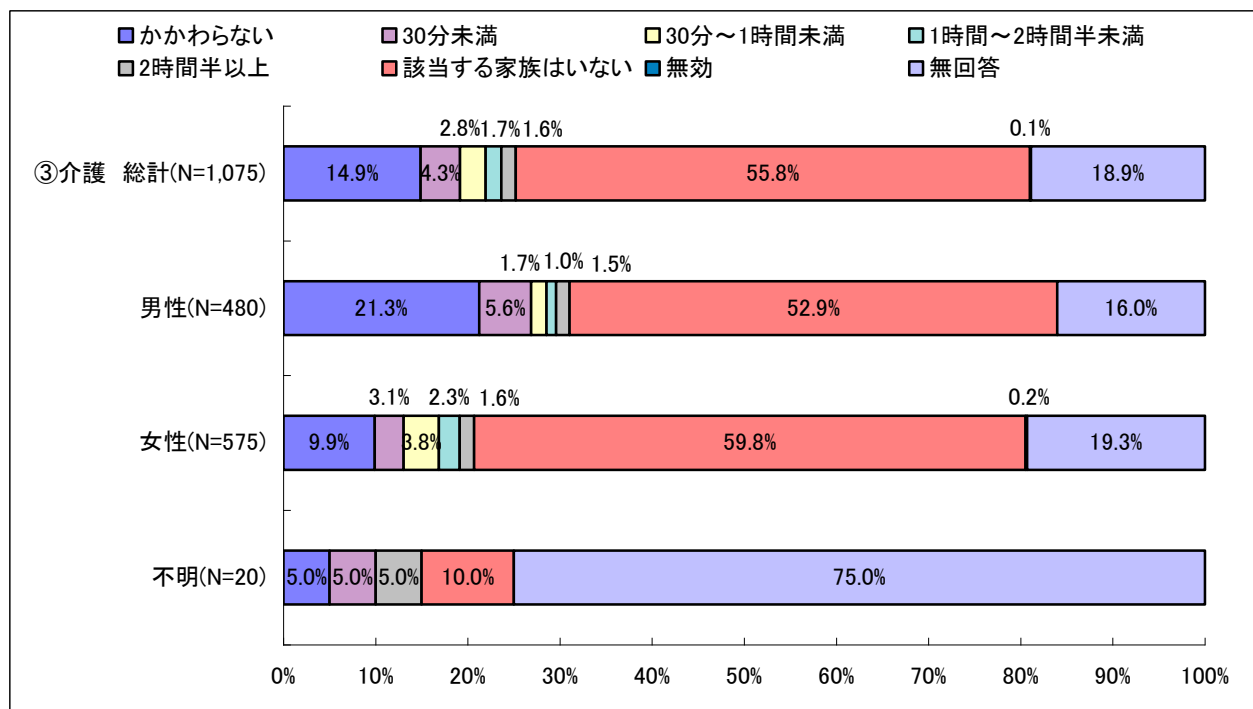
性別でみると、「かかわる」という回答では男性が 17.1%で女性より 6.8 ポイント低くなりました。



③介護

全体では「かかわる」という回答が 10.3%、「かかわらない」という回答が 14.9%でした。

性別でみると、「かかわる」という回答では男性が 9.8%で女性より 1.0 ポイント低くなりましたが、大きな差はありませんでした。「かかわらない」という回答では男性が 21.3%で女性より 10.4 ポイント高くなりました。



【問 15】 あなたの家庭では、次にあげる家事などを主にだれが分担していますか。
①～⑫について【回答欄(1)】は、あなたの現状にあてはまるものを、【回答欄(2)】は理想と考えるものをそれぞれ 1 つ選んで○をつけてください。

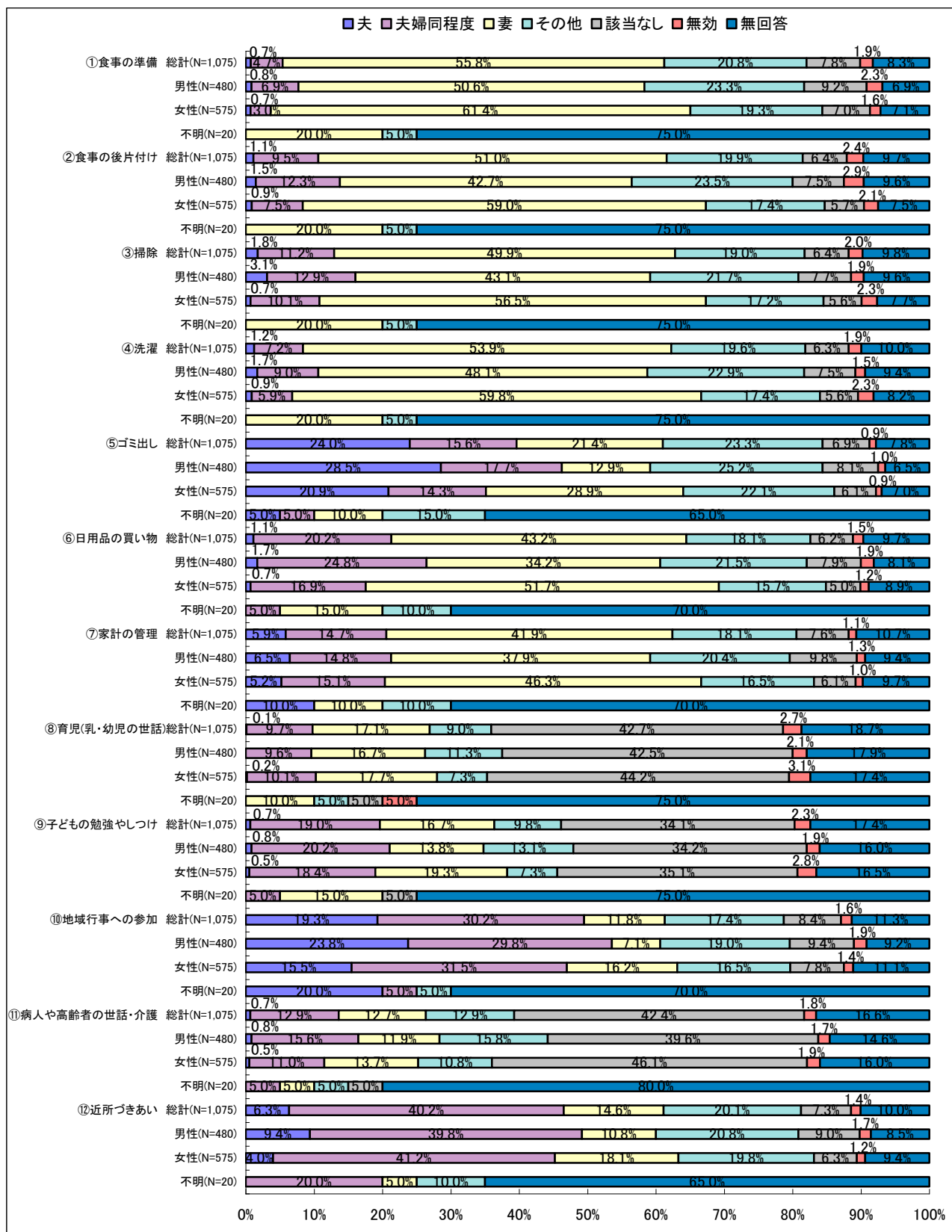
なお、未婚や単身の方についての回答は、回答欄(1)の記載は、未婚で家族が家事を分担している場合は「その他」に、単身の方は「該当なし」に○をつけてください。回答欄(2)の記載は結婚したと想定した場合を記載してください。

- ①食事の準備
- ②食事の後片付け
- ③掃除
- ④洗濯
- ⑤ゴミ出し
- ⑥日用品の買い物
- ⑦家計の管理
- ⑧育児(乳・幼児の世話)
- ⑨子どもの勉強やしつけ
- ⑩地域行事への参加
- ⑪病人や高齢者の世話・介護
- ⑫近所づきあい

現状

「食事の準備」、「食事の後片付け」、「掃除」、「洗濯」、「ゴミ出し」、「日用品の買い物」、「家計の管理」、「育児」など、家の中のことに関する仕事は女性が中心のようです。

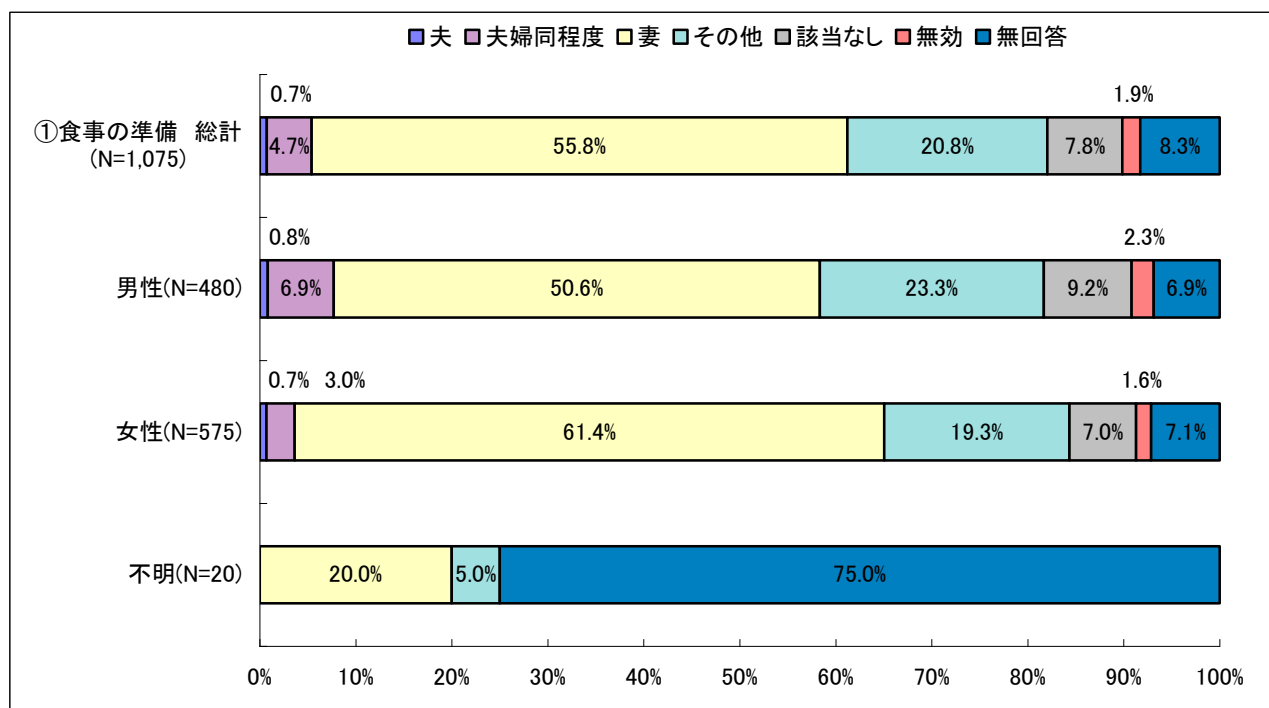
「地域行事への参加」、「近所づきあい」などの家計(お金)のかかわらない外の仕事については男性もしくは夫婦同程度、「子どもの勉強やしつけ」、「介護」に関しては、夫婦同程度もしくは女性が役割を担っているようです。



①食事の準備(現状)

「妻」が食事の準備を担当していると回答したのは全体の 55.8%で、以下「その他」という回答が 20.8%という順になりました。

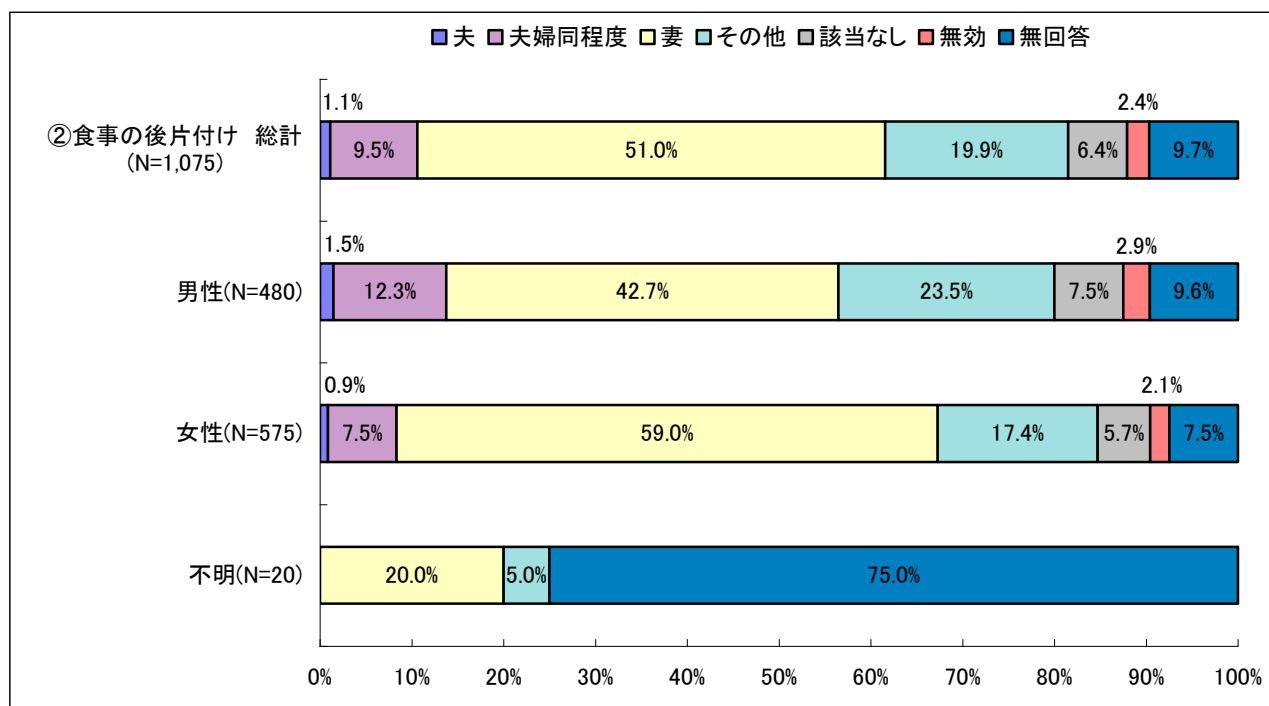
性別でみると、「妻」という回答では男性が 50.6%で女性より 10.8 ポイント低くなりました。「その他」という回答では男性が 23.3%で女性より 4.0 ポイント高く、「夫婦同程度」という回答でも男性が 6.9%で女性より 3.9 ポイント高くなりました。



②食事の後片付け(現状)

「妻」が食事の後片付けを担当していると回答したのは全体の 51.0%で、以下「その他」という回答が 19.9%という順になりました。

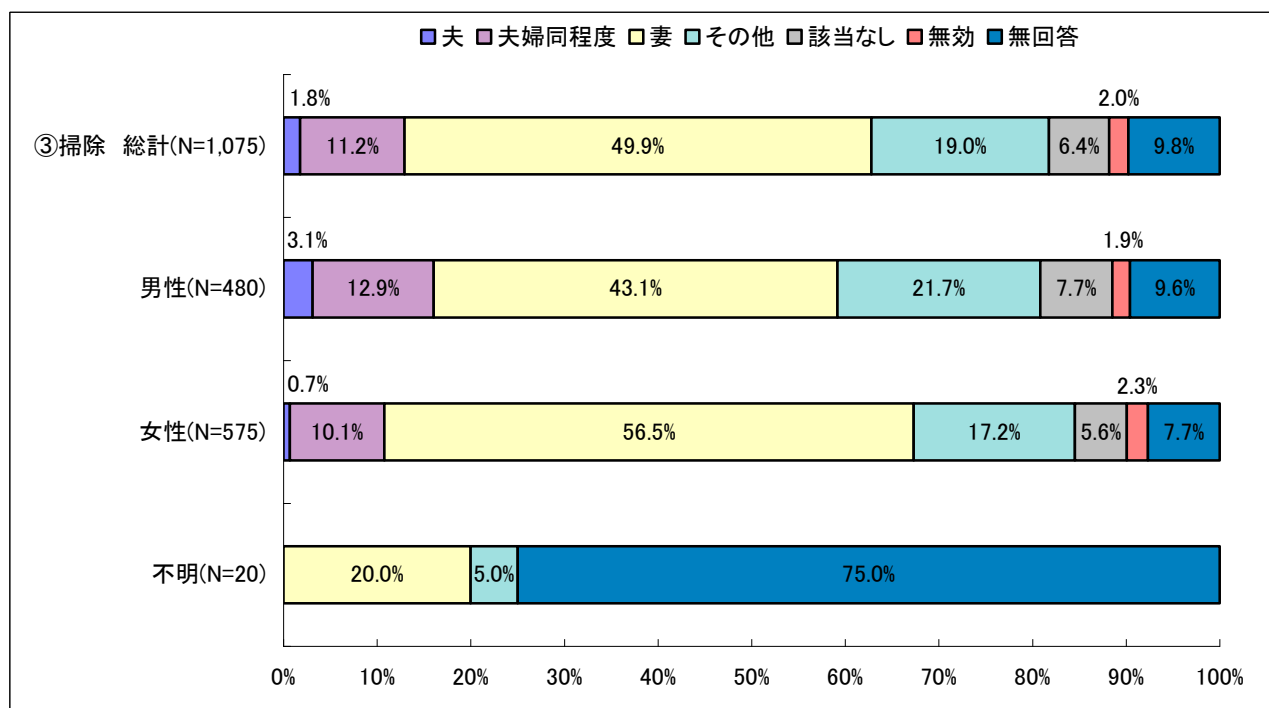
性別でみると、「妻」という回答では男性が 42.7%で女性より 16.3 ポイント低くなりました。「その他」という回答では男性が 23.5%で女性より 6.1 ポイント高くなり、「夫婦同程度」という回答でも男性が 12.3%で女性より 4.8 ポイント高くなりました。



③掃除(現状)

「妻」が家庭の掃除を担当していると回答したのは全体の 49.9%で、以下「その他」という回答が 19.0%、「夫婦同程度」という回答が 11.2%という順になりました。

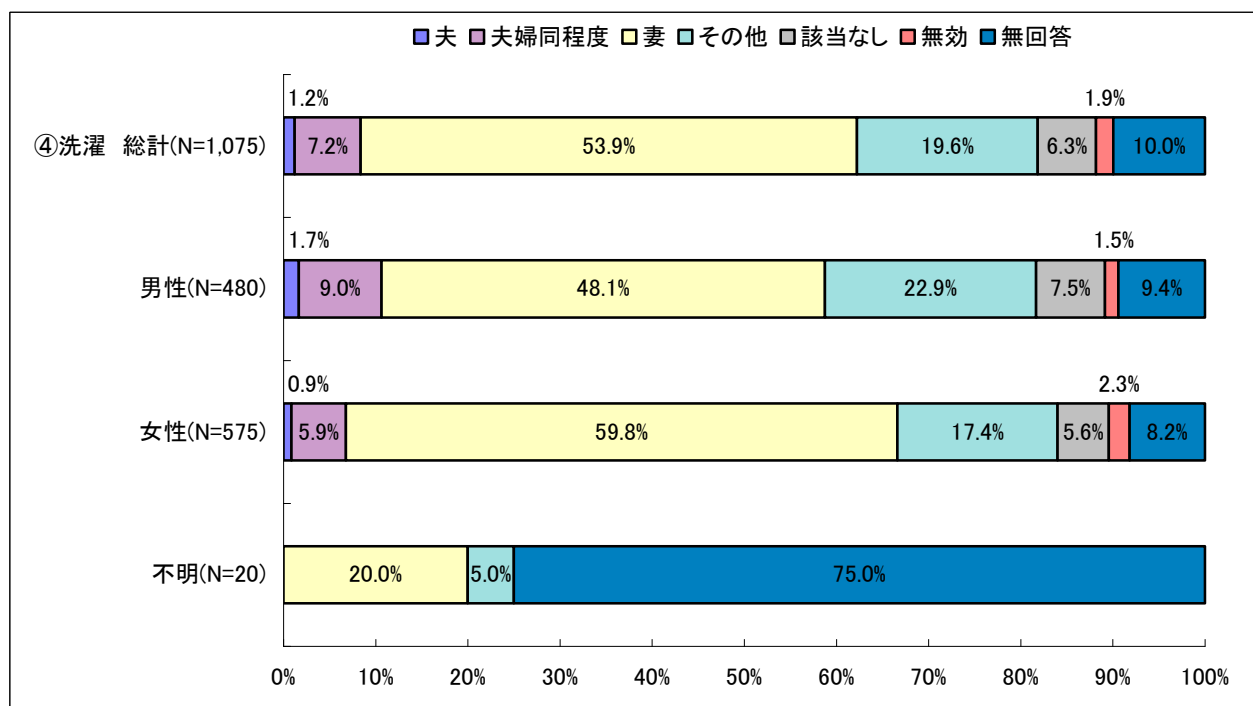
性別でみると、「妻」という回答では男性が 43.1%で女性より 13.4 ポイント低くなりました。「その他」という回答では男性が 21.7%で女性より 4.5 ポイント高く、さらに「夫婦同程度」という回答でも男性が 2.8 ポイント高くなりました。



④洗濯(現状)

「妻」が家庭の洗濯を担当していると答えたのは全体の 53.9%で、以下「その他」という回答が 19.6%、「夫婦同程度」という回答が 7.2%という順になりました。

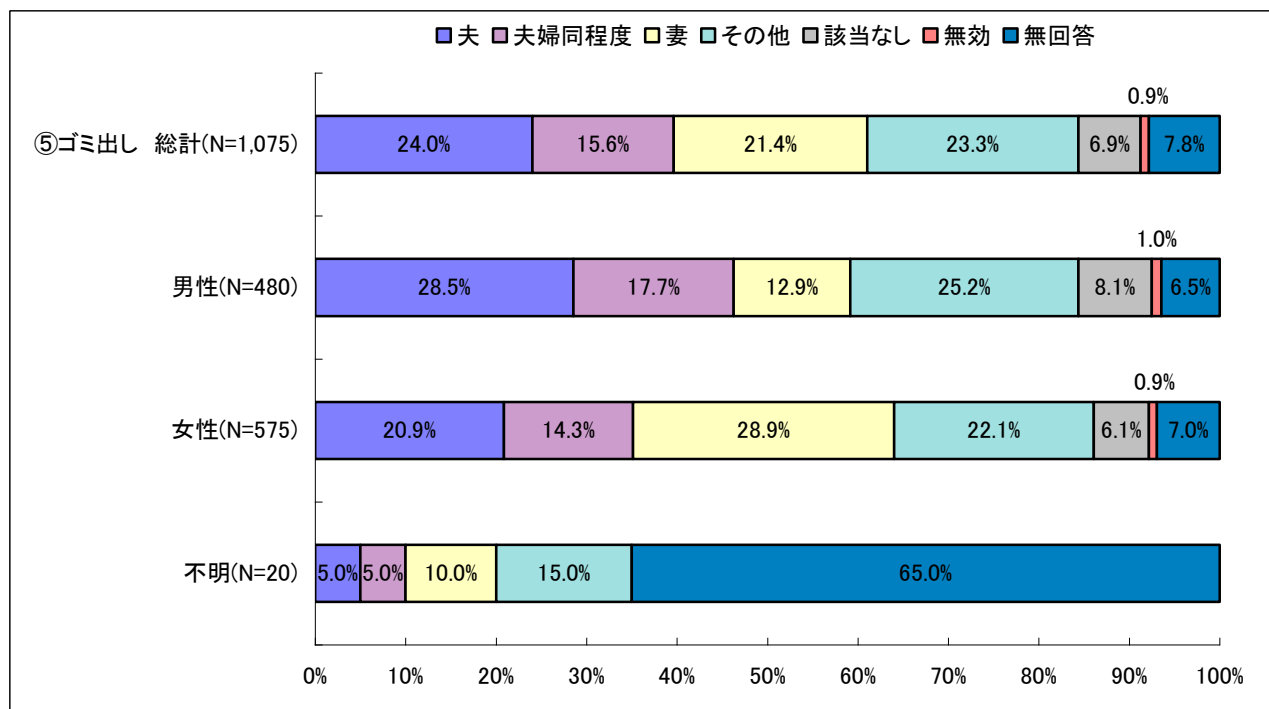
性別でみると、「妻」という回答では男性が 48.1%で女性より 11.7 ポイント低くなりました。「その他」という回答では男性が 22.9%で女性より 5.5 ポイント高くなり、「夫婦同程度」という回答でも男性が 9.0%で女性より 3.1 ポイント高くなりました。



⑤ゴミ出し(現状)

「夫」という回答（24.0%）と「妻」という回答（21.4%）には大きな差はありませんでした。

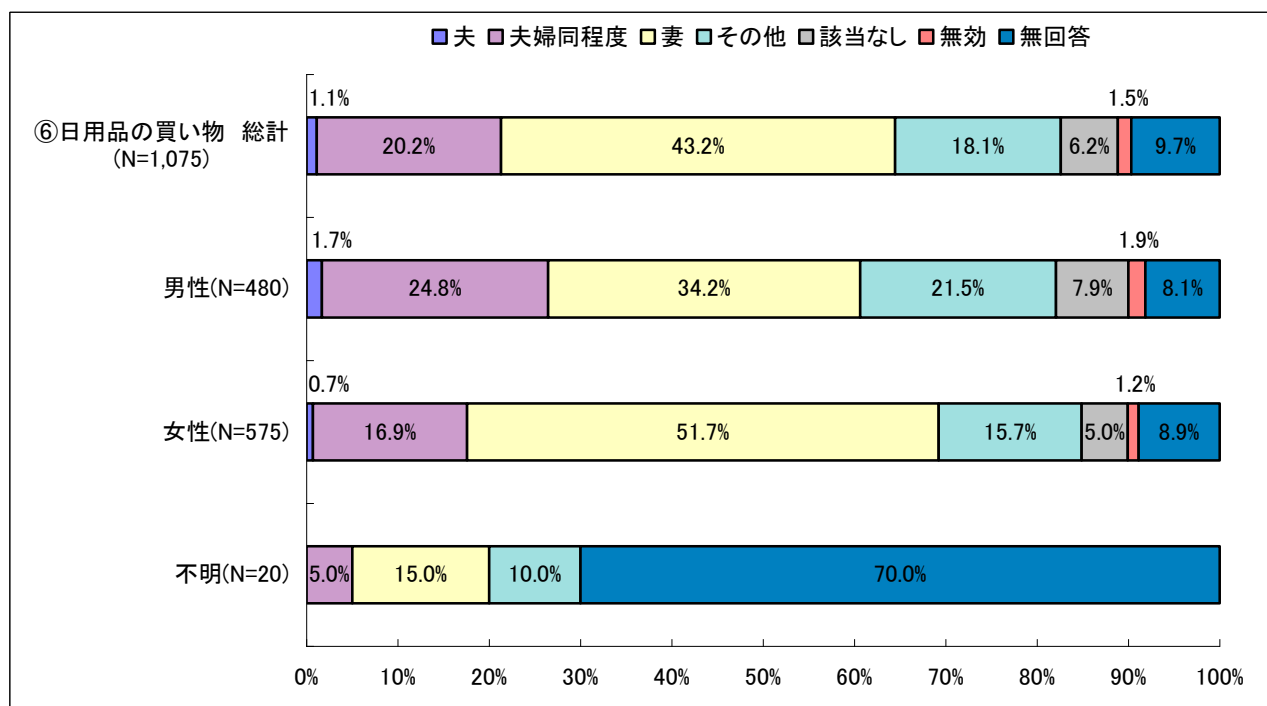
性別でみると、「夫」という回答では男性が 28.5%で女性より 7.6 ポイント高くなりました。「妻」という回答では男性が 12.9%で女性より 16.0 ポイント低くなりました。「夫婦同程度」という回答では男性が 17.7%で女性より 3.4 ポイント高くなりました。



⑥日用品の買い物(現状)

「妻」という回答が 43.2%、以下「夫婦同程度」という回答が 20.2%、「その他」という回答が 18.1%という順となりました。

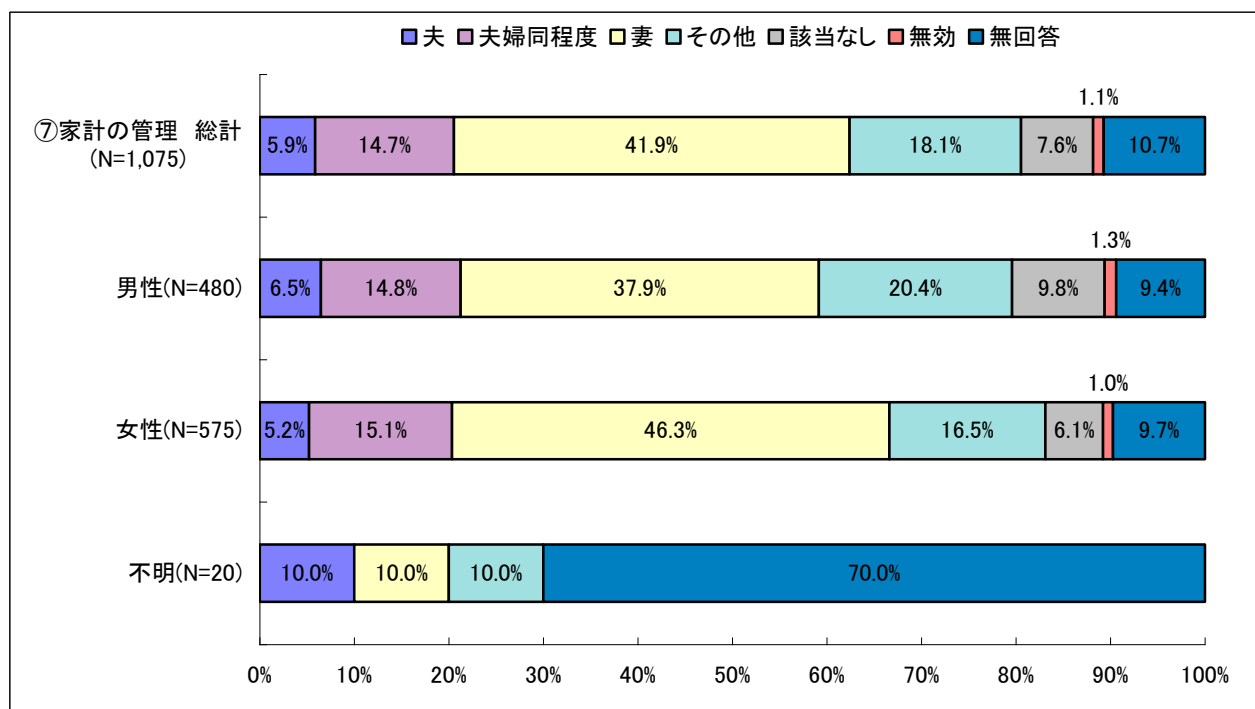
性別でみると、「妻」という回答では男性が 34.2%で女性より 17.5 ポイント低くなりました。「夫婦同程度」という回答では男性が 24.8%で女性より 7.9 ポイント高く、「その他」という回答でも男性が 21.5%で女性より 5.8 ポイント高くなりました。



⑦家計の管理(現状)

「妻」が家計の管理を担当していると答えたのは全体の 41.9%で、以下「その他」という回答が 18.1%、「夫婦同程度」という回答が 14.7%という順になり、男女でも順位は変わりませんでした。

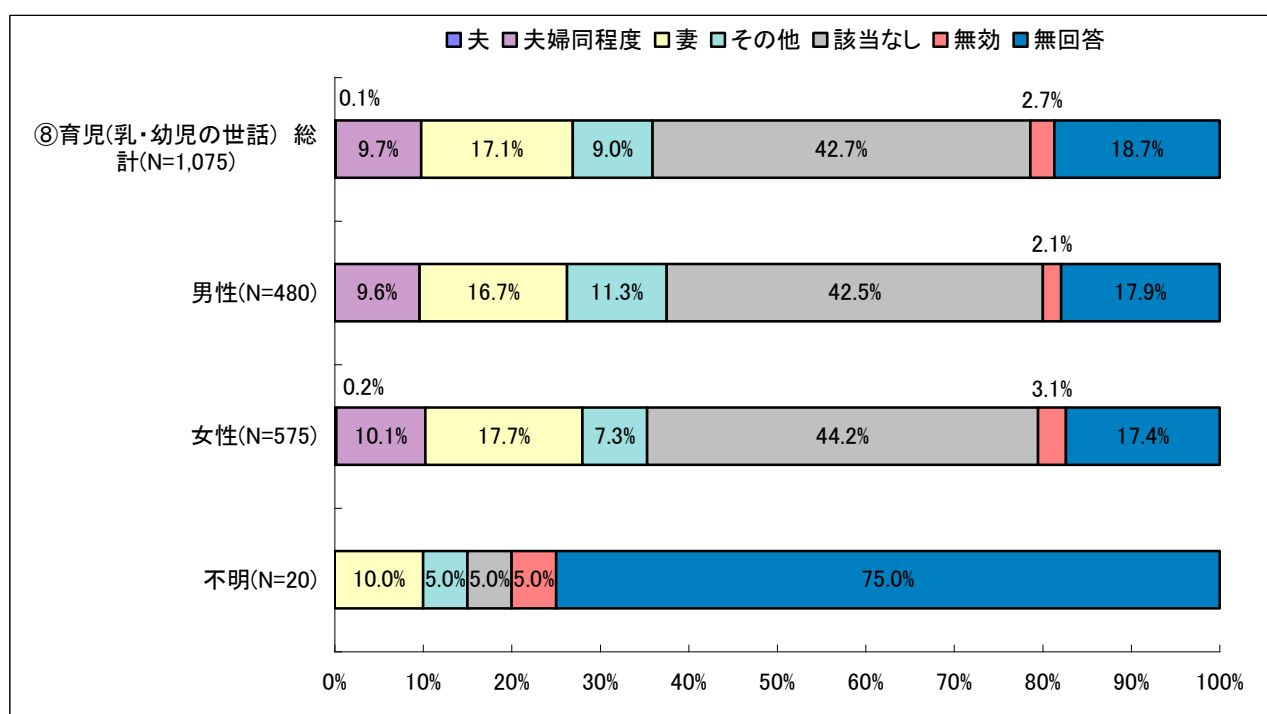
性別でみると、「妻」という回答では男性が 37.9%で女性より 8.4 ポイント低くなりました。「その他」という回答では男性が 20.4%で女性より 3.9 ポイント高くなりました。「夫婦同程度」という回答では男性が 14.8%で女性より 0.3 ポイント低くなりました。



⑧育児（乳・幼児の世話）（現状）

「妻」が育児を担当していると答えたのは全体の 17.1%で、以下「夫婦同程度」という回答が 9.7%、「その他」という回答が 9.0%という順になりました。

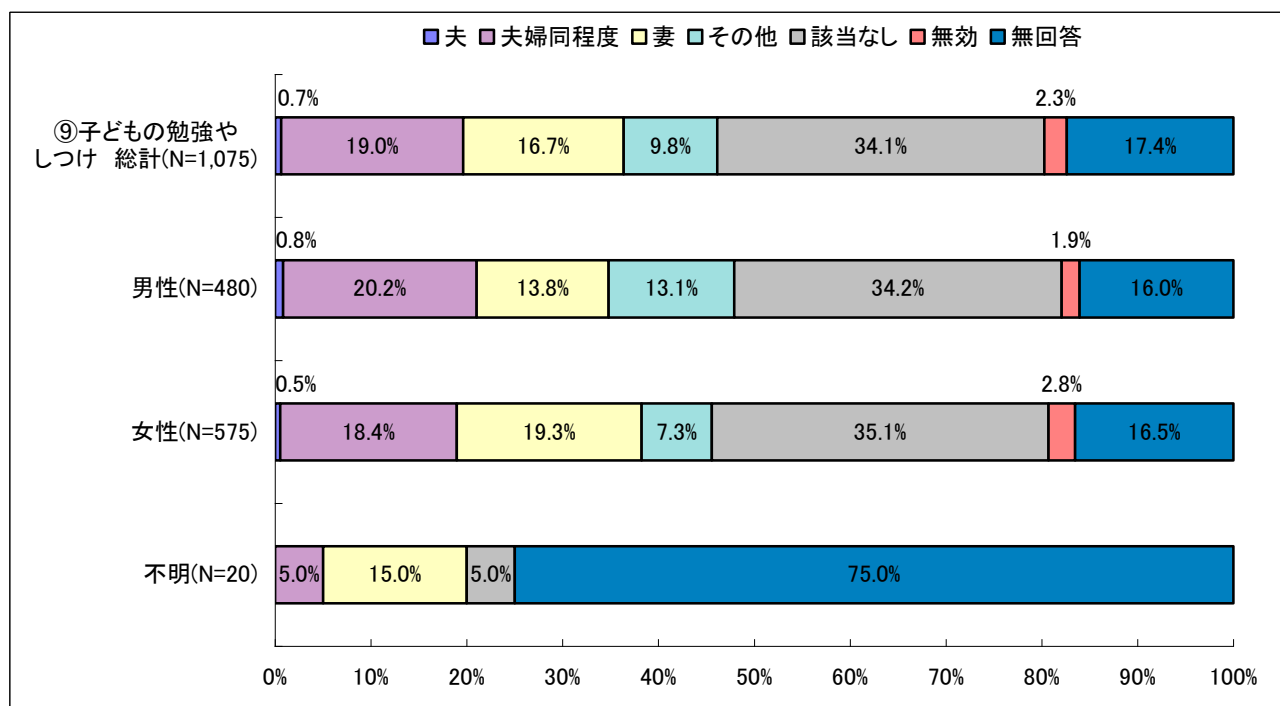
性別でみると、「妻」という回答では男性が 16.7%で女性より 1.0 ポイント低く、さらに「夫婦同程度」という回答でも男性が 9.6%で女性より 0.5 ポイント低くなりましたが、大きな差はありませんでした。「その他」という回答では男性が 11.3%で女性より 4.0 ポイント高くなりましたが、こちらも大きな差はありませんでした。



⑨子どもの勉強やしつけ(現状)

「夫婦同程度」という回答が全体の 19.0%を占め、以下「妻」という回答が 16.7%、「その他」という回答が 9.8%という順になりました。

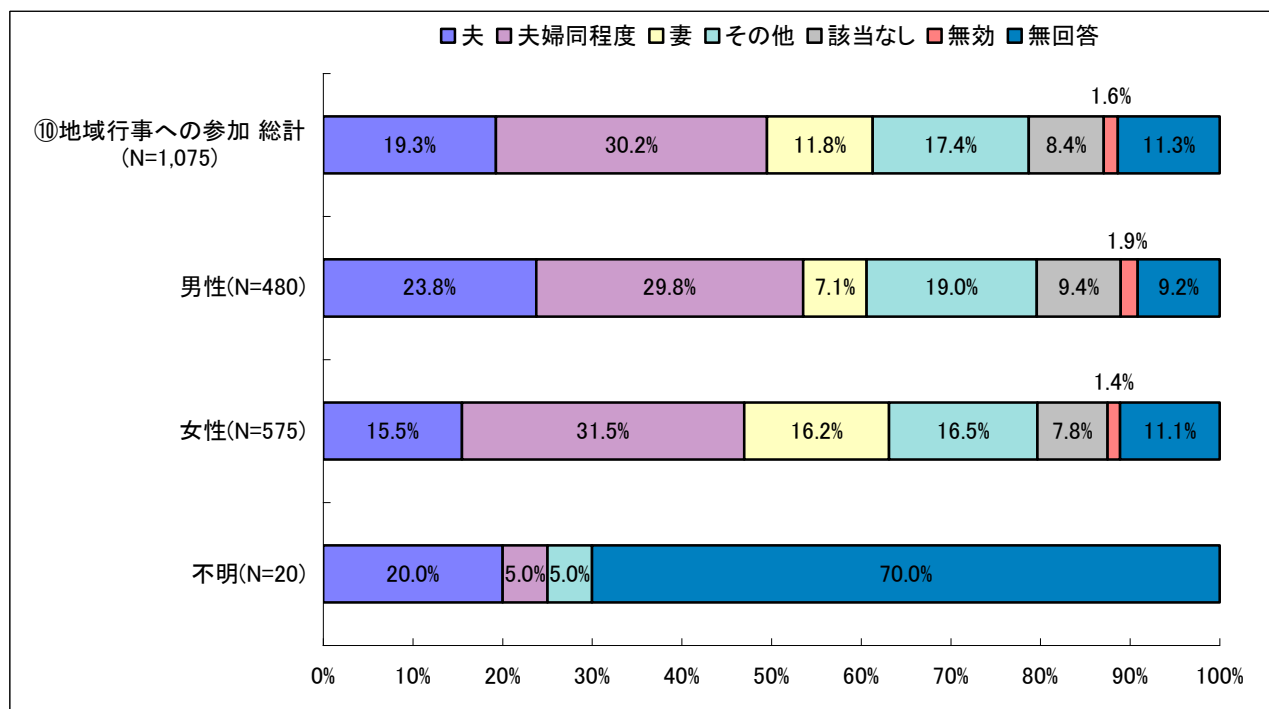
性別でみると、「夫婦同程度」という回答では男性が 20.2%で女性より 1.8 ポイント高くなりました。「妻」という回答では男性が 13.8%で女性より 5.5 ポイント低くなりました。「その他」という回答では男性が 13.1%で女性より 5.8 ポイント高くなりました。



⑩地域行事への参加(現状)

「夫婦同程度」という回答が全体の 30.2%を占め、以下「夫」という回答が 19.3%、「その他」という回答が 17.4%でした。

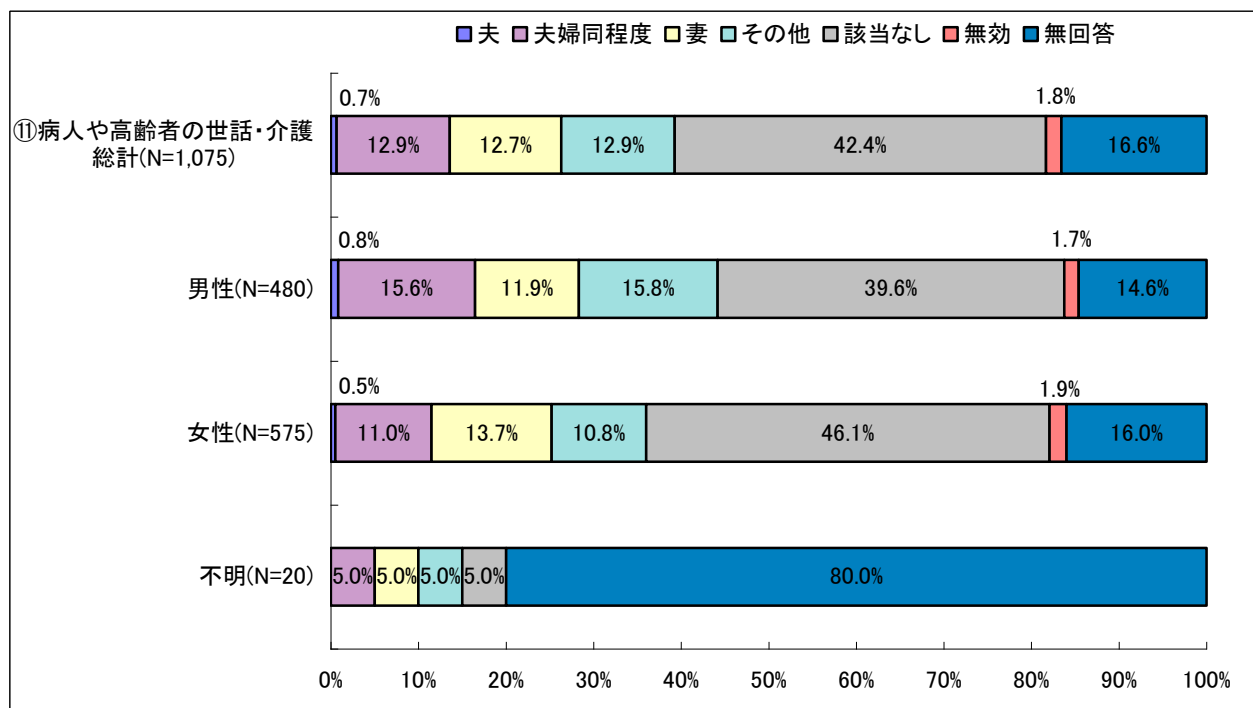
性別でみると、「夫婦同程度」という回答では男性が 29.8%で女性より 1.7 ポイント低くなりました。「夫」という回答では男性が 23.8%で女性より 8.3 ポイント高く、「その他」という回答でも男性が 19.0%で女性より 2.5 ポイント高くなりました。「妻」という回答では男性が 7.1%で女性より 9.1 ポイント低くなりました。



⑪ 病人や高齢者の世話・介護(現状)

「夫婦同程度」と「その他」という回答がどちらも 12.9%で、以下「妻」という回答が 12.7%という順でした。これらの間には大きな差はありませんでした。

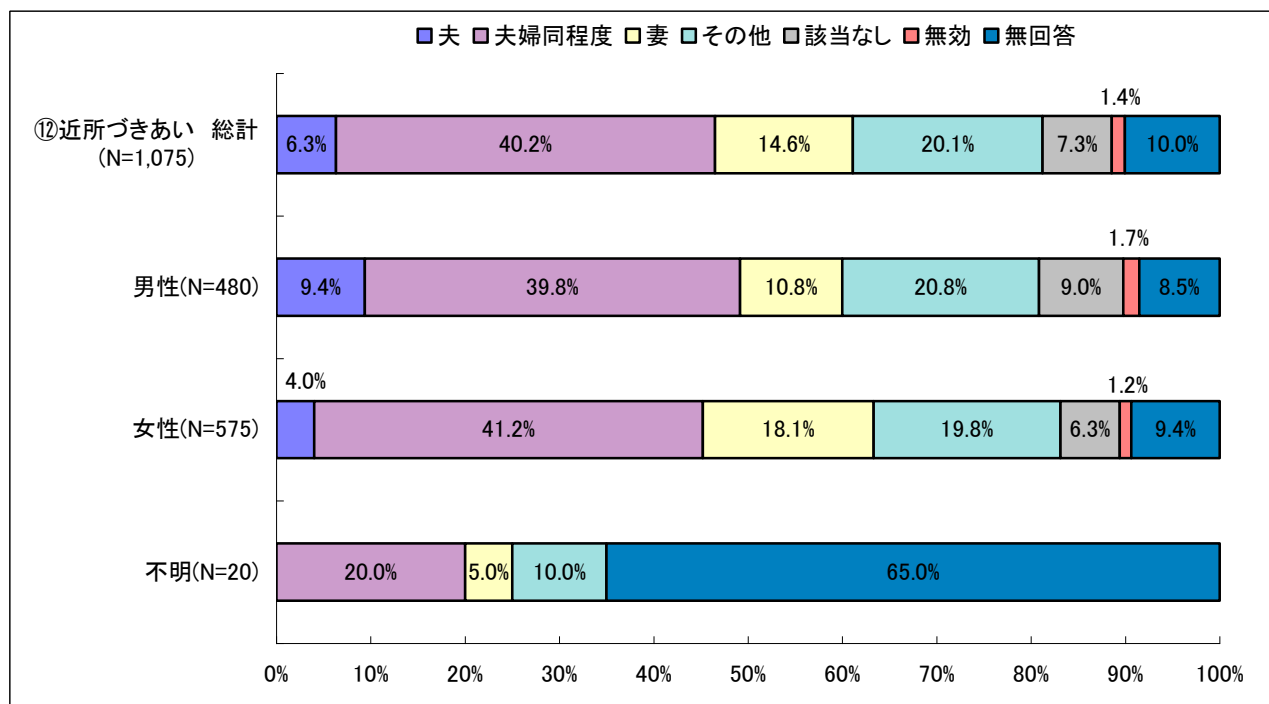
性別でみると、「夫婦同程度」という回答では男性が 15.6%で女性より 4.6 ポイント高く、「その他」という回答では男性が 15.8%で女性より 5.0 ポイント高くなりました。「妻」という回答では男性が 11.9%で女性より 1.8 ポイント低くなりましたが、大きな差はありませんでした。



⑫近所づきあい

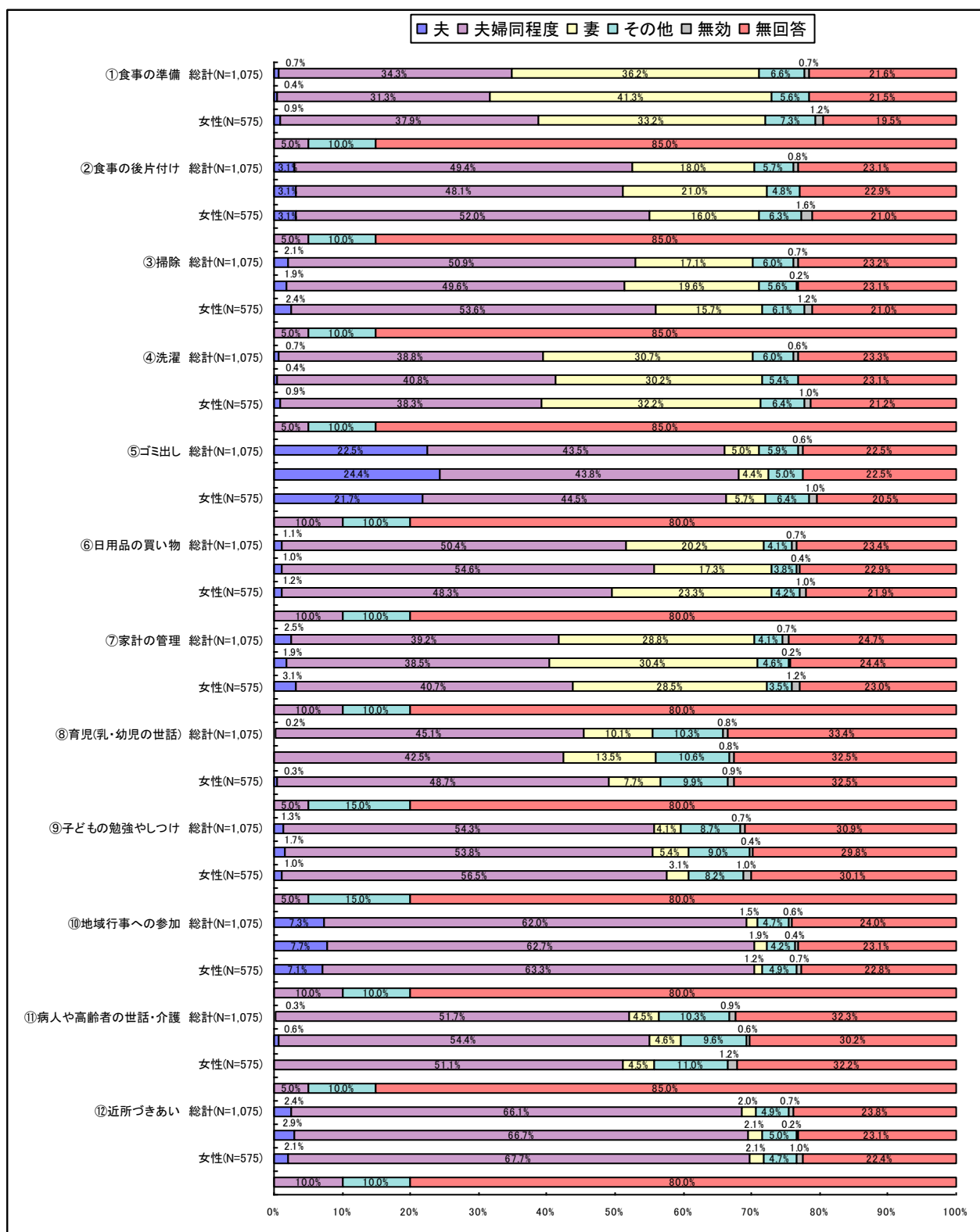
「夫婦同程度」という回答が 40.2%を占め、以下「その他」という回答が 20.1%、「妻」という回答が 14.6%という順になりました。

性別でも男女共に順位に変わりはありません。「夫婦同程度」という回答では男性が 39.8%で女性より 1.4 ポイント高くなりましたが大きな差はありませんでした。「妻」という回答では男性が 10.8%で女性より 7.3 ポイント低くなりました。



理想

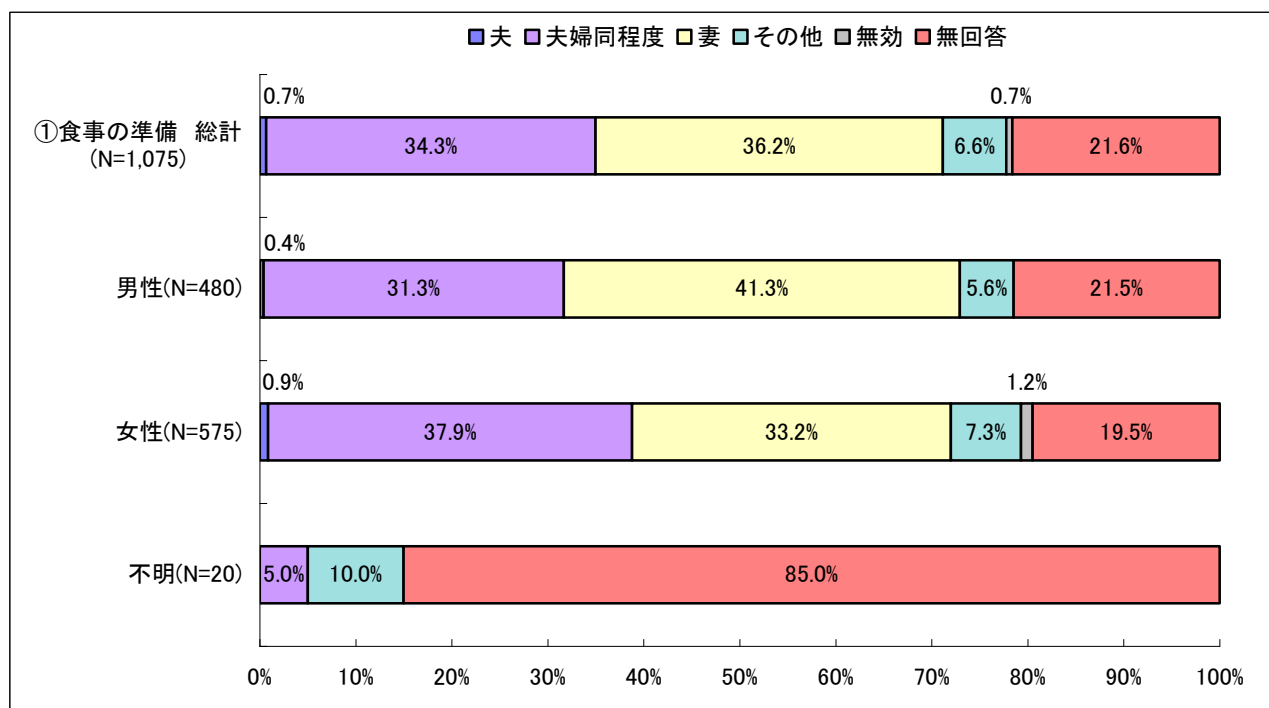
「現状」では、家の中に関する仕事は「妻」、地域行事や近所づきあいは「夫」または「夫婦同程度」で担当していました。しかし、「理想」としては家庭内のあらゆる仕事は「夫婦同程度」にすることが望ましいと回答する方が大多数でした。特に、食事の後片付けでは「現状」(9.5%)と「理想」(49.4%)には 39.9 ポイントもの差がありました。



①食事の準備(理想)

全体で、割合の多い「妻」という回答(36.2%)と「夫婦同程度」という回答(34.3%)の間には大きな差はありませんでした。

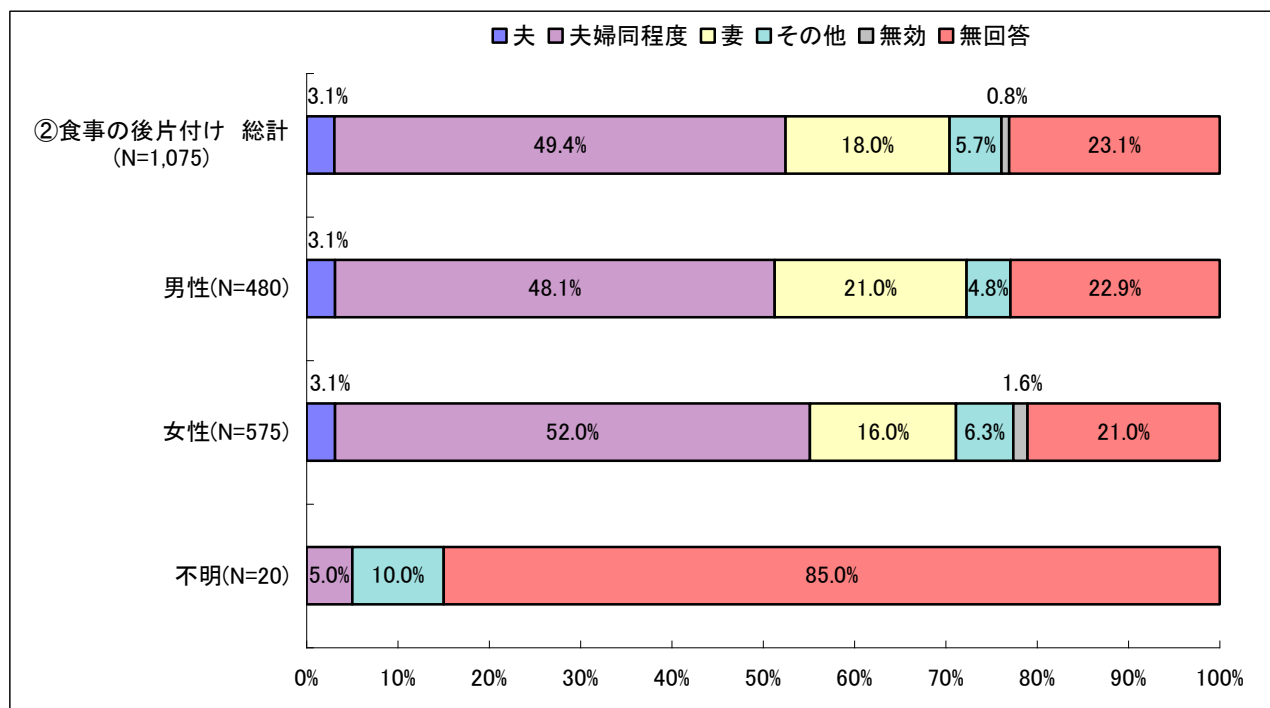
現状では「妻」という回答が全体の 55.8%を占めていましたが、理想と現状を比較してみますと、理想では現状よりも 19.6 ポイント低くなりました。「夫婦同程度」という回答では、理想が 34.3%で現状よりも 26.6 ポイント高くなりました。



②食事の後片付け(理想)

「夫婦同程度」という回答が全体の 49.4%を占め、以下「妻」という回答が 18.0%、「その他」5.7%という順になり、性別でも男女共に順位に変わりはありませんでした。

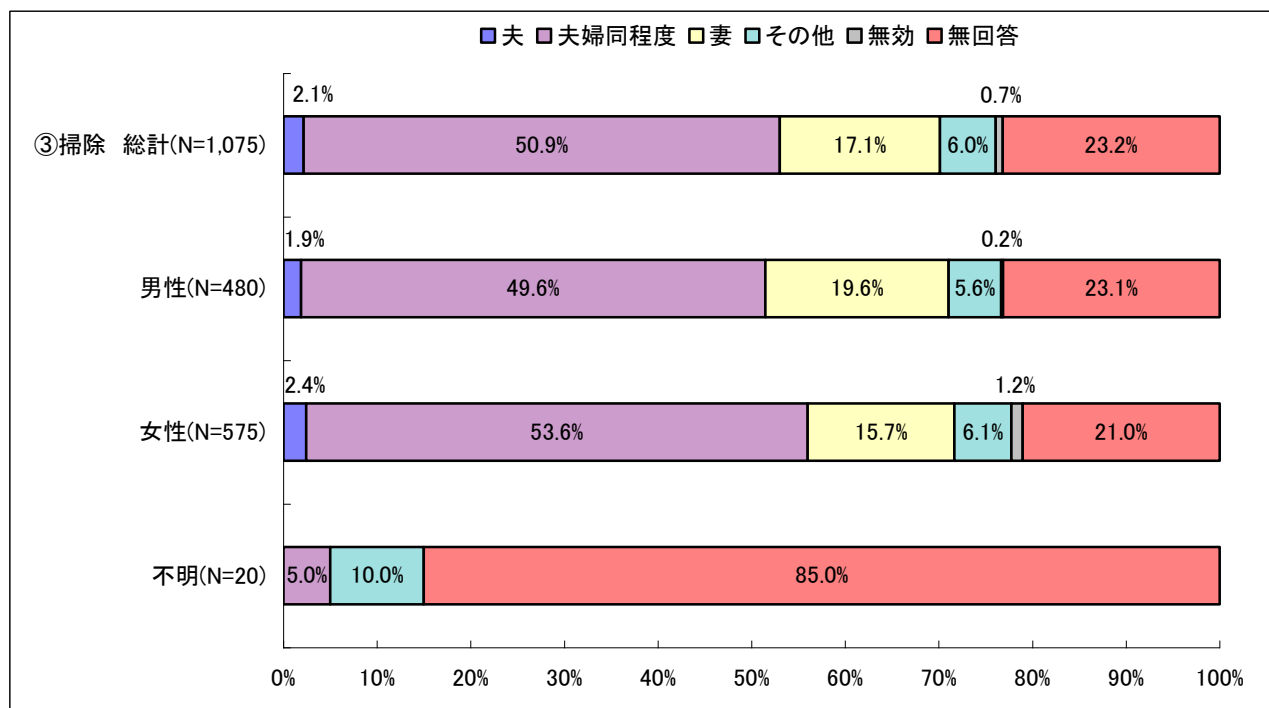
現状では、「妻」という回答が全体の 51.0%を占めていましたが、理想と現状を比較してみますと、理想は現状より 33.0 ポイント低くなりました。「夫婦同程度」という回答では、理想が 49.4%で現状より 39.9 ポイント高くなりました。



③掃除(理想)

「夫婦同程度」という回答が全体の 50.9%で、以下「妻」という回答が 17.1%、「その他」という回答が 6.0%という順になり、性別でみても男女共に順位に変わりはありませんでした。

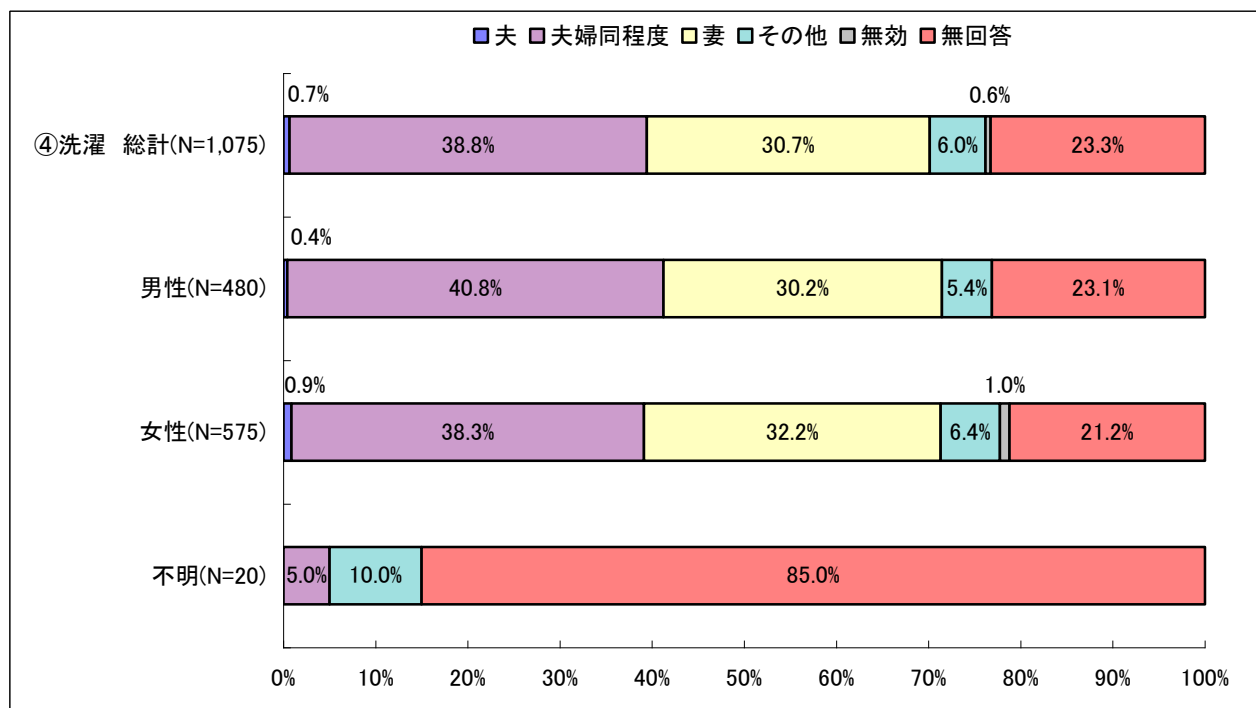
現状では、「妻」という回答が全体の 49.9%を占めていましたが、理想と現状を比較してみますと、理想は現状より 32.8 ポイント低くなりました。「夫婦同程度」という回答では、理想が 50.9%で現状より 39.7 ポイント高くなりました。



④洗濯(理想)

「夫婦同程度」という回答が全体の 38.8%を占め、以下「妻」という回答が 30.7%、「その他」という回答が 6.0%という順になり、性別でみても男女共に順位に変わりはありませんでした。

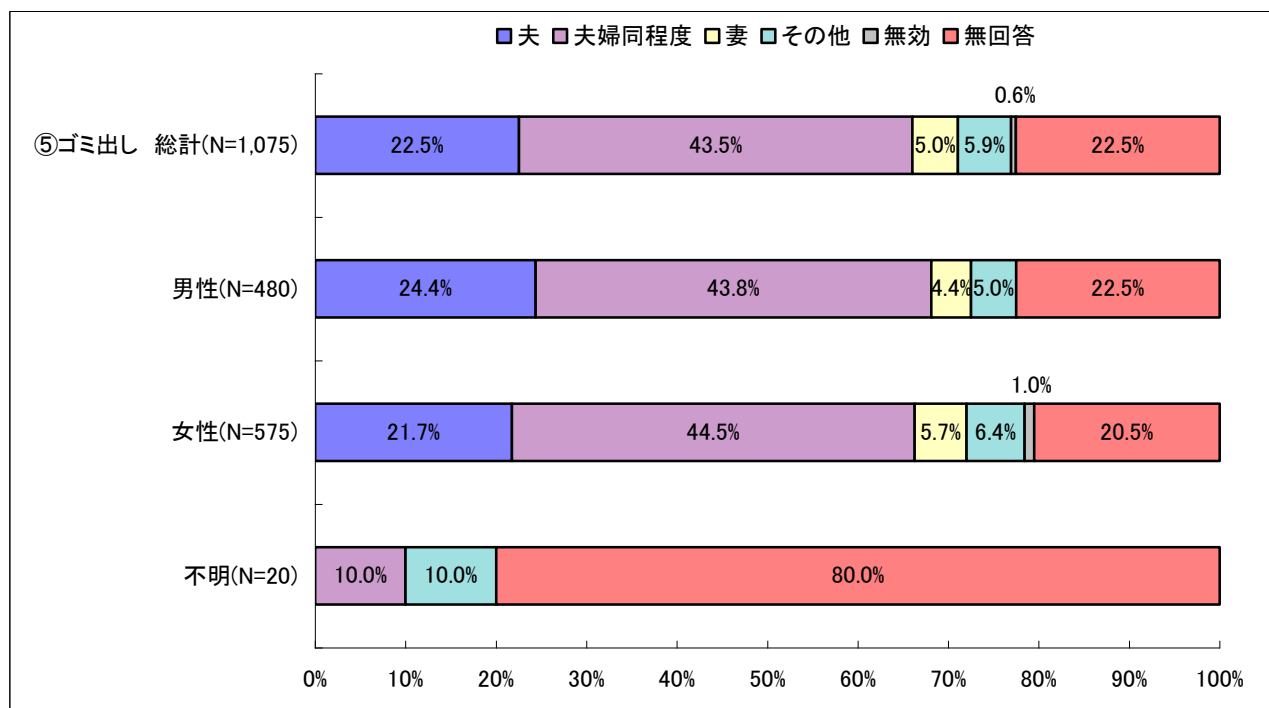
現状では、「妻」という回答が全体の 53.9%を占めていましたが、理想と現状を比較してみますと、理想は現状より 23.2 ポイント低くなりました。「夫婦同程度」という回答では、理想が 38.8%で現状より 31.6 ポイント高くなりました。



⑤ゴミ出し(理想)

「夫婦同程度」という回答が全体の 43.5%を占め、以下「夫」という回答が 22.5%、「その他」という回答が 5.9%という順になり、性別でみても男女共に順位に変わりはありませんでした。

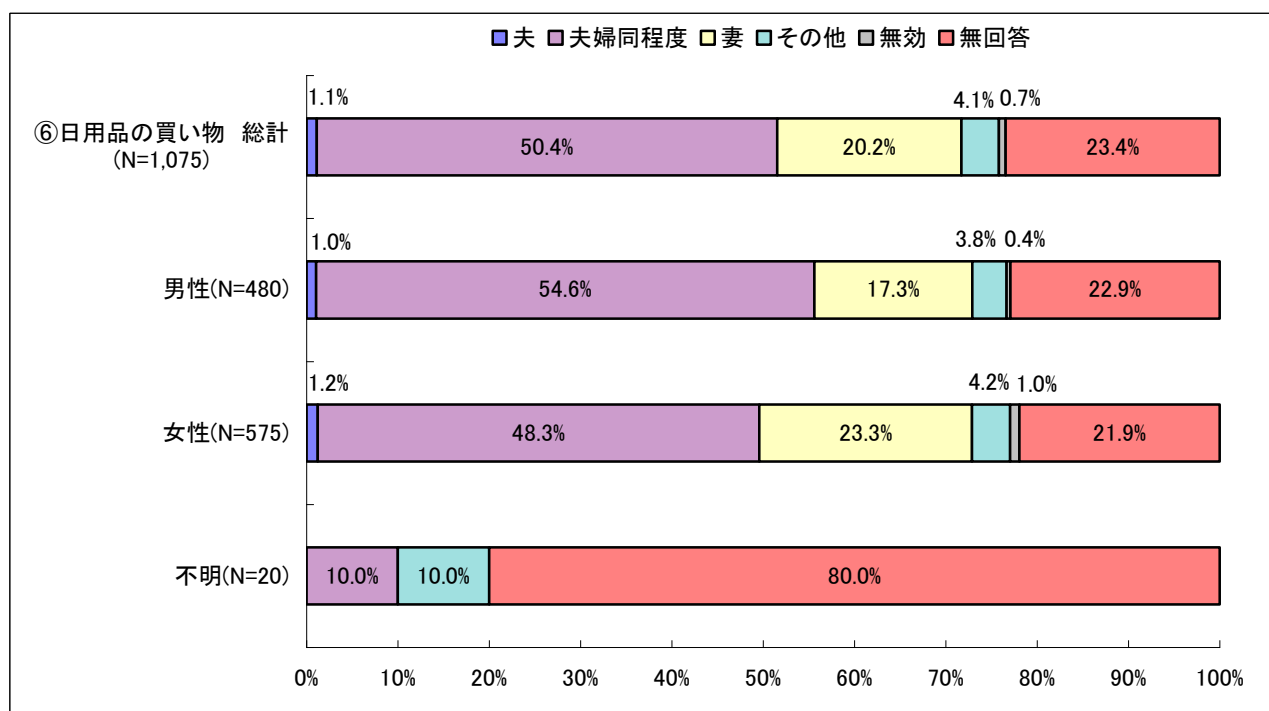
現状では、「夫」という回答が全体の 24.0%を占めていましたが、理想と現状を比較してみますと、理想は現状より 1.5 ポイント低くなりました。「夫婦同程度」という回答では理想が 43.5%で現状より 27.9 ポイント高くなり、反対に「妻」という回答では理想が 5.0%で現状より 16.4 ポイント低くなりました。さらに「その他」という回答では理想が 5.9%で現状より 17.4 ポイント低くなりました。



⑥日用品の買い物(理想)

「夫婦同程度」という回答が全体の 50.4%を占め、以下「妻」という回答が 20.2%、「その他」という回答が 4.1%という順になり、性別でみても男女共に順位に変わりはありませんでした。

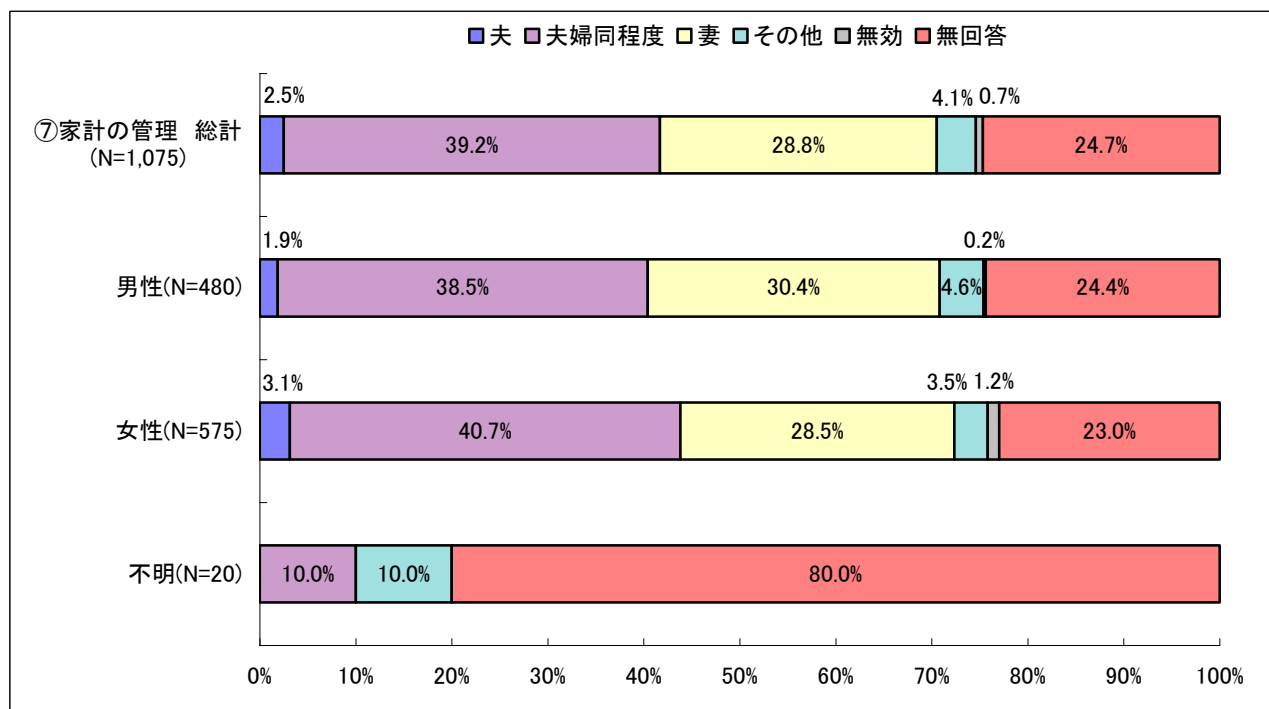
現状では、全体の 43.2%を「妻」という回答が占めていましたが、理想と現状を比較してみますと、理想は現状より 23.0 ポイント低くなりました。さらに「その他」という回答では理想が 4.1%で現状より 14.0 ポイント低くなりました。反対に「夫婦同程度」という回答では、理想が 50.4%で現状よりも 30.2 ポイント高くなりました。



⑦家計の管理(理想)

「夫婦同程度」という回答が全体の 39.2%を占め、以下「妻」という回答が 28.8%という順になり、性別でみても男女共に順位に変わりはありませんでした。

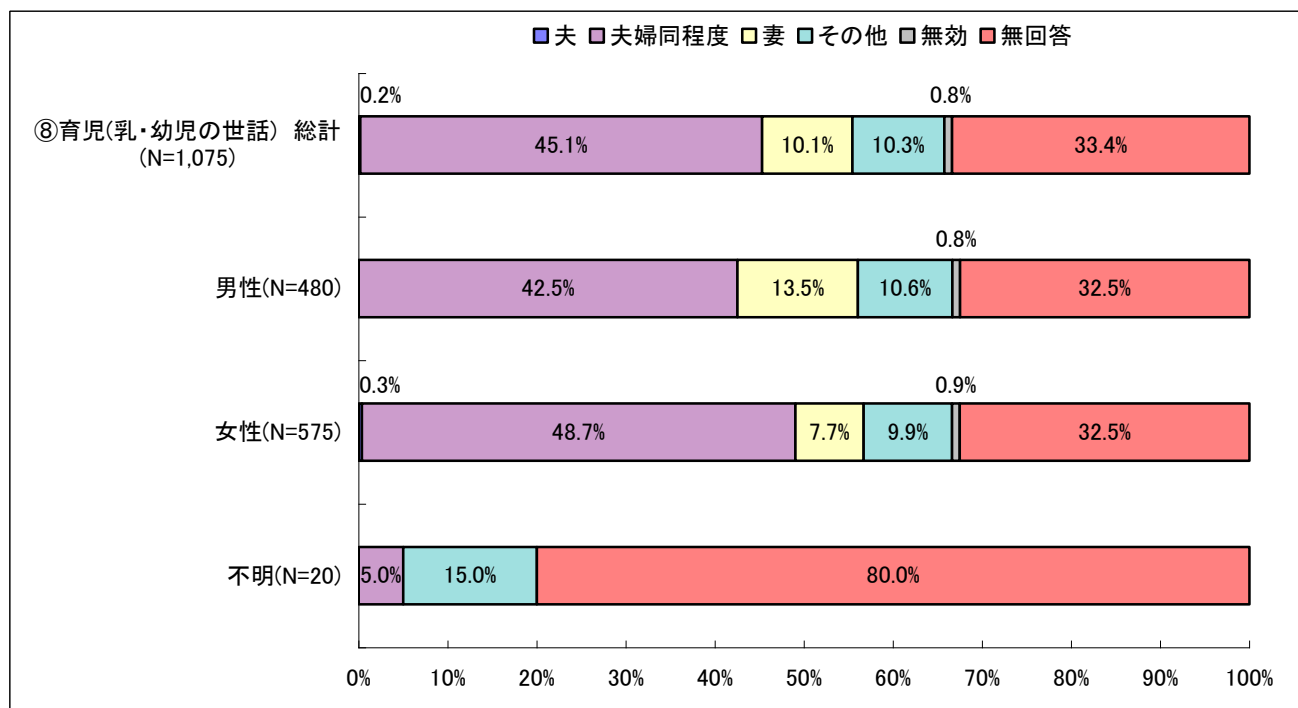
現状では、全体の 41.9%を「妻」という回答が占めていましたが、理想と現状を比較してみますと、理想では現状より 13.1 ポイント低くなりました。さらに「その他」という回答では理想が 4.1%で現状より 14.0 ポイント低くなりました。反対に「夫婦同程度」という回答では、理想が 39.2%で現状より 24.5 ポイント高くなりました。



⑧育児(乳・幼児の世話)(理想)

「夫婦同程度」という回答が全体の 45.1%を占め、以下「その他」という回答が 10.3%、「妻」という回答が 10.1%という順になりました。

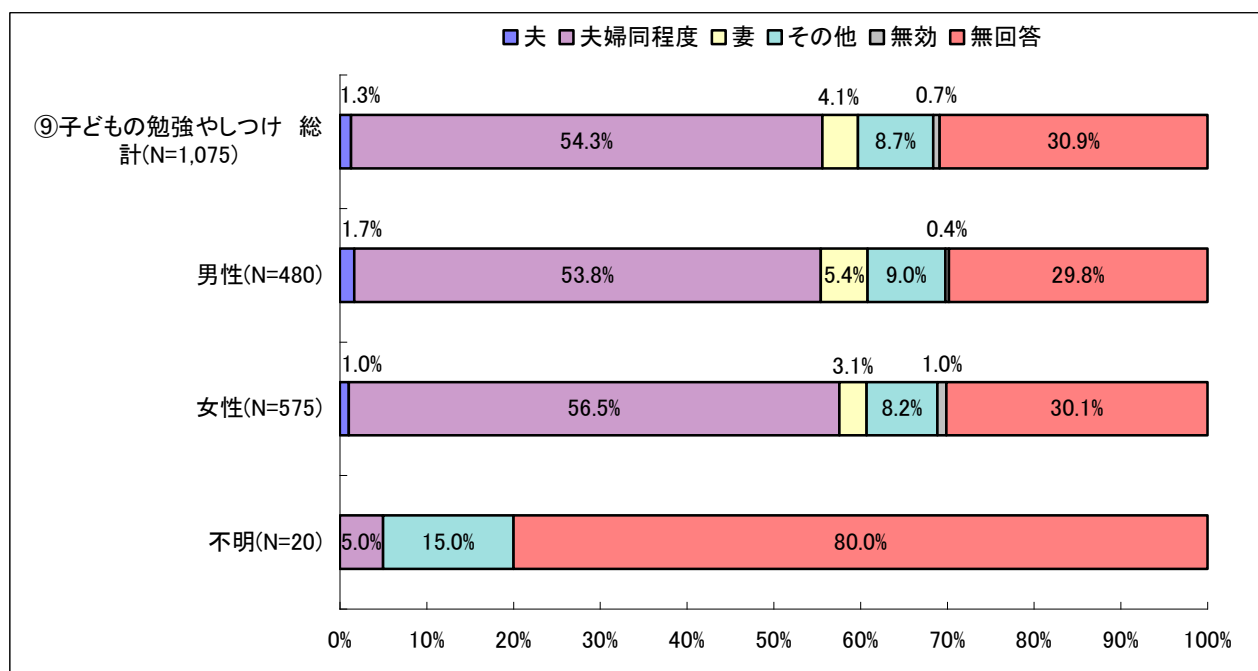
現状では、「妻」という回答が全体の 17.1%を占めていましたが、理想と現状を比較してみますと、理想は現状より 7.1 ポイント低くなりました。反対に「夫婦同程度」という回答では理想が 45.1%で現状より 35.4 ポイント高くなりました。



⑨子どもの勉強やしつけ(理想)

「夫婦同程度」という回答が全体の 54.3%を占め、以下「その他」という回答が 8.7%、「妻」という回答が 4.1%という順になり、性別でみても男女共に順位に変わりはありませんでした。全体でみても、性別でみても、「夫婦同程度」という回答が他の回答よりも高くなりました。

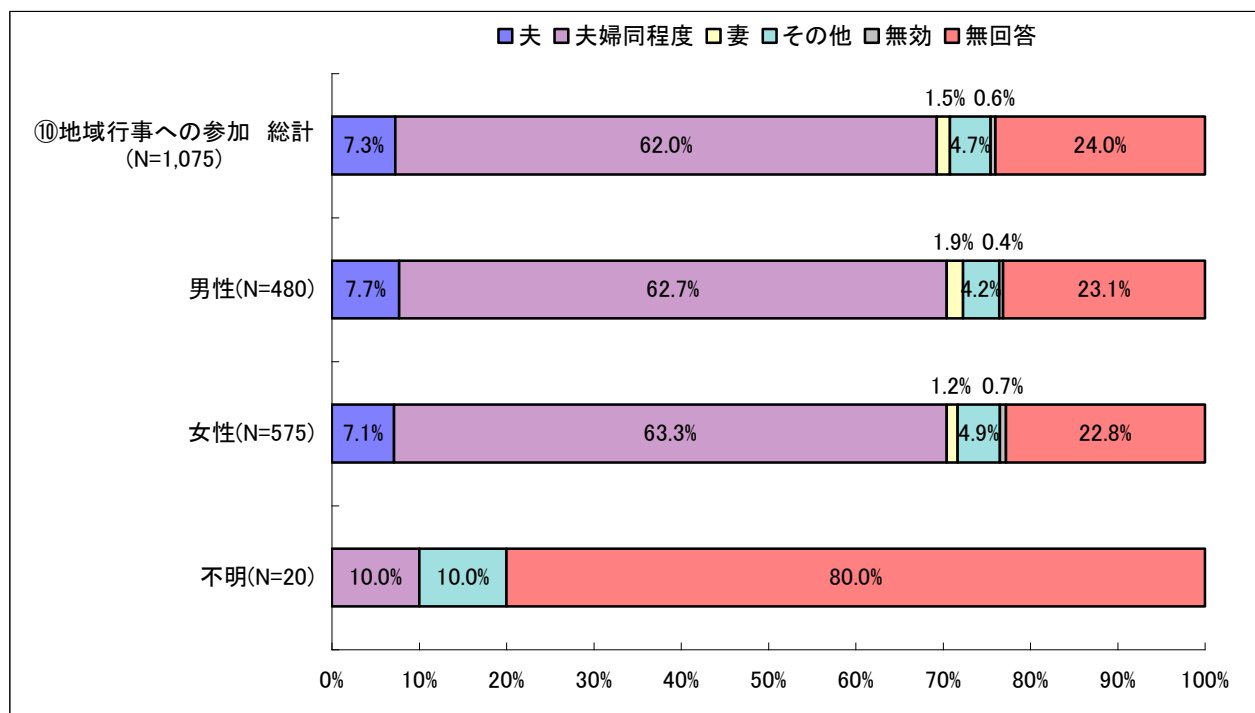
現状では、「夫婦同程度」という回答が全体の 19.0%を占めていましたが、理想では現状より 35.3 ポイント高くなりました。反対に「妻」という回答は 12.6 ポイント低くなりました。



⑩地域行事への参加

「夫婦同程度」という回答が全体の 62.0%を占め、以下「夫」という回答が 7.3%、「その他」という回答が 4.7%という順になり、性別でみても男女共に順位に変わりはありませんでした。

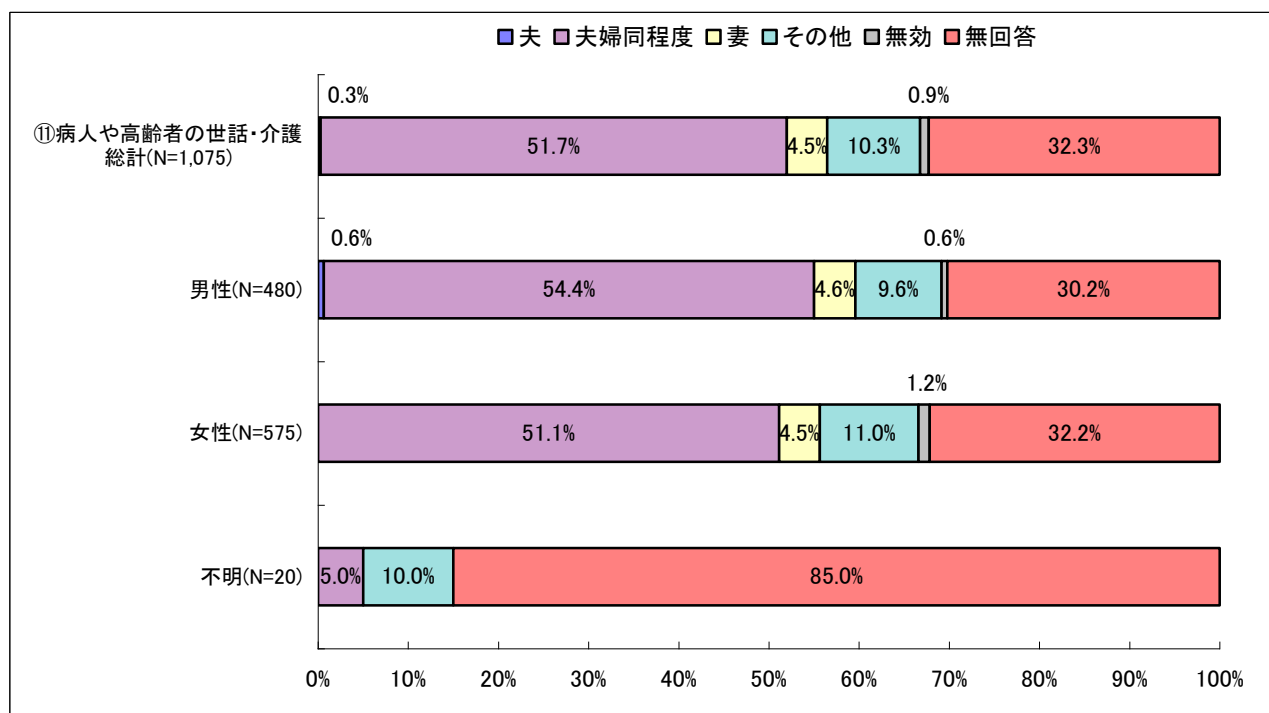
「夫婦同程度」、「夫」、「妻」という回答について、それぞれ理想と現状で比較してみました。「夫婦同程度」という回答では理想が 62.0%で現状より 31.8 ポイント高くなりました。反対に「夫」という回答では理想が 7.3%で現状より 12.0 ポイント低くなり、さらに「妻」という回答も理想が 1.5%で現状より 10.3 ポイント低くなりました。



⑪病人や高齢者の世話・介護(理想)

「夫婦同程度」という回答が全体の 51.7%を占め、以下「その他」という回答が 10.3%、「妻」という回答が 4.5%という順になり、性別でみても男女共に順位に変わりはありませんでした。

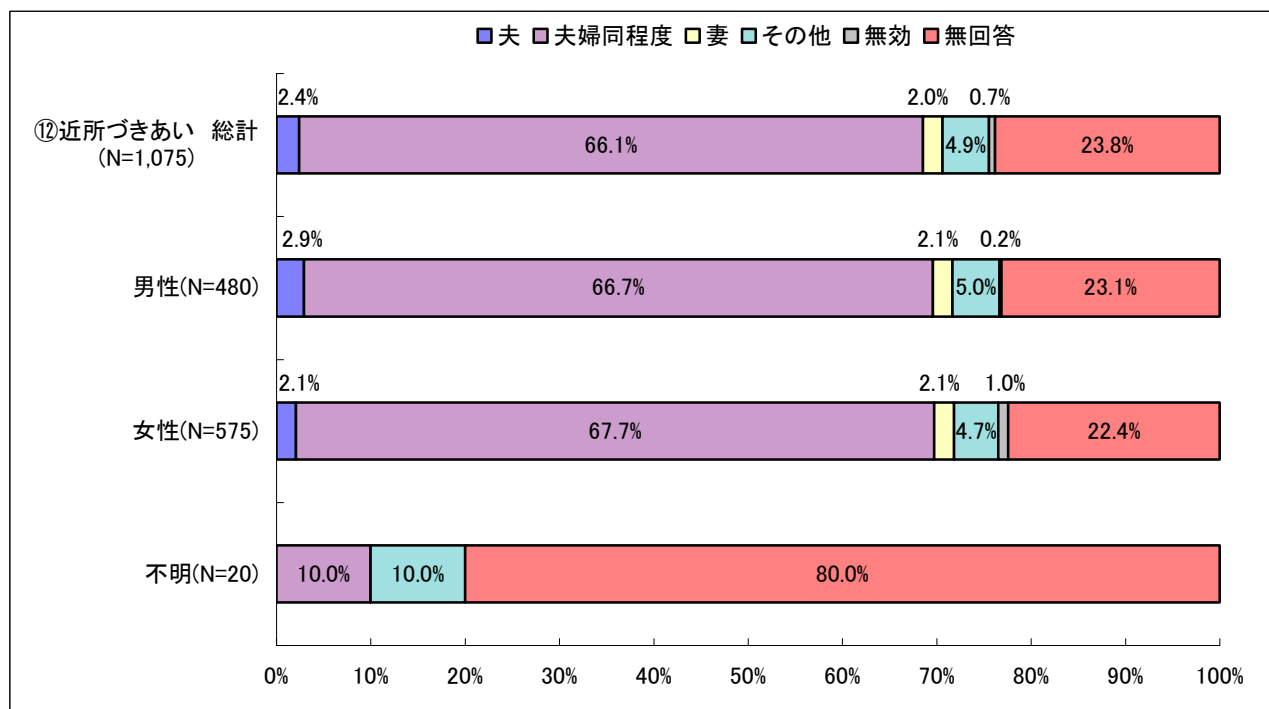
現状では「夫婦同程度」と「その他」という回答がどちらも 12.9%で、理想と現状で比較してみると、「夫婦同程度」の場合では理想が 51.7%で現状より 38.8 ポイント高く、「その他」の場合では理想が 10.3%で現状より 2.6 ポイント低くなりました。「妻」という回答では、理想が 4.5%で現状より 8.2 ポイント低くなりました。



⑫近所づきあい(理想)

「夫婦同程度」という回答が全体の 66.1%を占め、以下「その他」という回答が 4.9%、「夫」という回答が 2.4%という順になりました。

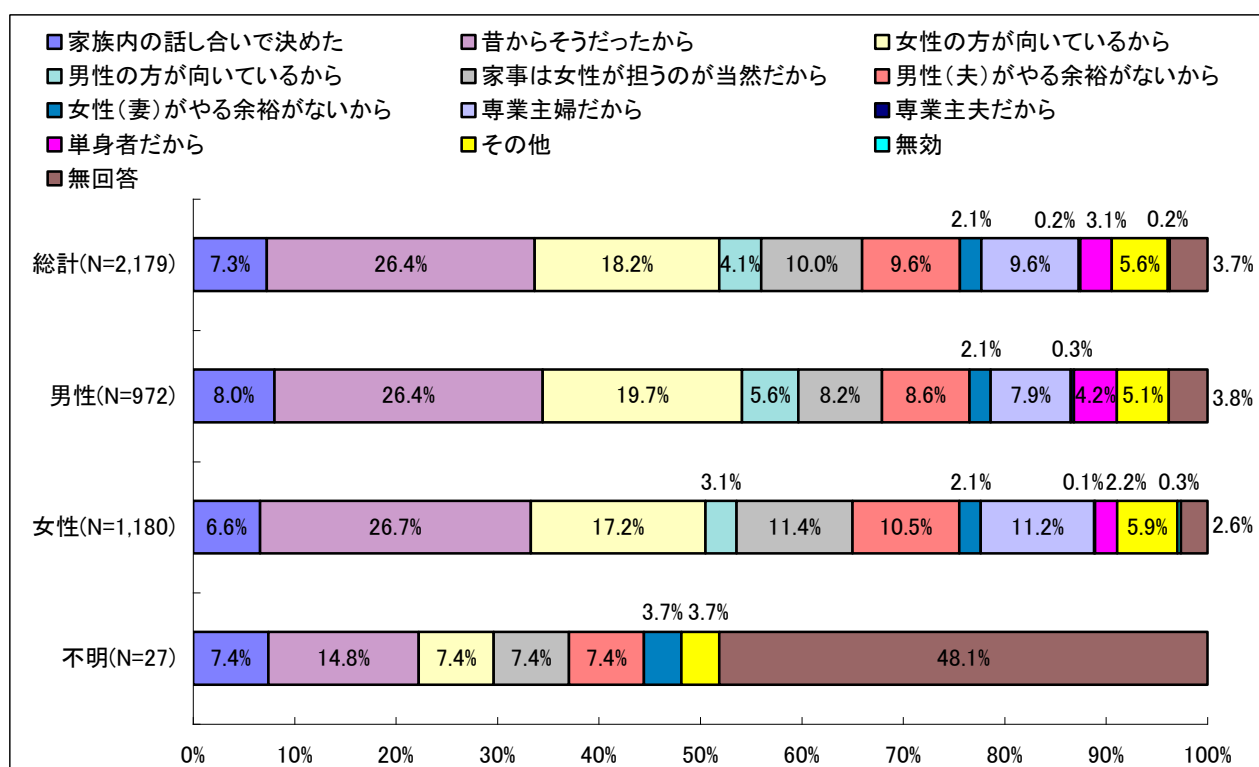
現状では、「夫婦同程度」という回答が全体の 40.2%を占めていましたが、理想と現状を比較してみると、理想が 66.1%で現状より 25.9 ポイント高くなりました。「妻」という回答では理想が 2.0%で現状より 12.6 ポイント低くなりました。さらに「その他」という回答では理想が 4.9%で現状より 15.2 ポイント低くなりました。



【問 16】 あなたの家庭で、問 15 の現状のような家事分担になっている大きな理由と思われるものを次の中から 3 つまで選んで○をつけてください。

「昔からそうだったから」という回答が 26.4%で最も多く、以下「女性のほうが向いているから」という回答が 18.2%、「家事は女性が担うのが当然だから」という回答が 10.0%という順になりました。回答が少なかった例として、「専業主婦だから」(0.2%)、「女性(妻)がやる余裕がないから」(2.1%)、「単身者だから」(3.1%)、「男性の方が向いているから」(4.1%)、等が挙げられます。

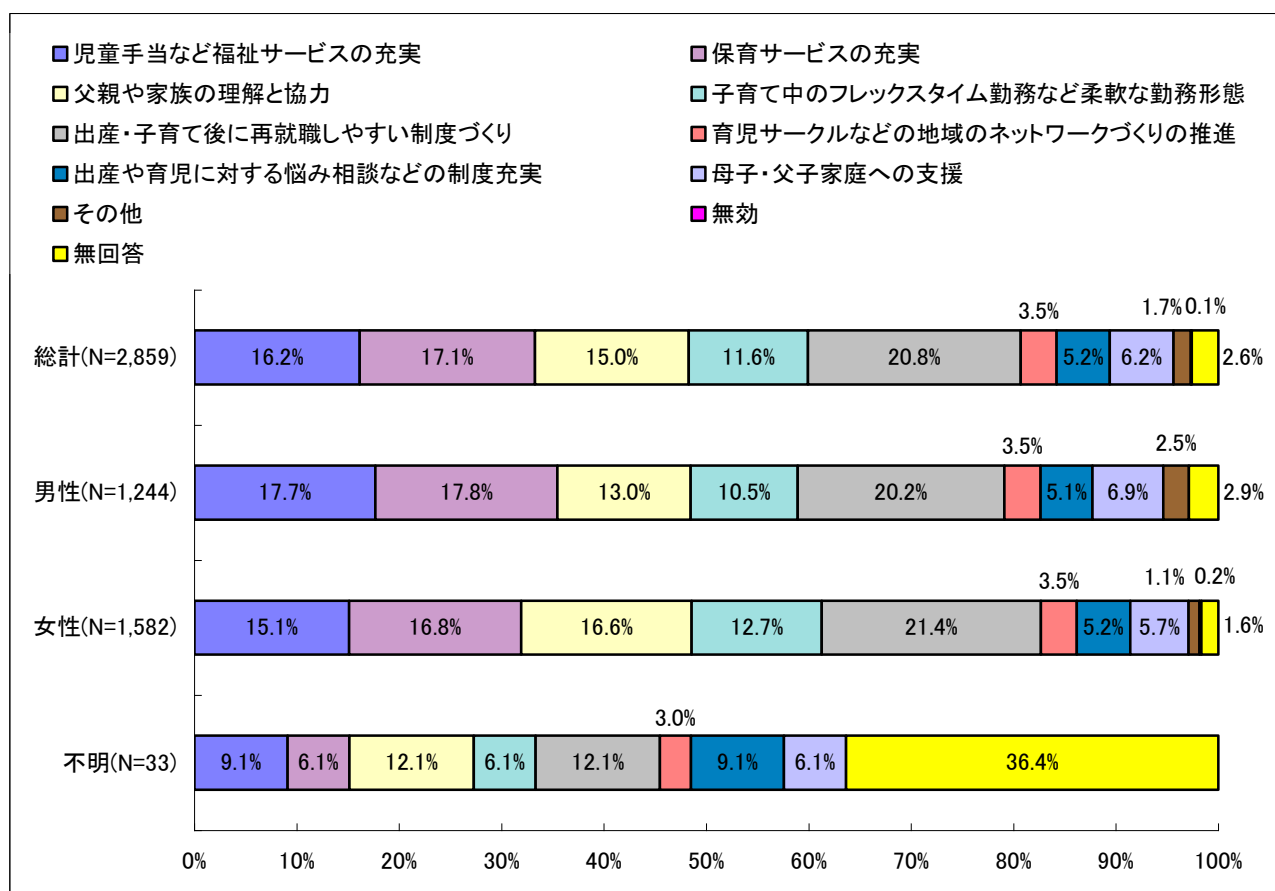
性別でみると、男性は「昔からそうだったから」という回答が 26.4%で女性より 0.3 ポイント低くなりました。「女性の方が向いているから」という回答が 19.7%で女性より 2.5 ポイント高くなりました。「家事は女性が担うのが当然だから」という回答では男性が 8.2%で女性より 3.2 ポイント低くなりました。それぞれの回答に大きな差はありませんでした。



【問 17】 子どもを産み育てやすくするために、どのようなことが必要だと思いますか。3 つまで選んで○をつけてください。

「出産・子育て後に再就職しやすい制度づくり」という回答が全体の 20.8%を占め、以下「保育サービスの充実」という回答が 17.1%、「児童手当など福祉サービスの充実」という回答が 16.2%という順になりました。

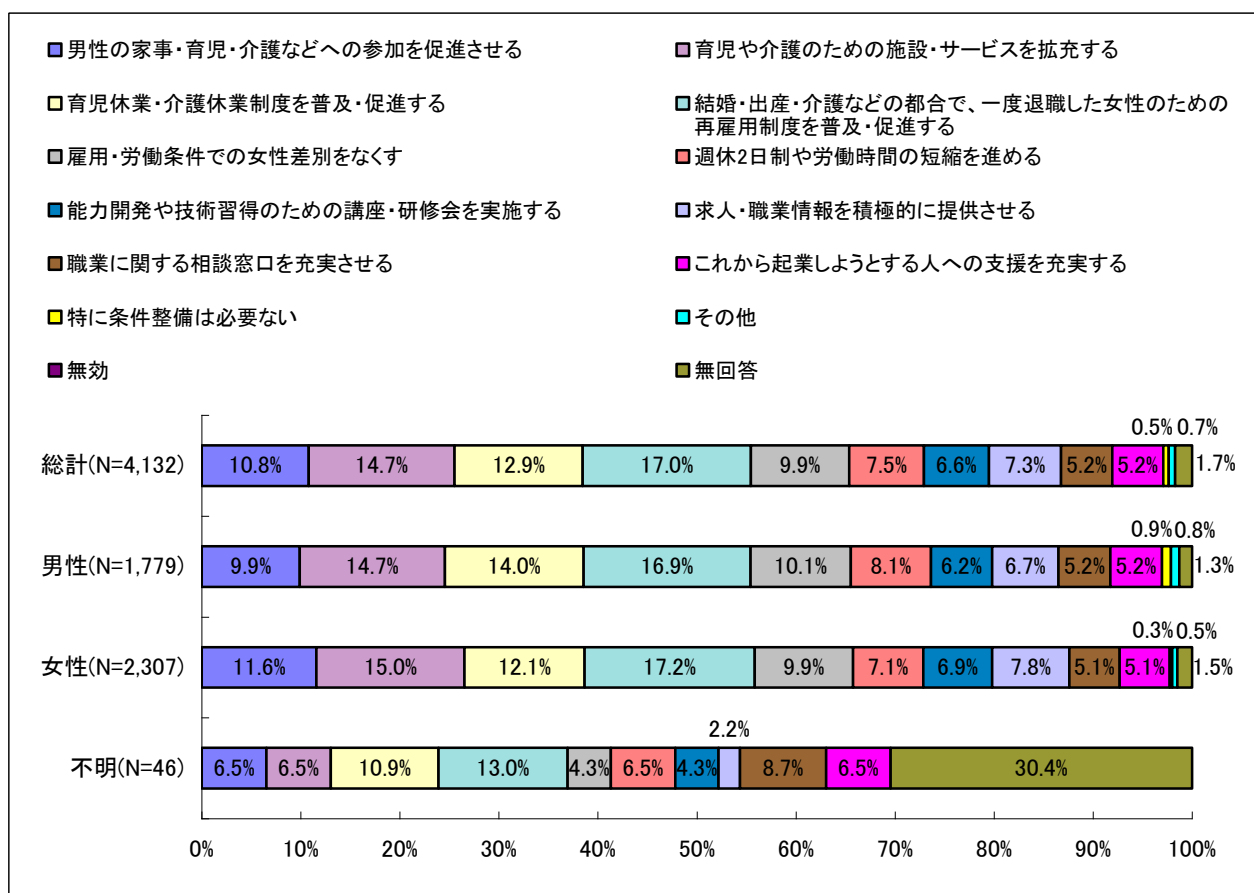
性別でみると、「出産・子育て後に再就職しやすい制度づくり」という回答では男性が 20.2%で女性より 1.2 ポイント低くなりました。「保育サービスの充実」という回答では男性が 17.8%で 1.0 ポイント高く、「児童手当などの福祉サービスの充実」という回答でも男性が 17.7%で女性より 2.6 ポイント高くなりました。それぞれの回答に大きな差はありませんでした。



【問 18】 厳しい経済情勢にあるわが国の社会にあって、男女にかかわらずやる気と能力を発揮できる職場をつくり能力を生かすことは、重要な経営課題となっていますが、女性が能力を生かし、仕事を続けていくためにはどのような環境整備が必要だと思いませんか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

「結婚・出産・介護などの都合で、一度退職した女性のための再雇用制度を普及・促進する」という回答が全体の 17.0%で、以下、「育児や介護のための施設・サービスを拡充する」という回答が 14.7%、「育児休業・介護休業制度を普及・促進する」という回答が 12.9%という順になりました。

性別でみると、「結婚・出産・介護などの都合で、一度退職した女性のための再雇用制度を普及・促進する」という回答では男性が 16.9%で女性より 0.3 ポイント低くなり、さらに「育児や介護のための施設・サービスを拡充する」という回答でも男性が 14.7%で女性より 0.3 ポイント低くなりました。「育児休業・介護休業制度を普及・促進する」という回答では男性が 14.0%で女性より 1.9 ポイント高くなりました。それぞれの回答に大きな差はありませんでした。

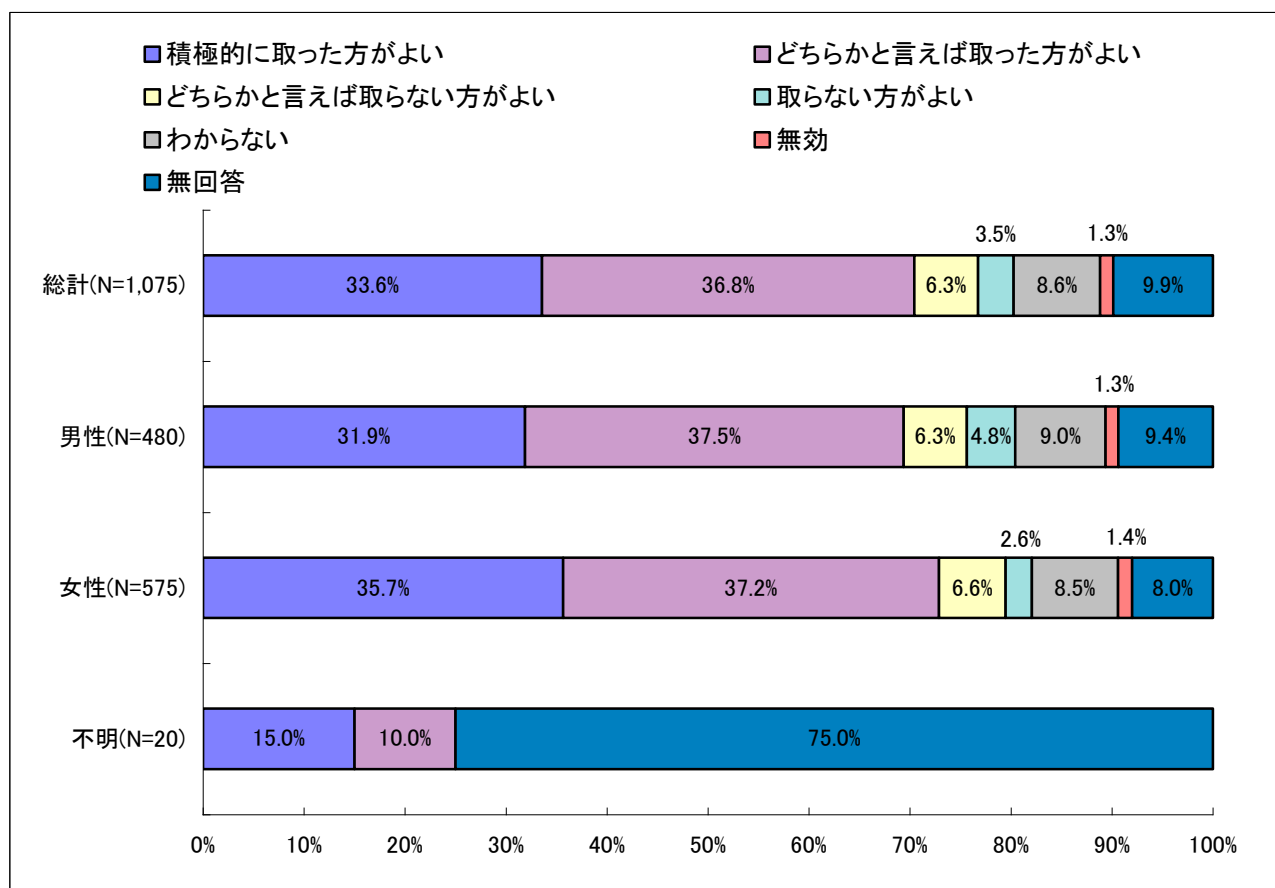


【問 19】 育児や家族の介護を行うために、育児休業や介護休業を取得できる制度があります。男性が育児休業や介護休業を取得することについて、あなたはどのように思いますか。次の①～②についてそれぞれ 1 つ選んで○をつけてください。(※国では 2010 年 12 月 17 日の閣議で、第 3 次男女共同参画基本計画を決定し、その中で 2020 年までに男性の育児休業取得率を 13%(09 年は 1.72%)、6 歳未満の子の父親の育児・家事時間を 1 日当たり 2 時間半(06 年は 1 時間)とするなどの数値目標を設定しました。

①育児休業

育児休業を「どちらかと言えば取った方がよい」という回答が全体の 36.8%で、以下「積極的に取った方がよい」という回答は 33.6%という順になりました。「どちらかと言えば取った方がよい」と「積極的に取った方がよい」の回答を合わせた「取った方がよい」(以下、「取った方がよい」)という回答は 70.4%となり、多くの人が男性にも育児休業制度を利用してほしいと思っているようです。

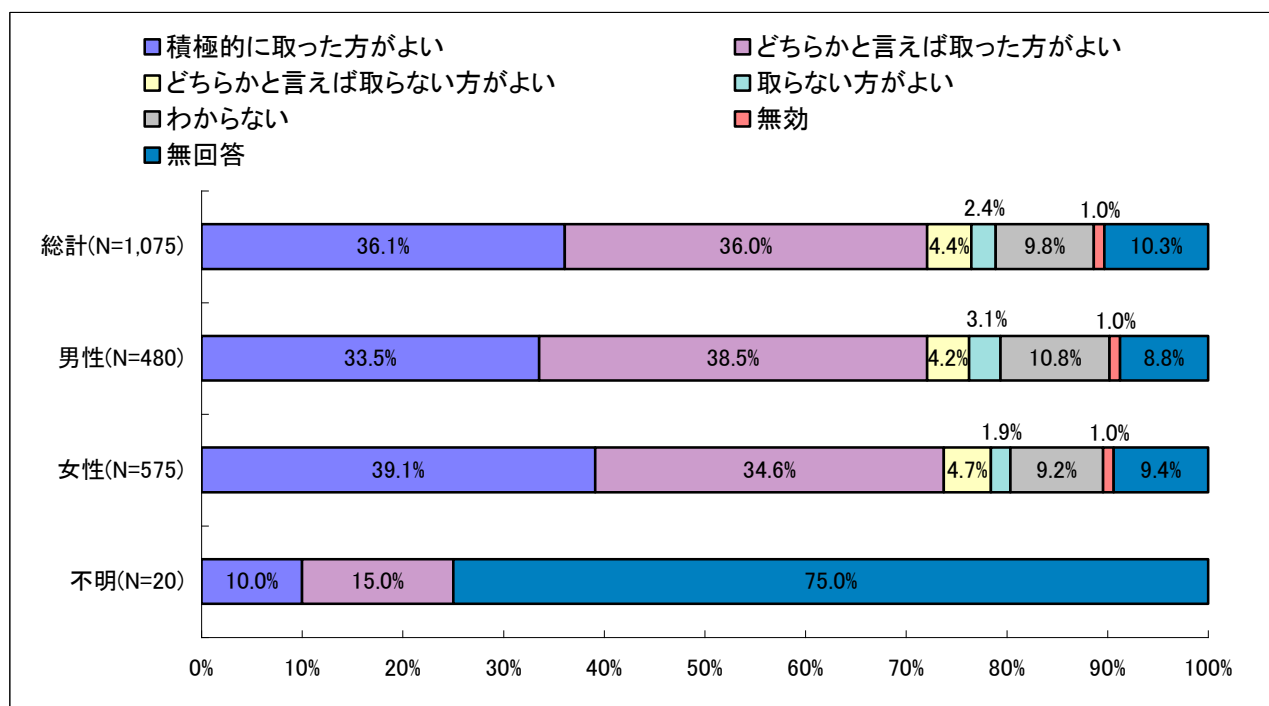
性別でみると、「どちらかと言えば取った方がよい」という回答では男性が 37.5%で女性より 0.3 ポイント高く、「積極的に取った方がよい」という回答では、男性が 31.9%で女性より 3.8 ポイント低くなりました。



②介護休業

介護休業を「積極的に取った方がよい」という回答が 36.1%で、以下「どちらかと言えば取った方がよい」という回答が 36.0%という順になりました。「積極的に取った方がよい」と「どちらかと言えば取った方がよい」という回答を合わせた「取った方がよい」(以下、取った方がよい)は 72.1%で、育児休業の「取った方がよい」(70.4%)よりも 1.7 ポイント高くなりました。

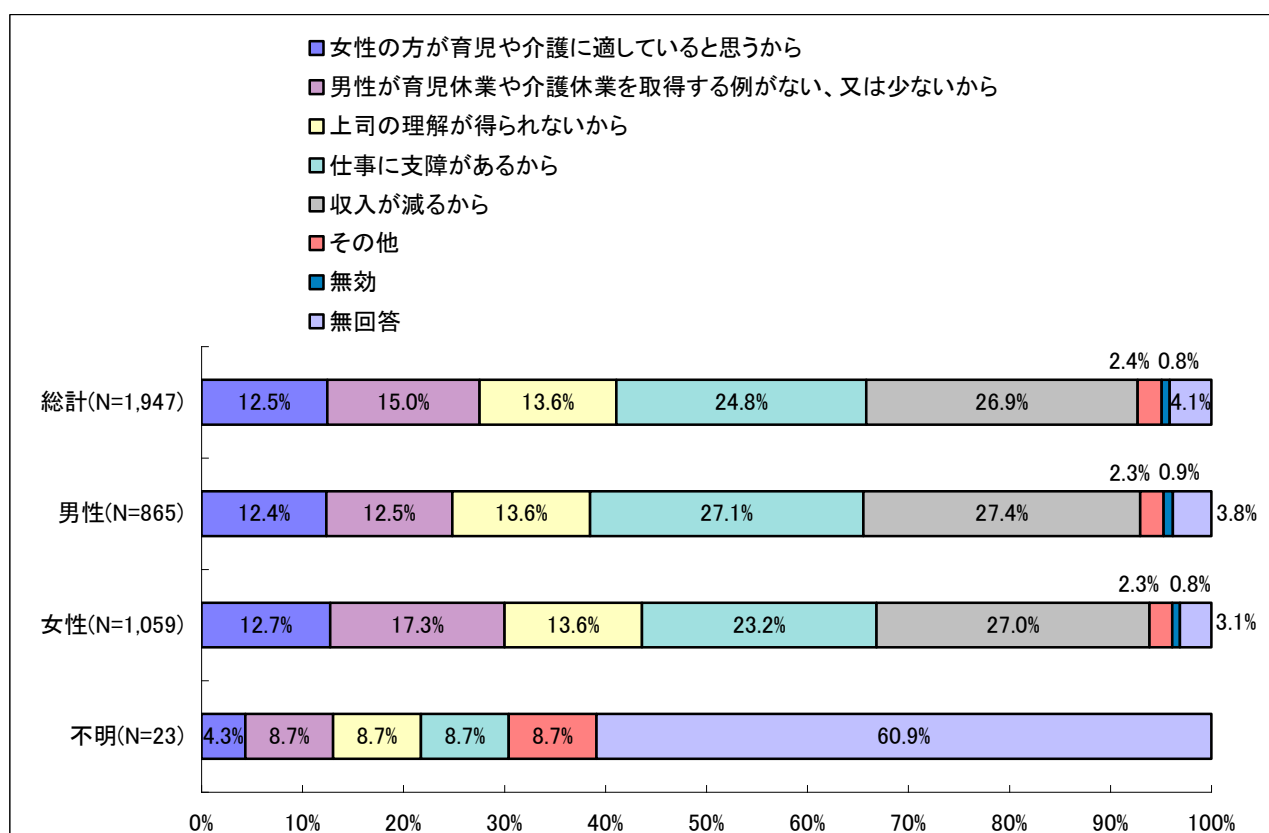
性別でみると、「積極的に取った方がよい」という回答では男性が 33.5%で女性より 5.6 ポイント低く、「どちらかと言えば取った方がよい」という回答が 38.5%で女性より 3.9 ポイント高くなりました。



【問 20】 男性が育児休業や介護休業を取得できない、または取得しない理由はどのようなこと
だと考えますか。2 つまで選んで○をつけてください。

「収入が減るから」という理由で取得できない・取得しないと考えている人は全体の 26.9%で、以下「仕事に支障があるから」という回答が 24.8%、「男性が育児休業や介護休業を取得する例がない、又は少ないから」という回答が 15.0%という順でした。

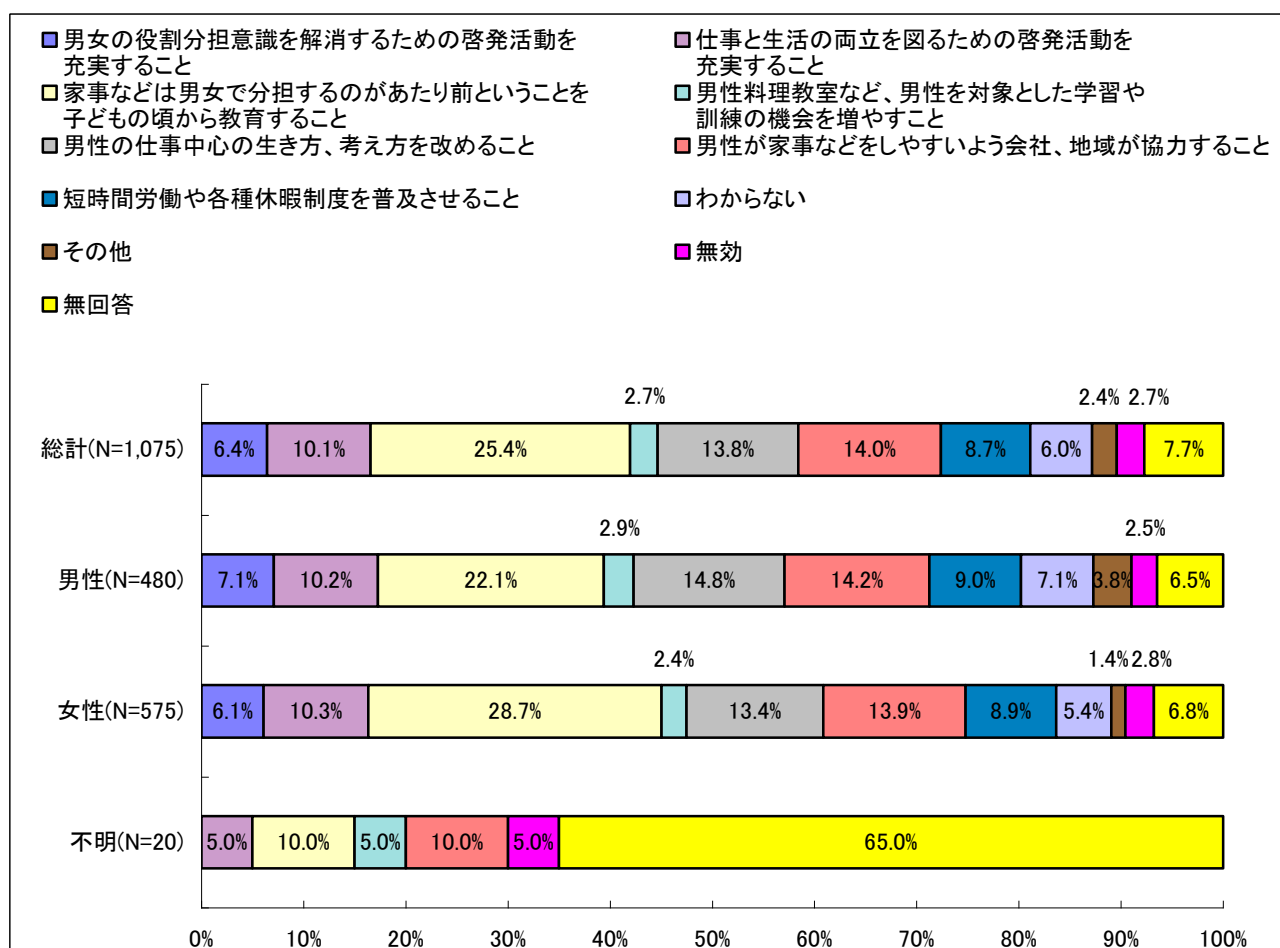
性別でみると、「収入が減るから」という回答では男性が 27.4%で女性より 0.4 ポイント高くなりました。「仕事に支障があるから」という回答では男性が 23.2%で女性より 3.9 ポイント低くなり、さらに「男性が育児休業や介護休業を取得する例がない、又は少ないから」という回答でも男性が 12.5%で女性より 4.8 ポイント低くなりました。それぞれの回答に大きな差はありませんでした。



【問 21】 男性の家事・育児・介護等へのかかわりは、まだまだ少ないと言われています。男性が家事・育児・介護等へのかかわりを進めていくためにはどのようなことが必要だと思いますか。1つだけ選んで○をつけてください。

「家事などは男女で分担するのがあたり前ということを子どもの頃から教育すること」という回答が全体の 25.4%で、以下「男性が家事などをしやすいよう会社・地域が協力すること」という回答が 14.0%、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること」という回答が 13.8%という順になりました。

性別でみると、「家事などは男女で分担するのがあたり前ということを子どもの頃から教育すること」という回答では、男性が 22.1%で女性より 6.6 ポイント低くなりました。しかし、わずかな差ではありますが、「男性が家事などをしやすいよう会社・地域が協力すること」という回答では男性が 14.8%で女性より 1.4 ポイント高くなり、「男性の仕事中心の生き方、考え方を改めること」という回答でも男性が 14.2%で女性より 0.3 ポイント高くなりました。

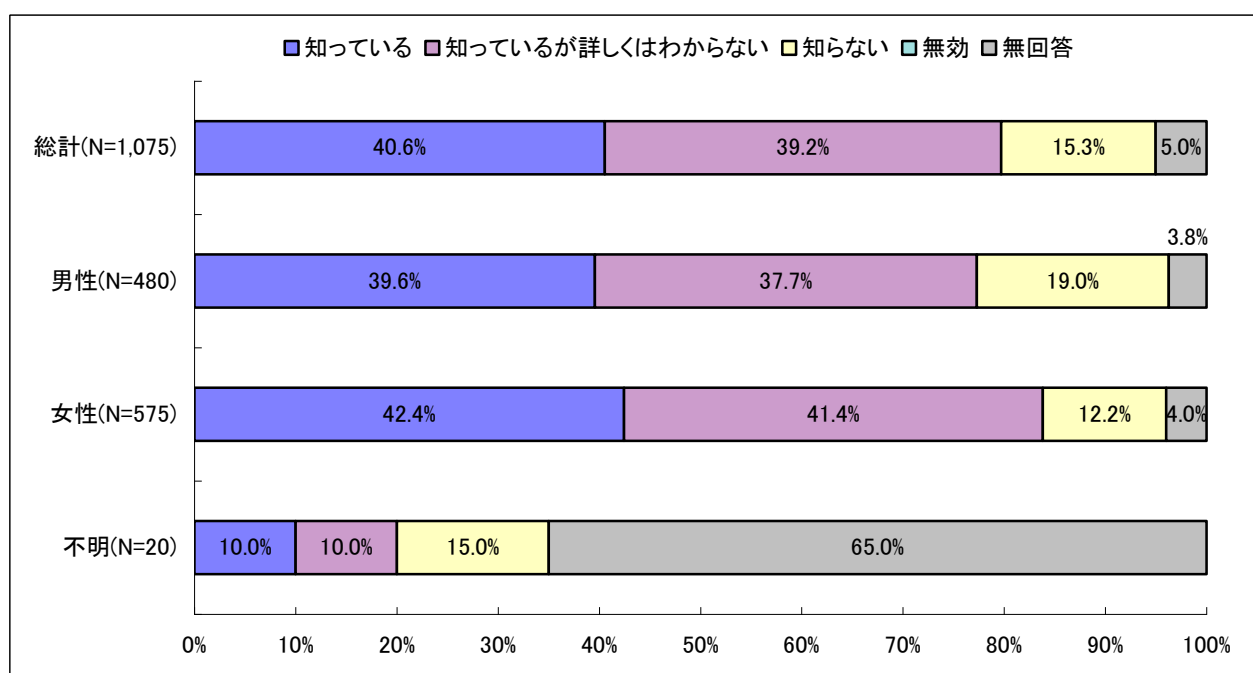


2.ドメスティック・バイオレンス(DV)について

【問 22】 DV 相談は、国、県、警察及び市にそれぞれ窓口がありますが、知っていますか。

「知っている」という回答は全体の 40.6%で、以下「知っているが詳しくは知らない」という回答が 39.2%、「知らない」という回答が 15.3%という順になりました。「知っている」(40.6%)という回答は「知らない」(15.3%)という回答より 25.3 ポイント高くなりました。

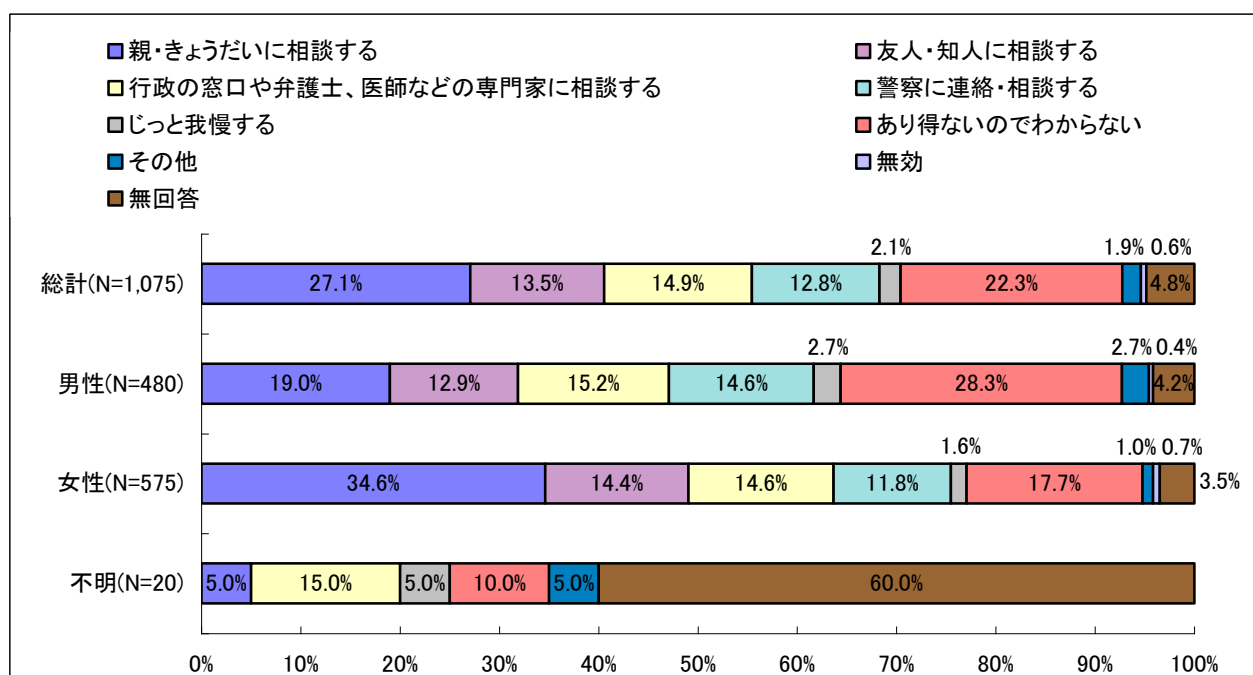
性別でみると、「知っている」という回答では男性が 39.6%で女性より 2.8 ポイント低く、さらに「知っているが詳しくはわからない」という回答が男性では 37.7%で女性より 3.7 ポイント低くなりました。「知らない」という回答では男性が 19.0%で女性より 6.8 ポイント高くなりました。



【問 23】 もし、あなたが DV 被害を受けたらまずどうしますか。1 つだけ選んで○をつけてください。

「親・きょうだいに相談する」という回答が全体の 27.1%で、以下「あり得ないのでわからない」という回答が 22.3%、「行政の窓口や弁護士、医師などの専門家に相談する」という回答が 14.9%という順になりました。

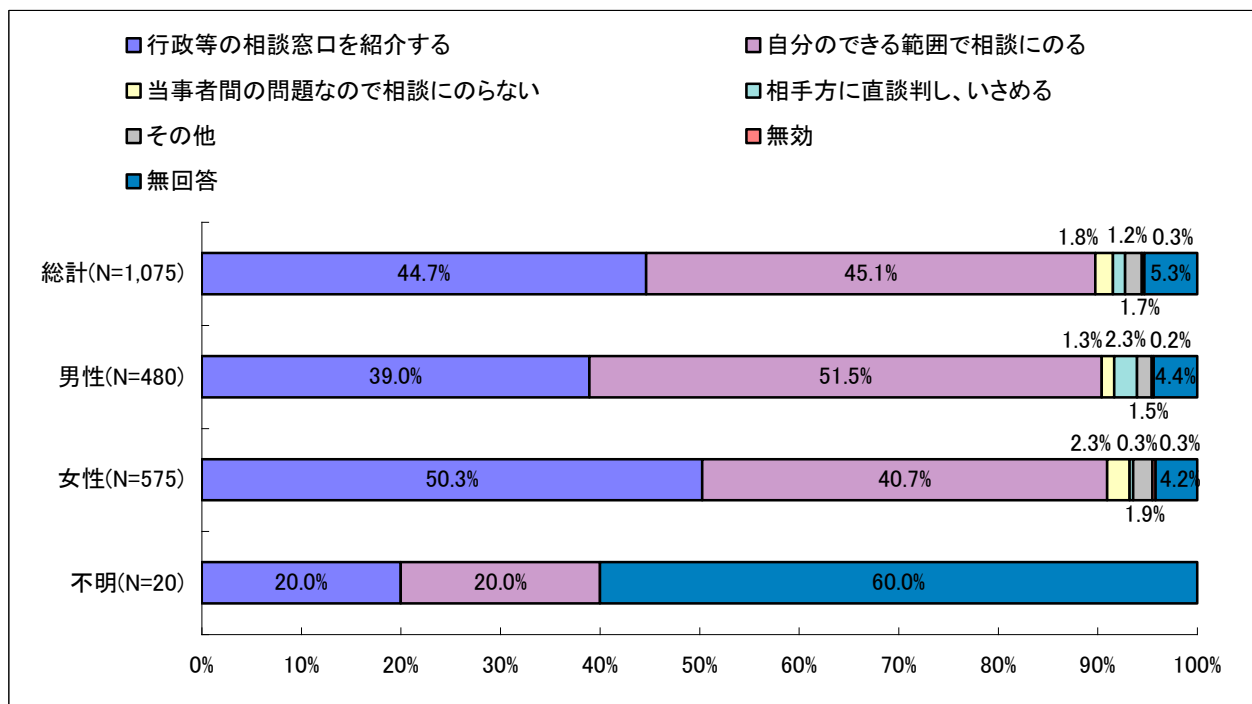
性別でみると、「親・きょうだいに相談する」という回答では男性が 19.0%で女性より 16.9 ポイント低くなりました。「あり得ないのでわからない」という回答では男性が 28.3%で女性より 10.6 ポイント高くなり、さらに「行政の窓口や弁護士、医師などの専門家に相談する」という回答では男性が 15.2%で女性より 0.6 ポイント高くなりました。



【問 24】 あなたのまわりの方から DV の相談をされたらどうしますか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。

「自分のできる範囲で相談にのる」という回答が全体の 45.1%で、以下「行政等の相談窓口を紹介する」という回答が 44.7%という順でした。

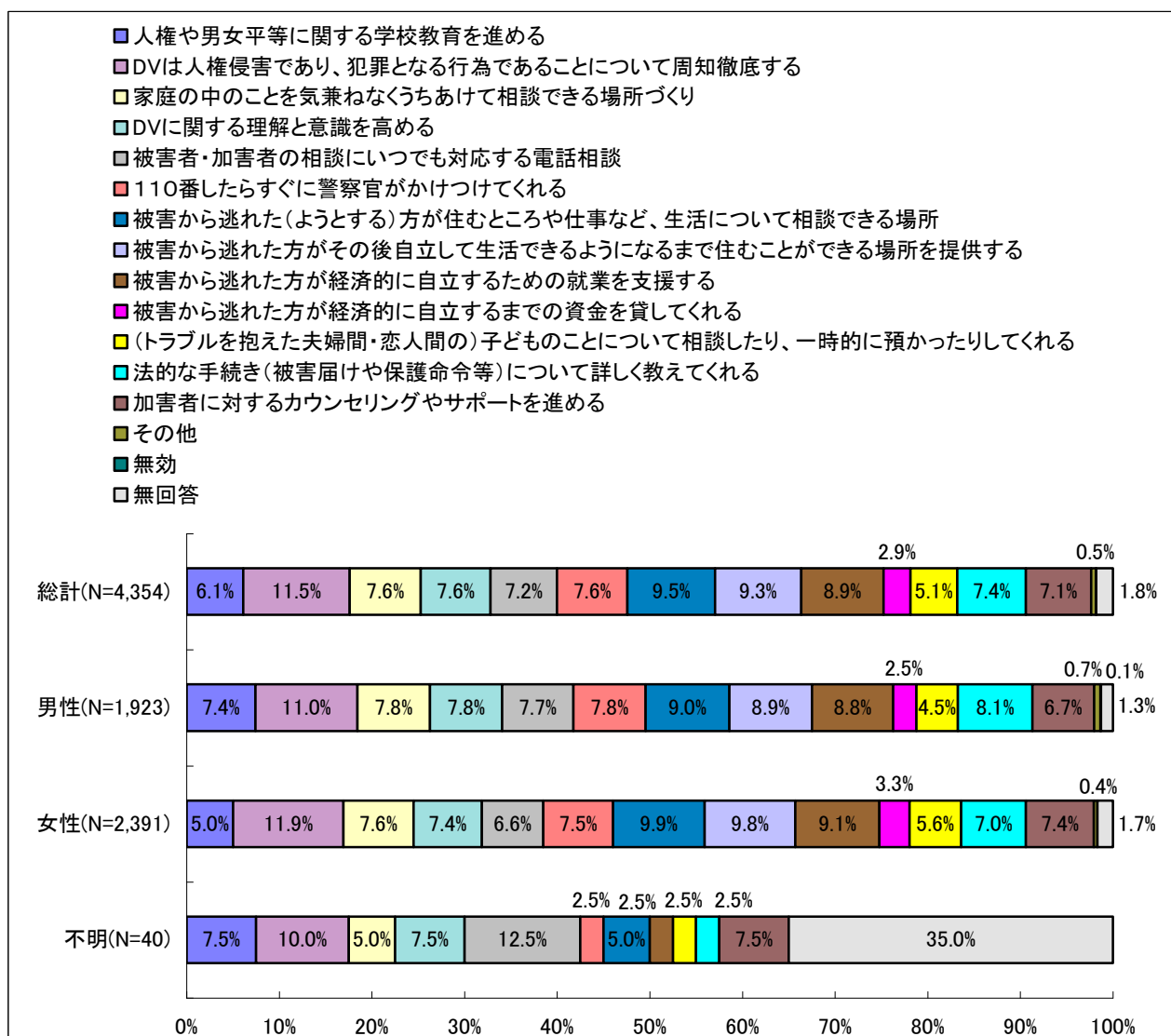
性別でみると、「自分のできる範囲で相談にのる」という回答では男性が 51.5%で女性より 10.8 ポイント高くなりました。「行政等の相談窓口を紹介する」という回答では男性が 39.0%で女性より 11.3 ポイント低くなりました。



【問 25】 DV をなくしたり、被害を受けた方を支援していくためにどのようなことが必要だと思いますか。次の中からより重要だと思われるものを 5 つまで選んで○をつけてください。

「DV は人権侵害であり、犯罪となる行為であることについて周知徹底する」という回答が全体の 11.5%で、以下「被害から逃れた(ようとする)方が住むところや仕事など、生活について相談できる場所」という回答が 9.5%、「被害から逃れた方がその後自立して生活できるようになるまで住むことができる場所を提供する」という回答が 9.3%という順になりました。

性別でみると、「DV は人権侵害であり、犯罪となる行為であることについて周知徹底する」という回答では男性が 11.0%で女性より 0.9 ポイント低くなり、「被害から逃れた(ようとする)方が住むところや仕事など、生活について相談できる場所」という回答でも男性が 9.0%で女性より 0.9 ポイント低くなりました。さらに、「被害から逃れた方がその後自立して生活できるようになるまで住むことができる場所を提供する」という回答でも男性が 8.9%で女性より 0.9 ポイント低くなりました。それぞれの回答に大きな差はありませんでした。



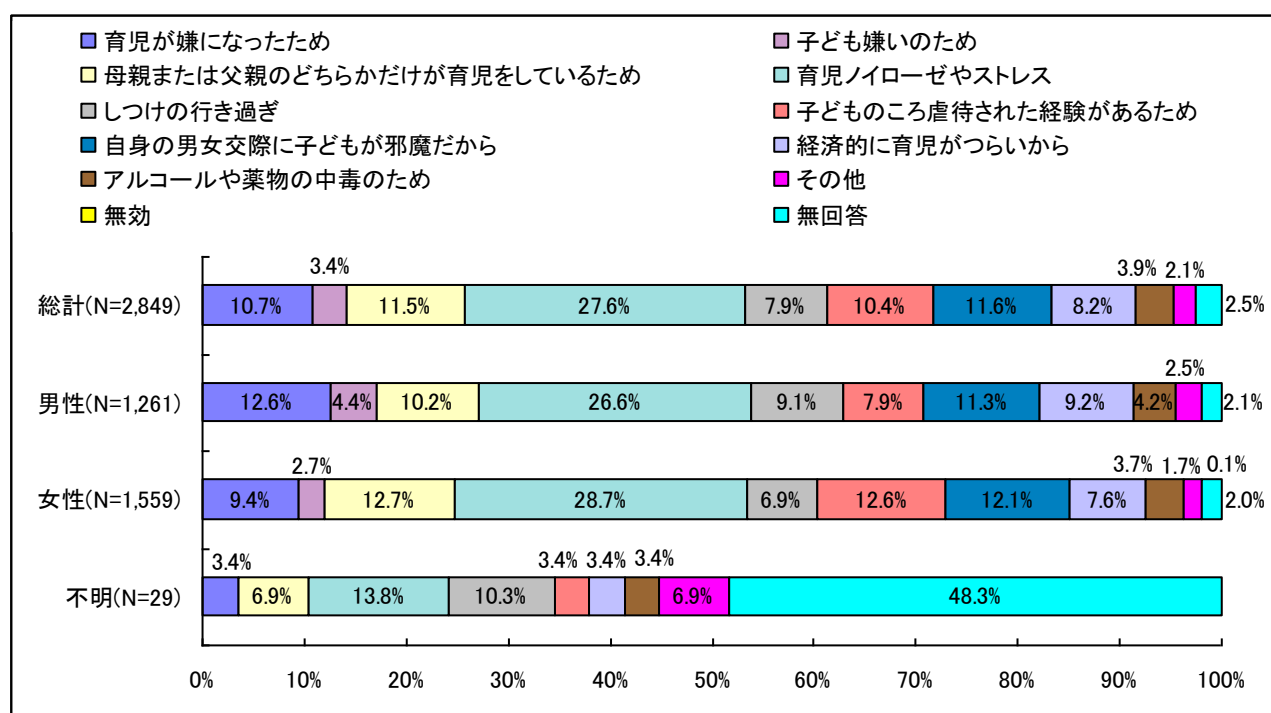
3.児童虐待について

【問 26】 児童虐待が家庭の中で起こる理由が親にあると考える場合、関係している原因と思われるものを次の中から3つまで選んで○をつけてください。

原因が「育児ノイローゼやストレス」と回答した人は全体の 27.6%で、以下「自身の男女交際に子どもが邪魔だから」という回答が 11.6%、「育児が嫌になったから」という回答が 10.7%という順になりました。

性別でみると、「育児ノイローゼやストレス」という回答では男性が 26.6%で女性より 2.1 ポイント低くなり、「自身の男女交際に子どもが邪魔だから」という回答でも男性が 11.3%で女性より 0.8 ポイント低くなりました。「育児が嫌になったから」という回答では男性が 12.6%で女性より 3.2 ポイント高くなりました。

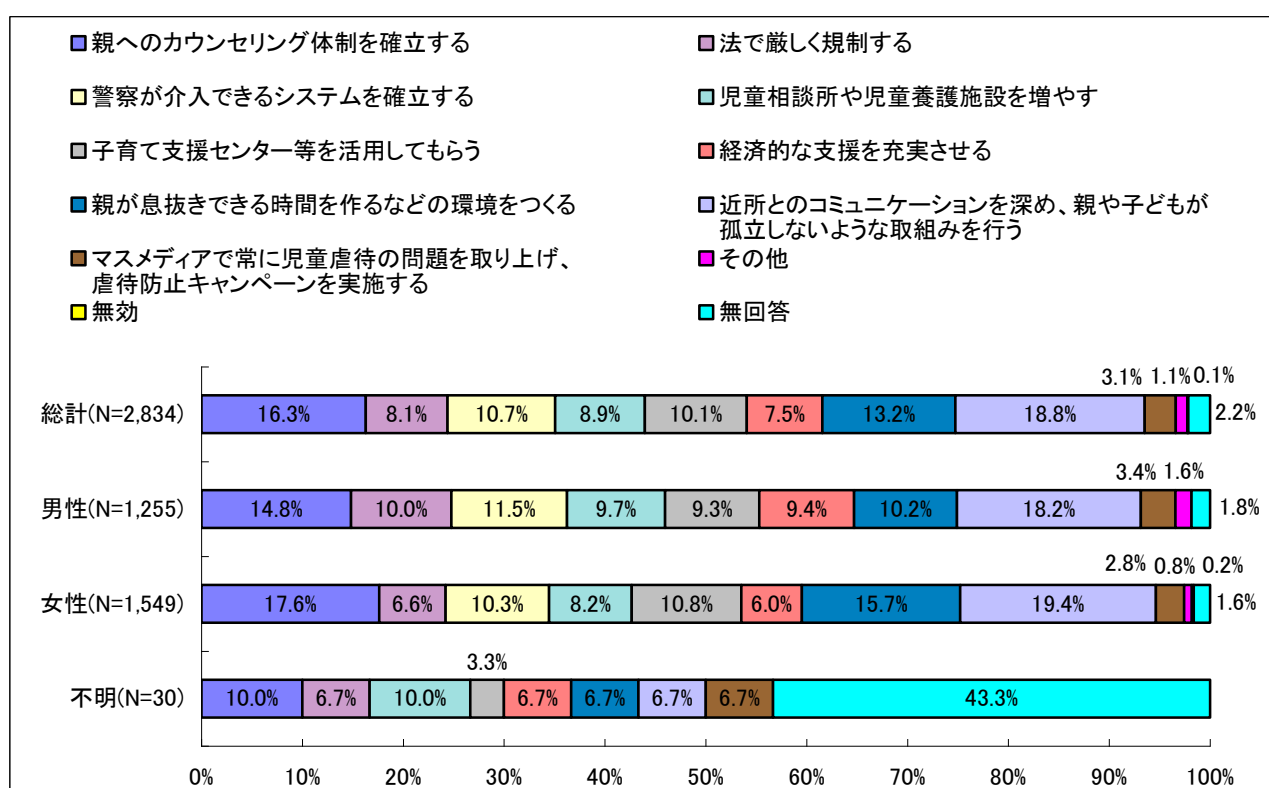
なお、女性の場合、「育児ノイローゼやストレス」の次に多かった回答が「母親または父親のどちらかだけが育児をしているため」(12.7%)、「子どものころ虐待された経験があるため」(12.6%)でした。



【問 27】 次のの中から児童虐待をなくすために、より必要と思われるものを 3 つまで選んで○をつけてください。

「近所とのコミュニケーションを深め、親や子どもが孤立しないような取組みを行う」という回答が全体の 18.8%で、以下「親へのカウンセリング体制を確立する」という回答が 16.3%、「親が息抜きできる時間を作るなどの環境をつくる」という回答が 13.2%という順になりました。

性別でみると、「近所とのコミュニケーションを深め、親や子どもが孤立しないような取組みを行う」という回答では男性が 18.2%で女性より 1.2 ポイント低く、「親へのカウンセリング体制を確立する」という回答でも男性が 14.8%で女性より 2.8 ポイント低くなりました。さらに「親が息抜きできる時間を作るなどの環境をつくる」という回答では男性が 10.2%で女性より 5.5 ポイント低くなりました。

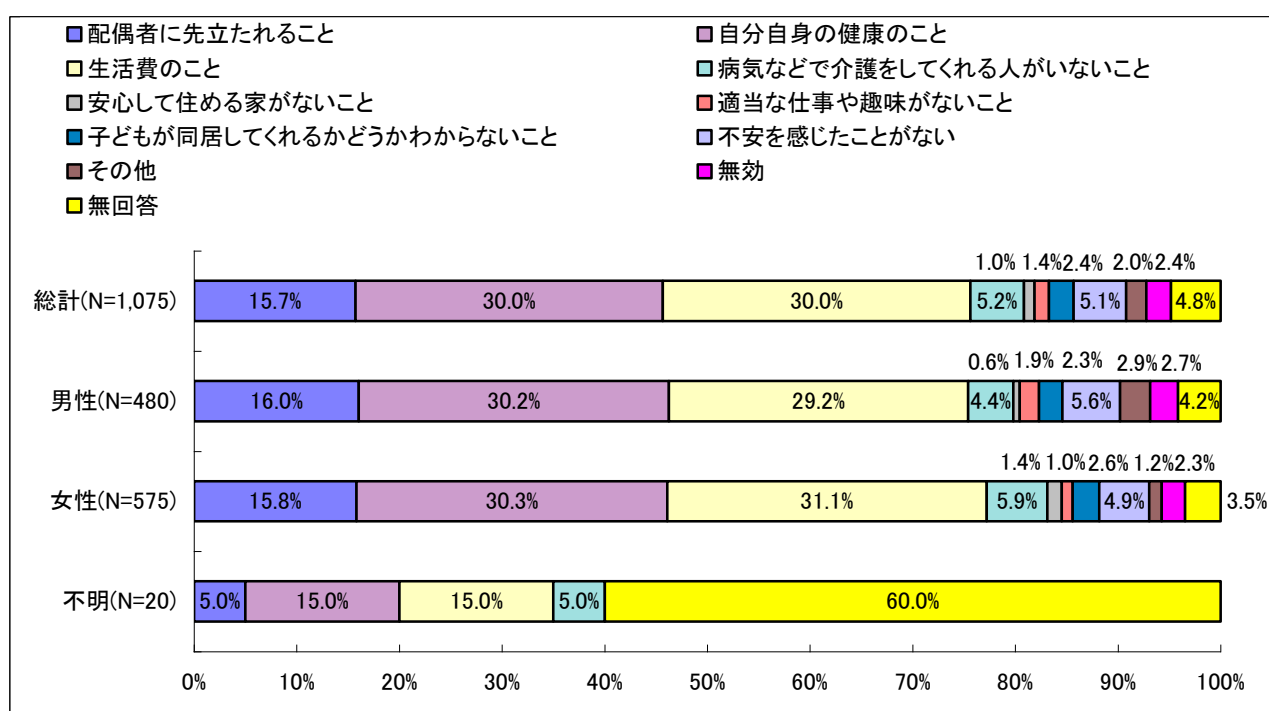


4.高齢社会・介護について

【問 28】 あなたはご自身の老後を考えたとき、何か心配事や不安はありますか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。(65 歳以上の方は現在の心配事や不安をお答えください)

「自分自身の健康のこと」と「生活費のこと」という回答がどちらも全体の中で 30.0%を占め、以下「配偶者に先立たれること」という回答が 15.7%という順になりました。

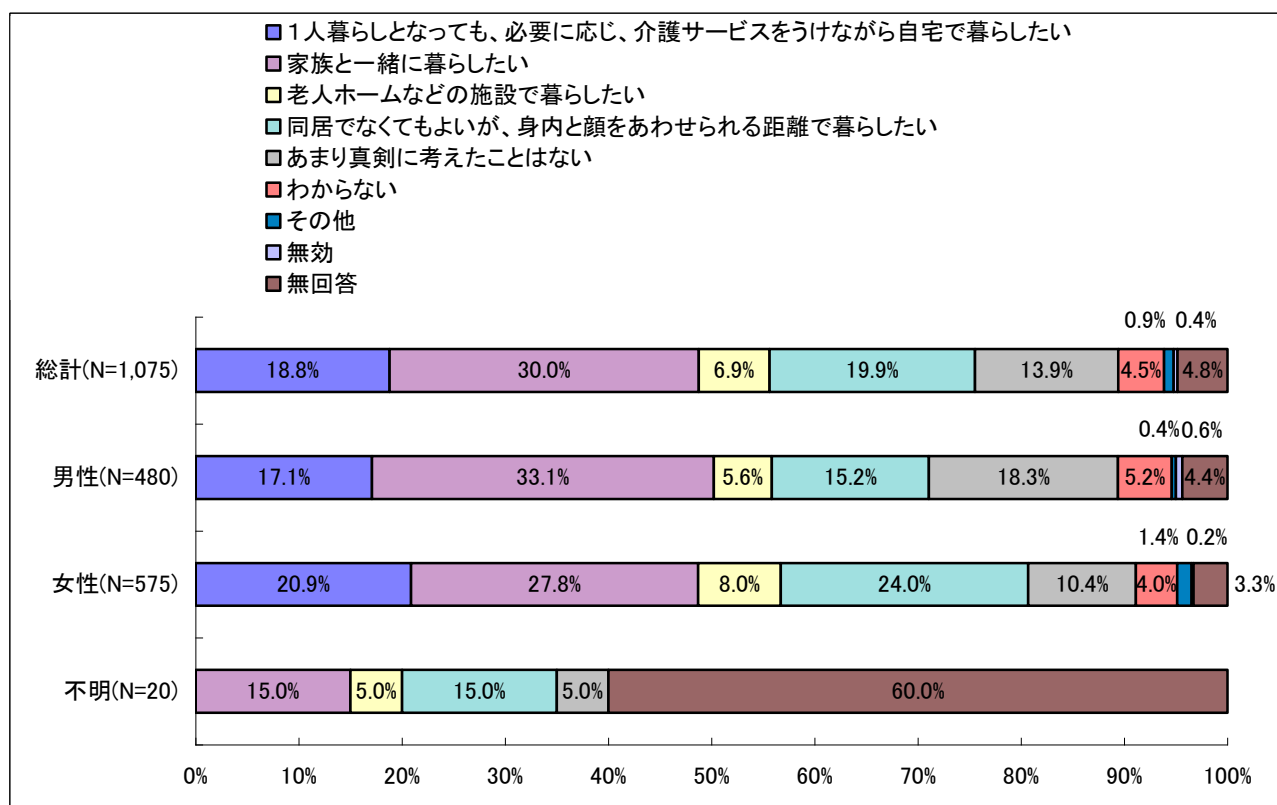
性別でみると、「自分自身の健康のこと」という回答では男性が 30.2%で女性より 0.1 ポイント低く、「生活費のこと」という回答でも男性が 29.2%で女性より 1.9 ポイント低くなりました。「配偶者に先立たれること」という回答では男性が 16.0%で女性より 0.2 ポイント高くなりました。それぞれの回答に大きな差はありませんでした。



【問 29】 あなたは老後どのように暮らしたいと思いますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。(65歳以上の方は希望する暮らし方をお答えください)

「家族と一緒に暮らしたい」という回答が全体の30.0%を占め、以下「同居でなくてもよいが、身内と顔をあわせられる距離で暮らしたい」という回答が19.9%、「1人暮らしとなっても、必要に応じ、介護サービスをうけながら自宅で暮らしたい」という回答が18.8%という順になりました。

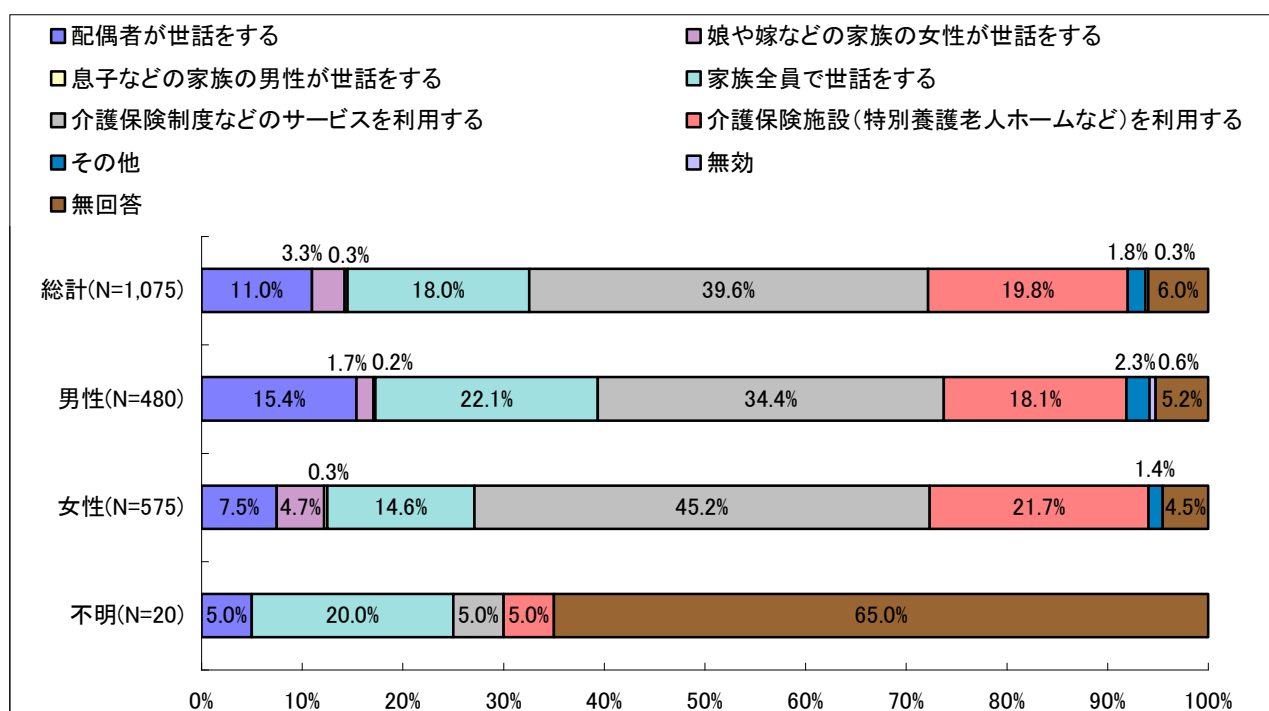
性別でみると、「家族と一緒に暮らしたい」という回答では男性が33.1%で女性より5.3ポイント高くなりました。「同居でなくてもよいが、身内と顔をあわせられる距離で暮らしたい」という回答では男性が15.2%で女性より8.8ポイント低くなり、さらに「1人暮らしとなっても、必要に応じ、介護サービスをうけながら自宅で暮らしたい」という回答でも男性が17.1%で女性より3.8ポイント低くなりました。なお、男性の場合、「家族と一緒に暮らしたい」という回答の次の多かったのが「あまり真剣に考えていない」(18.3%)でした。



【問 30】 あなたは、介護が必要になったとき、身の回りの世話は、どのような形を希望しますか。次の中から 1 つだけ選んで○をつけてください。(現在介護を受けられている方は現状をお答えください)

「介護保険制度などのサービスを利用する」という回答が全体の 39.6%を占め、以下「介護保険施設(特別養護老人ホームなど)を利用する」という回答が 19.8%、「家族全員で世話をする」という回答が 18.0%という順になりました。

性別でみると、「介護保険制度などのサービスを利用する」という回答では男性が 34.4%で女性より 10.8 ポイント低くなり、「介護保険施設(特別養護老人ホームなど)を利用する」という回答でも、男性が 18.1%で女性より 3.6 ポイント低くなりました。「家族全員で世話をする」という回答では男性が 22.1%で女性より 7.5 ポイント高くなりました。

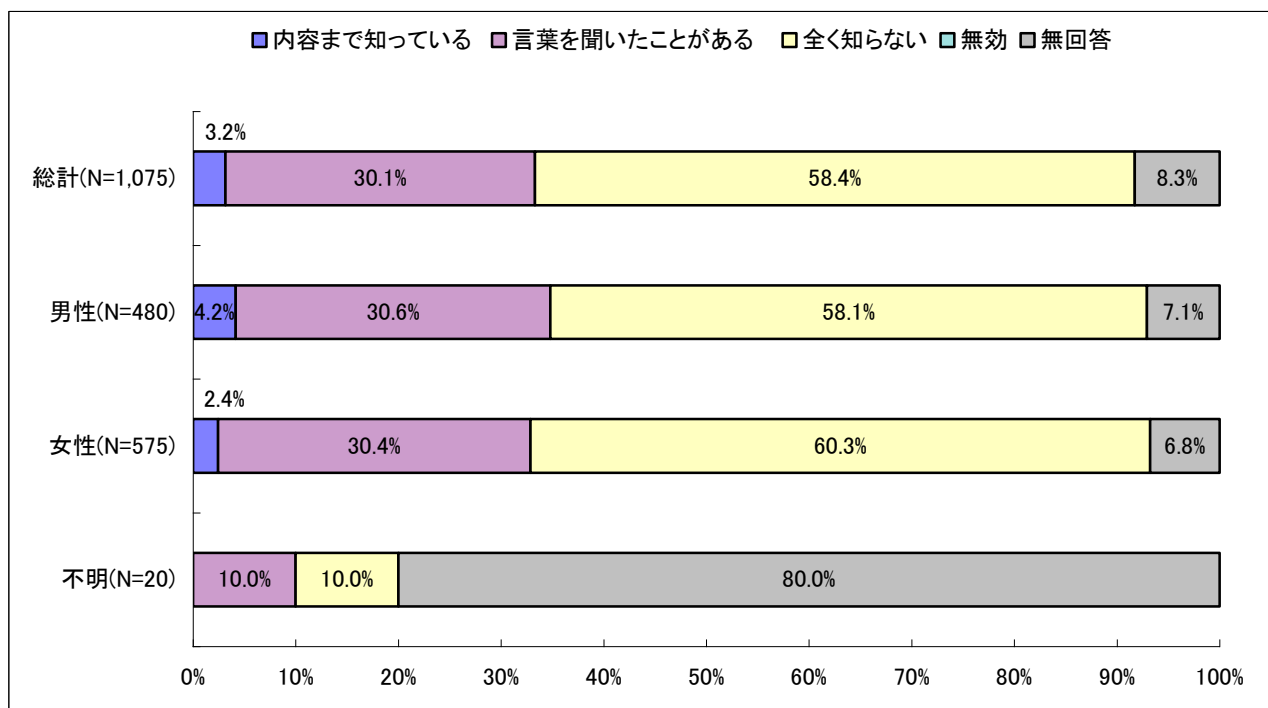


5.仕事と家庭の調和(ワーク・ライフ・バランス)について

【問 31】 ワーク・ライフ・バランスについて、知っていますか。次の中から1つだけ選んで○をつけてください。

ワーク・ライフ・バランスについて「全く知らない」という回答は全体の 58.4%で、他の回答よりも高くなっています。以下、「言葉を聞いたことがある」という回答が 30.1%、「内容まで知っている」という回答が 3.2%という順になりました。

性別でみても、男女共に順位に変わりはありませんでした。「全く知らない」(58.4%)という回答は「内容まで知っている」(3.2%)という回答より 55.2 ポイント高くなっています。

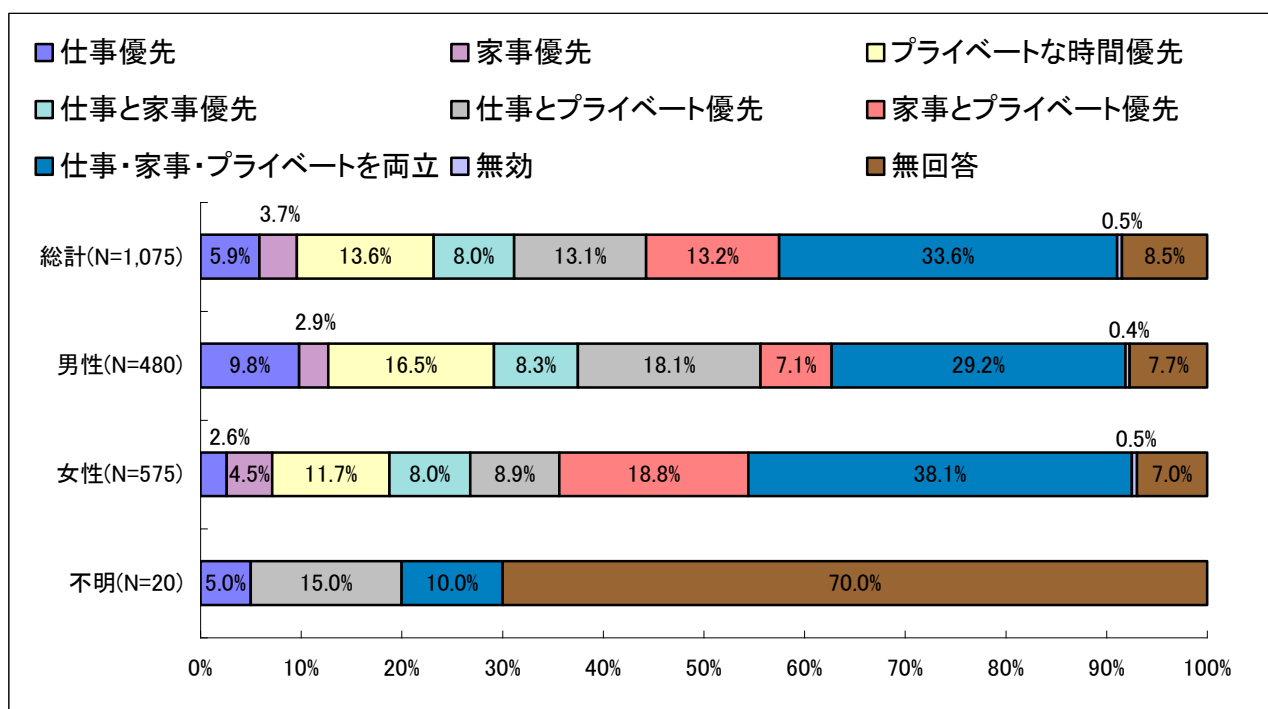


【問 32】 生活の中での、仕事・家事(育児)・プライベートな時間(趣味など)の優先度について
 おうかがいします。「希望」の優先度と、「現実」としての優先度について、あなたの希望
 や現状に最も近いものを、1～7のうちから1つずつを選んで○をつけてください。
 ※仕事についていない方は、家事とプライベートの関係についてお答えください。

〔希望〕

「仕事・家事・プライベートを両立」という回答が全体の 33.6%で、以下「プライベートな時間優先」という回答が 13.6%、「家事とプライベート優先」という回答が 13.2%という順になりました。

性別でみると、「仕事・家事・プライベートの両立」という回答では男性が 29.2%で女性より 8.9 ポイント低く、「プライベートな時間優先」という回答では男性が 16.5%で女性より 4.8 ポイント高くなりました。なお、男性の場合「仕事とプライベートな時間優先」という回答が 18.1%で女性より 9.2 ポイント高くなりました。反対に「家事とプライベートな時間優先」という回答では男性が 7.1%で女性より 11.7 ポイント低くなりました。

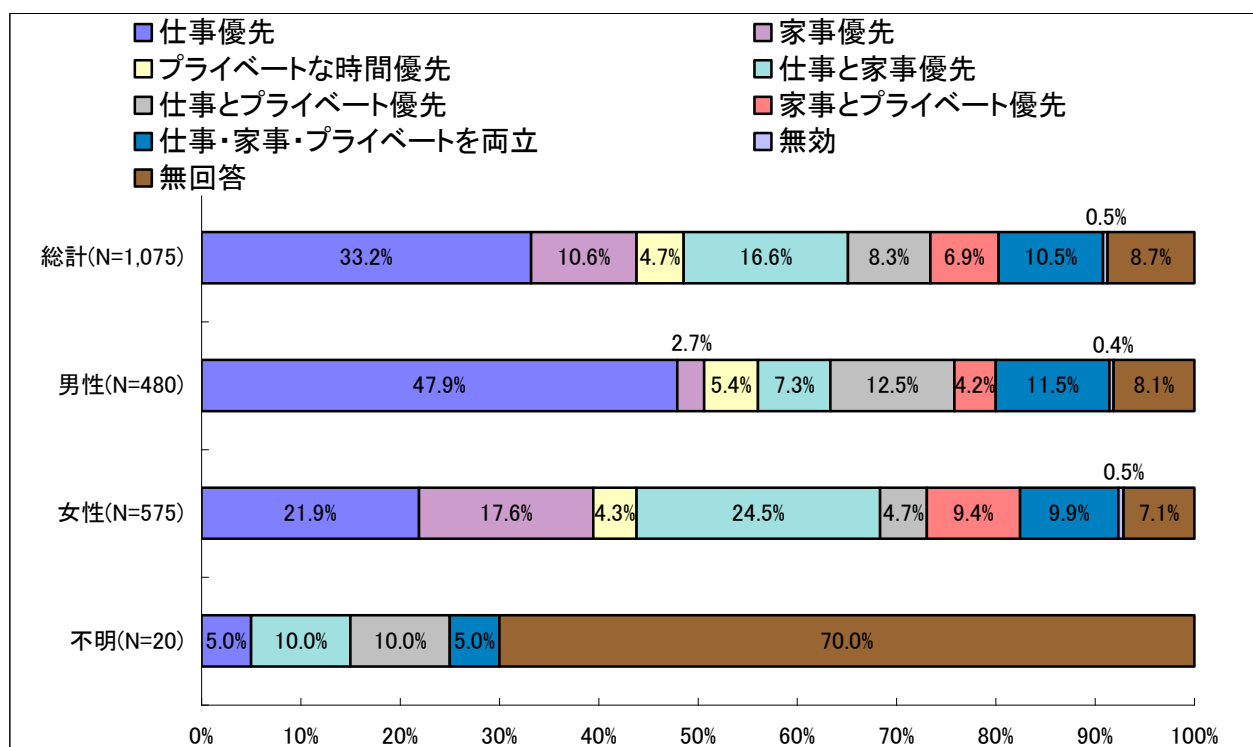


〔現実〕

「仕事優先」という回答が全体の 33.2%を占め、「仕事と家事優先」という回答が 16.6%、「家事優先」という回答が 10.6%という順になりました。

性別でみると、「仕事優先」という回答では男性が 47.9%で女性より 26.0 ポイント高くなりました。「仕事と家事優先」という回答では男性が 7.3%で女性より 17.2 ポイント低くなりました。さらに「家事優先」という回答では男性が 2.7%で女性より 14.9 ポイント低くなりました。

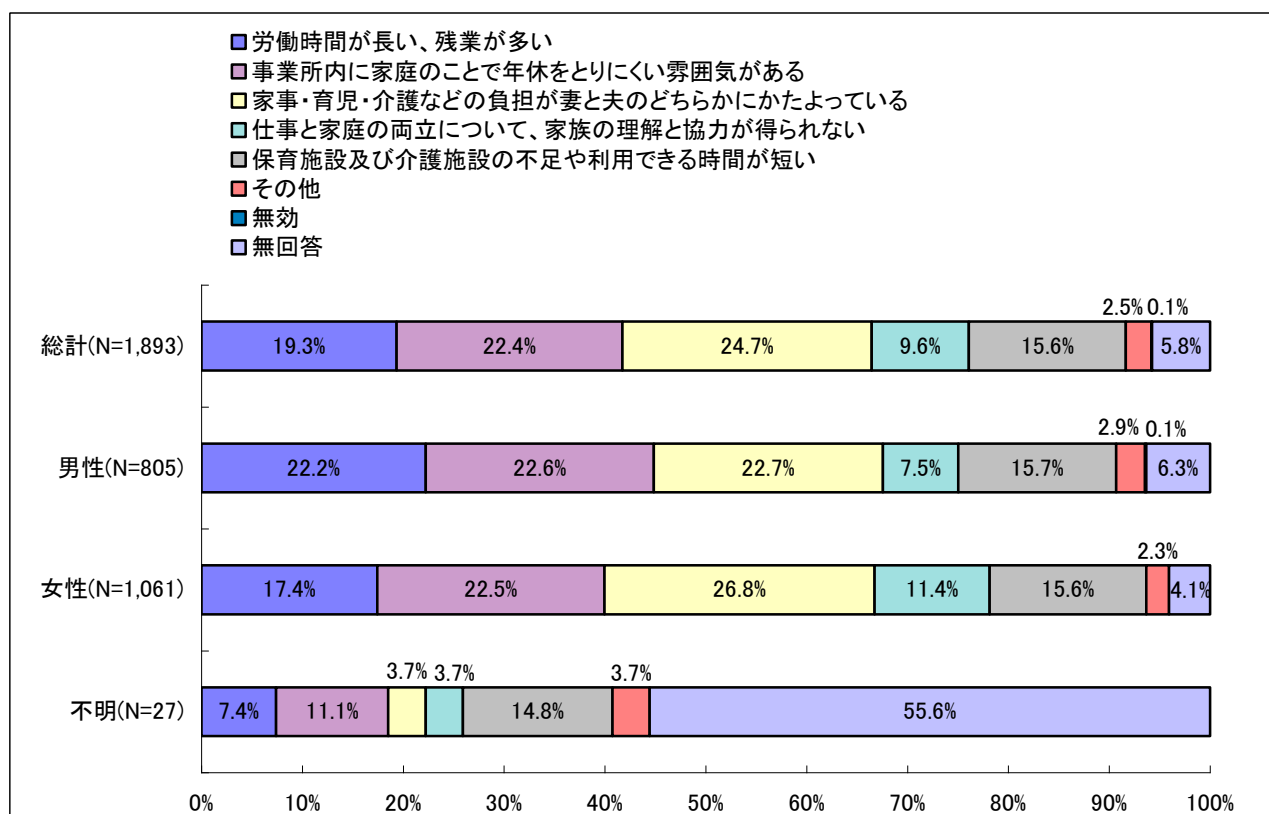
理想では、「仕事・家事・プライベートを両立」という回答が全体の 33.6%を占めていましたが、現実と理想を比較してみますと、現実理想より 23.1 ポイント低くなりました。



【問 33】 あなたは、男女が共に仕事と生活を両立させるうえで、どのようなことが問題となっていると思いますか。あてはまるものをすべて選んで○をつけてください。

「家事・育児・介護などの負担が妻か夫のどちらかにかたよっている」という回答が全体の 24.7% を占め、以下「事業所内に家庭のことで年休をとりにくい雰囲気がある」という回答が 22.4%、「労働時間が長い、残業が多い」という回答が 19.3%、「保育施設及び介護施設の不足や利用できる時間が短い」という回答が 15.6%という順になりました。

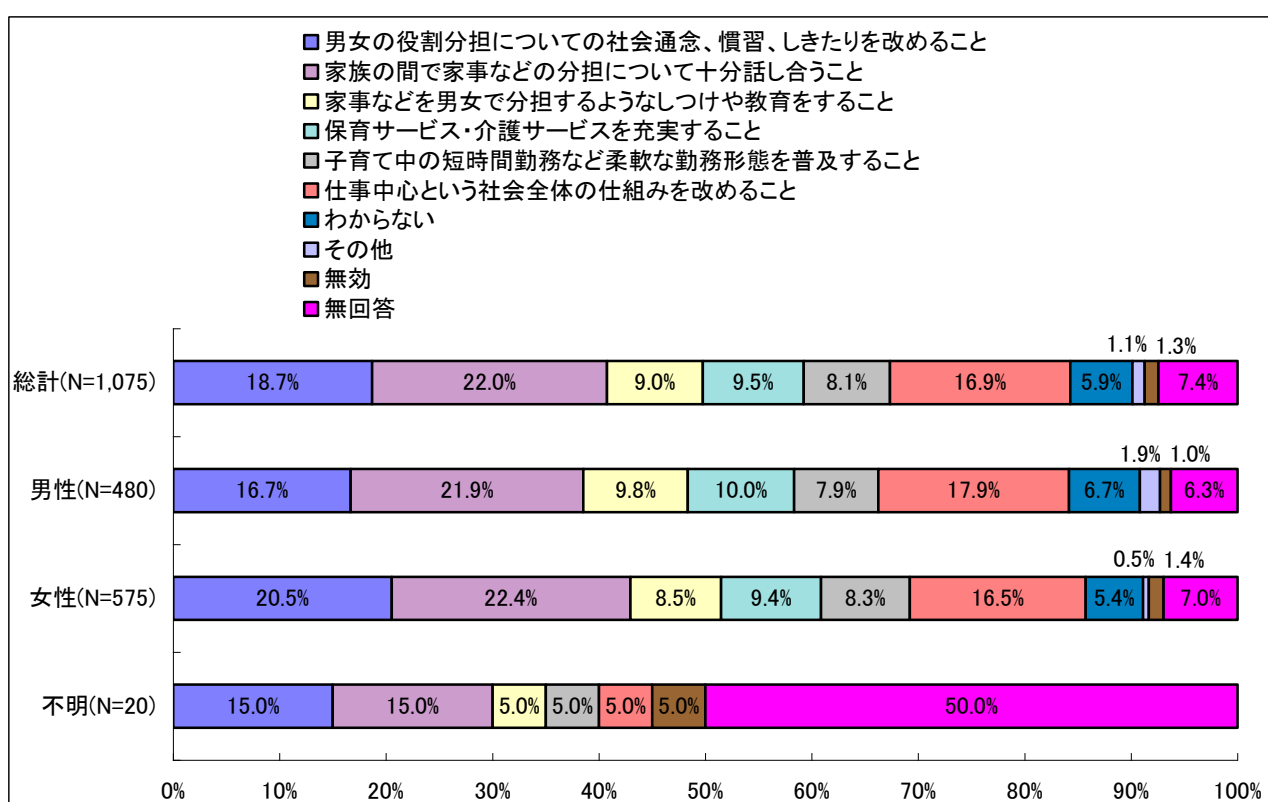
性別でみると、「家事・育児・介護などの負担が妻か夫のどちらかにかたよっている」という回答では男性が 22.7%で女性より 4.1 ポイント低くなりました。「事業所内に家庭のことで年休をとりにくい雰囲気がある」という回答では男性が 22.6%で女性より 0.1 ポイント高くなり、「労働時間が長い、残業が多い」という回答でも男性が 22.2%で女性より 4.8 ポイント高くなりました。それぞれの回答に大きな差はありませんでした。



【問 34】 あなたは、男女が共に仕事と生活を両立していくためには、どのようなことが必要だと思いますか。あてはまるものを1つだけ選んで○をつけてください。

「家族の間で家事などの分担について十分話し合うこと」という回答が全体の 22.0%を占め、以下「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」という回答が 18.7%、「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」という回答が 16.9%という順になりました。

性別でみると、「家族の間で家事などの負担について十分話し合うこと」という回答では男性が 21.9%で女性より 0.5 ポイント低くなり、「男女の役割分担についての社会通念、慣習、しきたりを改めること」という回答でも男性が 16.7%で女性より 3.8 ポイント低くなりました。「仕事中心という社会全体の仕組みを改めること」という回答では男性が 17.9%で女性より 1.4 ポイント高くなりました。それぞれの回答に大きな差はありませんでした。

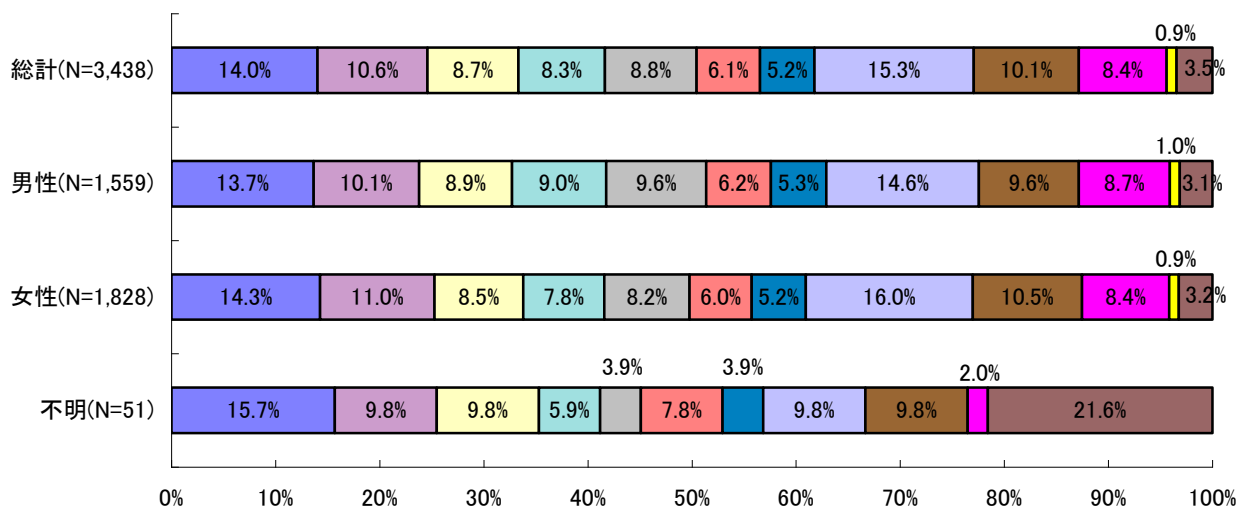


【問 35】 ワーク・ライフ・バランスを推進するプラスの効果として考えられるものをすべて選んで○をつけてください。

「仕事をもつ男女が、子どもとかかわることができる時間が増え、安心して子どもを産み育てることができる」という回答が全体の 15.3%で、「家事・育児・介護などの家庭責任を男性も担いやすくなり、女性の負担が少なくなる」という回答が 14.0%、「女性の継続就業や、短時間勤務などの希望する働き方が可能な再就職が容易になる」という回答が 10.6%という順になりました。

性別でみても、「仕事をもつ男女が、子どもとかかわることができる時間が増え、安心して子どもを産み育てることができる」という回答では男性が 14.6%で女性より 1.4 ポイント低くなり、「家事・育児・介護などの家庭責任を男性も担いやすくなり、女性の負担が少なくなる」という回答でも男性が 13.7%で女性より 0.6 ポイント低くなりました。さらに、「女性の継続就業や、短時間勤務などの希望する働き方が可能な再就職が容易になる」という回答では男性が 10.1%で女性より 0.9 ポイント低くなりました。

- 家事・育児・介護などの家庭責任を男性も担いやすくなり、女性の負担が少なくなる
- 女性の継続就業や、短時間勤務などの希望する働き方が可能な再就職が容易になる
- 自己啓発や趣味の時間が増え、能力を高めたり、満足感を得たりすることができる
- 働く人々が地域活動にかかわることができるようになり、地域の活性化と安全性の向上につながる
- 長時間労働が減り、心身の健康によい影響を及ぼす
- 人口減少が進行する中、女性や高齢者など多様な人材が活用できるようになり、労働力不足の解消につながる
- 一人ひとりの仕事への満足度が向上し、能力が十分に発揮され、生産性の高い効率的な働き方ができるようになり、日本経済の競争力も高まる
- 仕事をもつ男女が、子どもとかかわることができる時間が増え、安心して子どもを産み育てることができる
- 労働時間や働き方の柔軟性などの仕事と家庭の両立環境や、子育て環境が整い、ひいては少子化の進行を防ぐことができる
- 企業が個々の様々なニーズ(希望や必要性)に対応した就業環境を提供することで、従業員の意欲や満足度が高まるので、優秀な人材を確保・定着させることができる
- その他
- 無効
- 無回答



【問 36】 男女共同参画社会の実現に向けて、市がすべきことはどのようなことだと思いますか。
あてはまると思うことについて、5つまで選んで○をつけてください。

「介護施設やサービスの充実」という回答が全体の 14.1%で、以下「保育施設や保育サービスの充実」という回答が 13.5%、「学校教育で男女共同参画について学ぶ」という回答が 11.0%という順になりました。

性別でみると、「介護施設やサービスの充実」という回答では男性が 13.8%で女性より 0.7 ポイント低く、「保育施設や保育サービスの充実」という回答でも男性が 13.4%で女性より 0.3 ポイント低くなりました。さらに「学校教育で男女共同参画について学ぶ」という回答でも男性が 10.7%で女性より 0.5 ポイント低くなりました。それぞれの回答に大きな差はありませんでした。

